

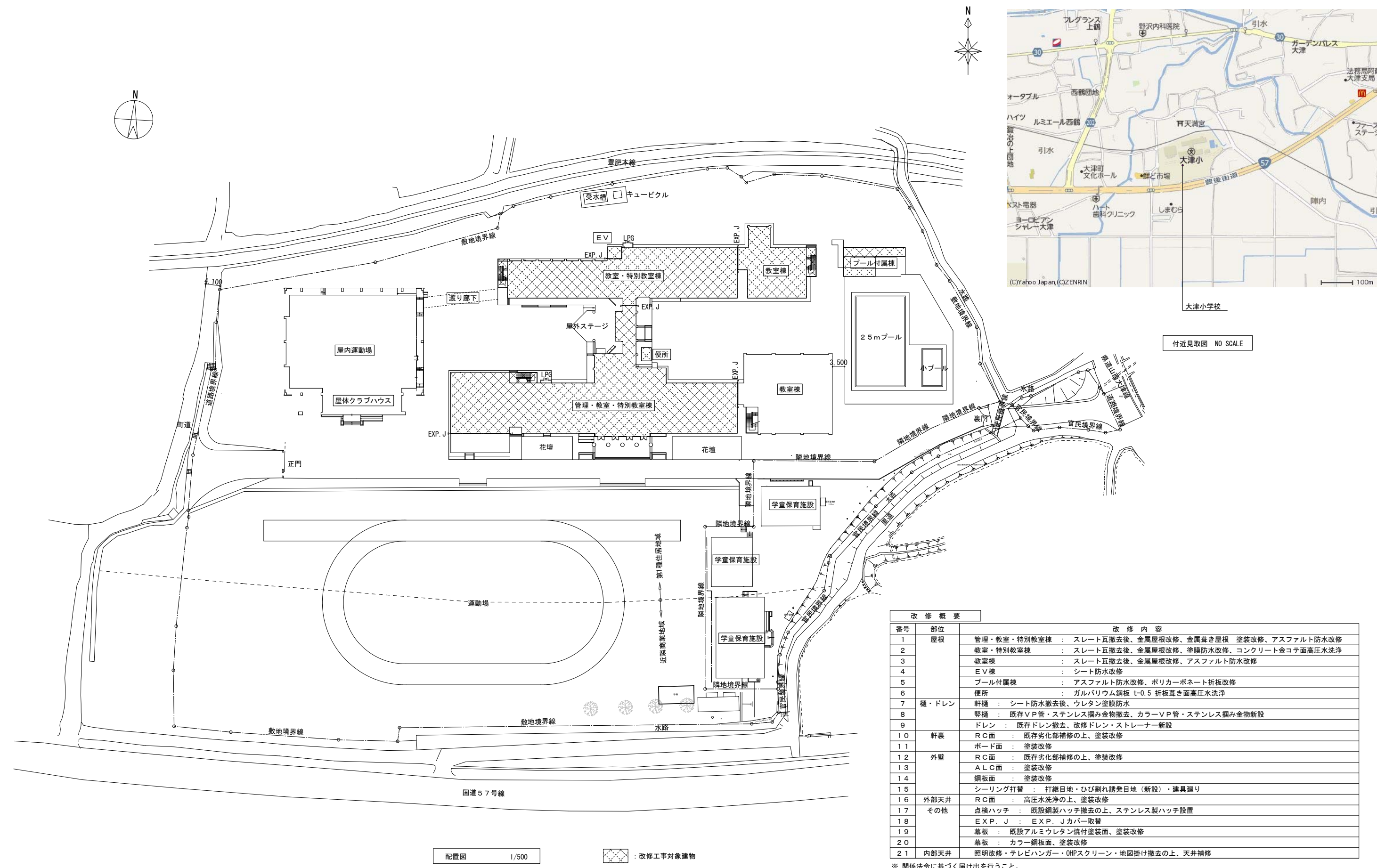
大津町立大津小学校校舎屋根外壁等改修工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-00	表紙・図面リスト				
A-01	建築改修工事特記仕様書(その1)	A-21	【校舎】3階、R階天井伏図(改修前)	A-41	【プール付属棟】平面図、外部建具キープラン、屋根伏図、天井伏図
A-02	建築改修工事特記仕様書(その2)	A-22	【校舎】1階天井伏図(改修後)	A-42	【プール付属棟】立面図
A-03	建築改修工事特記仕様書(その3)	A-23	【校舎】2階天井伏図(改修後)	A-43	【プール付属棟】矩計図
A-04	建築改修工事特記仕様書(その4)	A-24	【校舎】3階、R階天井伏図(改修後)	A-44	【プール付属棟】部分詳細図
A-05	建築改修工事特記仕様書(その5)	A-25	【校舎】矩計図1(管理・教室・特別教室棟)	A-45	【プール付属棟】建具表
A-06	付近見取図・配置図	A-26	【校舎】矩計図2(教室・特別教室棟)	A-46	【便所】平面図、屋根伏図、天井伏図、立面図
A-07	【屋根外壁等改修】改修仕上表	A-27	【校舎】矩計図3(教室棟)	A-47	I期工事 仮設計画図(参考図)
A-08	【間仕切壁設置】内部工事仕上表	A-28	【校舎】矩計図4(生徒昇降口)	A-48	II期工事 仮設計画図(参考図)
A-09	【校舎】1階平面図・外部建具キープラン(改修前)	A-29	【校舎】矩計図5(高架水槽置場)		
A-10	【校舎】2階平面図・外部建具キープラン(改修前)	A-30	【校舎】外部階段詳細図1(管理・教室・特別教室棟)		
A-11	【校舎】3階平面図・外部建具キープラン(改修前)	A-31	【校舎】外部階段詳細図2(教室・特別教室棟)		
A-12	【校舎】屋根伏図(改修前)	A-32	【校舎】外部階段詳細図3(教室棟)		
A-13	【校舎】1階平面図・外部建具キープラン(改修後)	A-33	【校舎】部分詳細図1		
A-14	【校舎】2階平面図・外部建具キープラン(改修後)	A-34	【校舎】部分詳細図2		
A-15	【校舎】3階平面図・外部建具キープラン(改修後)	A-35	【校舎】部分詳細図3		
A-16	【校舎】屋根伏図(改修後)	A-36	【校舎】外部建具表1		
A-17	【校舎】立面図1	A-37	【校舎】外部建具表2		
A-18	【校舎】立面図2	A-38	【校舎】外部建具表3		
A-19	【校舎】1階天井伏図(改修前)	A-39	【校舎】外部建具表4		
A-20	【校舎】2階天井伏図(改修前)	A-40	【校舎】特別教室 間仕切壁設置図		

令和6年度
株式会社 マック

[illegible]

[illegible]



改 修 概 要		
番号	部位	改 修 内 容
1	屋根	管理・教室・特別教室棟 : スレート瓦撤去後、金属屋根改修、金属葺き屋根 塗装改修、アスファルト防水改修
2		教室・特別教室棟 : スレート瓦撤去後、金属屋根改修、塗膜防水改修、コンクリート金コテ面高圧水洗浄
3		教室棟 : スレート瓦撤去後、金属屋根改修、アスファルト防水改修
4		E V 棟 : シート防水改修
5		プール付属棟 : アスファルト防水改修、ポリカーボネート折板改修
6		便所 : ガルバリウム鋼板 t=0.5 折板葺き面高圧水洗浄
7	樋・ドレン	軒樋 : シート防水撤去後、ウレタン塗膜防水
8		縦樋 : 既存V P 管・ステンレス掴み金物撤去、カラーV P 管・ステンレス掴み金物新設
9	外壁	ドレン : 既存ドレン撤去、改修ドレン・ストレーナー新設
10		軒裏 R C 面 : 既存劣化部補修の上、塗装改修
11		ボード面 : 塗装改修
12		R C 面 : 既存劣化部補修の上、塗装改修
13		A L C 面 : 塗装改修
14		銅板面 : 塗装改修
15	その他	シーリング打替 : 打継目地・ひび割れ誘発目地（新設）・建具廻り
16		外部天井 R C 面 : 高圧水洗浄の上、塗装改修
17		点検ハッチ : 既設鋼製ハッチ撤去の上、ステンレス製ハッチ設置
18		E X P . J : E X P . J カバー取替
19		幕板 : 既設アルミウレタン焼付塗面、塗装改修
20		幕板 : カラー銅板面、塗装改修
21	内部天井	照明改修・テレビハンガー・OHPスクリーン・地図掛け撤去の上、天井補修

※ 関係法令に基づく届け出を行うこと。

【校舎】改 修 仕 上 表					
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容		
屋根	①	屋根 1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟) (教室棟)	改修前 波型スレート瓦、桧木：40×60φ455、アスファルトルーフィング22kg、アスベスト含有 【撤去】 コンクリート金コテ押え(桧木、美木は防虫防蟻処理)	改修後 既存コンクリートの上 高圧水洗浄 嵌合式立平H-45 カラーガルバリウム鋼板 t=0.5 Z型補強下地 ガルバリウム鋼板 t=2.3 【新設】 システム断熱ボード t=25 防水材：片面接着ゴムアスルーフィング t=1.2	
		②	屋根 2 (管理・教室・特別教室棟)	改修前 金属屋根葺き、桧木：40×60φ455、アスファルトルーフィング22kg、 【塗装改修】 コンクリート金コテ押え	改修後 金属屋根葺き面、高圧水洗浄の上、遮熱塗装 (エスケー化研 クールタイト同等品) 【新設】
	③		屋根 3 (管理・教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート金コテ押えの上、露出アスファルト防水 (D-2工法)、脱気筒 アスベスト含有 【防水改修】 改修後 【M4C工法】高圧水洗浄の上、立上り部・押えアングル撤去、アスファルト防水 (C-1)、脱気筒撤去新設	改修後 【M4X工法】高圧水洗浄の上、立上り部・押えアングル撤去、ウレタン塗膜防水 (平場：X-2、立上り：X-2) 【新設】
		④	屋根 4 (教室棟)	改修前 コンクリート金コテ押えの上、露出アスファルト防水 (D-2工法) 【防水改修】 改修後 【M4X工法】高圧水洗浄の上、立上り部・押えアングル撤去、ウレタン塗膜防水 (平場：X-2、立上り：X-2)	改修後 【L4X工法】高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) 【新設】
	⑤		屋根 5 (教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート下地の上、ウレタン塗膜防水 【防水改修】 改修後 【L4X工法】高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2)	改修後 高圧水洗浄 【洗浄のみ】
		⑥	屋根 6 (教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート金コテ押え 【既存のまま】 改修後 高圧水洗浄	改修前 コンクリート金コテ押えの上、シート防水 t=2 (ロンブルーフェースA-101工法程度) 【防水改修】 改修後 【S4S工法】高圧水洗浄の上、立上り部撤去、塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t=2 【新設】
	⑦		屋根 7 (E V 棟)	改修前 防水モルタル仕上 【防水改修】 改修後 高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) 【新設】	改修前 防水モルタル仕上 【防水改修】 改修後 高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) 【新設】
		⑧	(管理・教室・特別教室棟) 小庇 (教室・特別教室棟) (教室棟)	改修前 防水モルタル仕上 【防水改修】 改修後 高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) 【新設】	改修前 防水モルタル仕上 【防水改修】 改修後 高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2) 【新設】
	樋		⑨	軒樋 1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟) (教室棟)	改修前 コンクリート金コテ押えの上、シート防水 t=2 【防水改修】 改修後 【S3X工法】既存シート防水撤去の上、高圧水洗浄、ウレタン塗膜防 (X-2) 【新設】
		⑩		軒樋 2 (管理・教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 【防水改修】 改修後 【L4X工法】高圧水洗浄の上、ウレタン塗膜防水 (X-2)、一部高圧水洗浄のみ 【新設】 【洗浄のみ】
			⑪	堅樋 1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前 VP管 φ100 VP塗装、ステンレス掴み金物 【撤去】 改修後 カラーVP管 φ100、ステンレス掴み金物 【新設】
		⑫		堅樋 2 (管理・教室・特別教室棟) (教室棟)	改修前 VP管 φ100 VP塗装、ステンレス掴み金物 【撤去】 改修後 カラーVP管 φ100、ステンレス掴み金物 【新設】
			⑬	堅樋 3 (E V 棟)	改修前 VP管 φ75 VP塗装、ステンレス掴み金物 【撤去】 改修後 カラーVP管 φ75、ステンレス掴み金物 【新設】
		ドレン		⑭	ドレン 1 (管理・教室・特別教室)
⑮	(管理・教室・特別教室棟) ドレン 2 (教室・特別教室棟) (教室棟)		改修前 ルーフドレン (鋳鉄製) φ100 【撤去】 改修後 改修用ドレンφ100用、ストレーナー 【新設】		改修前 ルーフドレン (鋳鉄製) φ75 【撤去】 改修後 改修用ドレンφ75用、ストレーナー 【新設】
	⑯		ドレン 3 (E V 棟)	改修前 ルーフドレン (鋳鉄製) φ75 【撤去】 改修後 改修用ドレンφ75用、ストレーナー 【新設】	改修前 ルーフドレン (鋳鉄製) φ75 【撤去】 改修後 改修用ドレンφ75用、ストレーナー 【新設】
軒裏	⑰	軒裏 1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート打放し 外装薄塗材E 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】	改修前 コンクリート打放しの上、APクリヤー 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、打放しファンデーション塗装 (セラミRC-FR工法同等品) 【新設】	
		⑱	軒裏 2 (管理・教室・特別教室棟)	改修前 コンクリート打放しの上、APクリヤー 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、打放しファンデーション塗装 (セラミRC-FR工法同等品) 【新設】	改修前 コンクリート打放し 外装薄塗材E アスベスト含有 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】
	⑲		軒裏 3 (教室棟)	改修前 コンクリート打放し 外装薄塗材E アスベスト含有 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】	改修前 軽鉄下地 けい酸カルシウム t=6 目透かし EP-G塗装 【塗替】 改修後 既存ボード面 EP-G塗装 【新設】
		⑳	軒裏 4 (E V 棟)	改修前 軽鉄下地 けい酸カルシウム t=6 目透かし EP-G塗装 【塗替】 改修後 既存ボード面 EP-G塗装 【新設】	改修前 コンクリート打放しの上、複層塗材E アスベスト含有 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【新設】
	外壁		㉑	(管理・教室・特別教室棟) 外壁 1 (教室・特別教室棟) (教室棟)	改修前 コンクリート打放しの上、複層塗材E アスベスト含有 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【新設】
㉒		外壁 2 (管理・教室・特別教室棟)		改修前 コンクリート打放しの上、APクリヤー 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、打放しファンデーション塗装 (セラミRC-FR工法同等品) 【新設】	改修前 A L C t=150面の上、防水形複層塗材E 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、防水形複層塗材E 【新設】
		㉓	外壁 3 (E V 棟)	改修前 A L C t=150面の上、防水形複層塗材E 【塗替】 改修後 既存塗装面 高圧水洗浄の上、防水形複層塗材E 【新設】	改修前 シーリング無し、一部 PU-2 30×10 (1FLのみ) 【既存のまま】 【一部撤去】 改修後 PU-2 30×10 (1FLのみ)、40×10 【新設】
㉔			打継目地	改修前 シーリング無し、一部 PU-2 30×10 (1FLのみ) 【既存のまま】 【一部撤去】 改修後 PU-2 30×10 (1FLのみ)、40×10 【新設】	改修前 シーリング無し 【既存のまま】 改修後 PU-2 20×10 【新設】
		㉕	ひび割れ誘発目地	改修前 シーリング無し 【既存のまま】 改修後 PU-2 20×10 【新設】	改修前 MS-2 15×10 (建具廻り)、10×10 (建具と水切り間)、10×10 (天井裏換気パイプ廻り) 【撤去】 改修後 MS-2 15×10 (建具廻り)、10×10 (建具と水切り間)、10×10 (天井裏換気パイプ廻り) 【新設】
㉖			建具廻りシーリング 天井裏換気パイプ廻りシーリング	改修前 MS-2 15×10 (建具廻り)、10×10 (建具と水切り間)、10×10 (天井裏換気パイプ廻り) 【撤去】 改修後 MS-2 15×10 (建具廻り)、10×10 (建具と水切り間)、10×10 (天井裏換気パイプ廻り) 【新設】	改修前 鋼製点検ハッチ 900角 【撤去】 改修後 ステンレス製点検ハッチ 900角 (カギ付) 【新設】
		その他	㉗	点検ハッチ (教室・特別教室棟)	改修前 鋼製点検ハッチ 900角 【撤去】 改修後 ステンレス製点検ハッチ 900角 (カギ付) 【新設】
㉘	E X P、J カバー (教室棟)			改修前 アルミ製 E X P カバー 【撤去】 改修後 アルミ製 E X P カバー 【新設】	改修前 アルミ製 E X P カバー 【撤去】 改修後 アルミ製 E X P カバー 【新設】
	㉙		幕板塗装 (E V 棟)	改修前 アルミ t=1.5 ウレタン焼付塗装 【塗替】 改修後 既存塗装面 下地調整 (RB種) の上、DP塗装 (重鉛めっき鋼面塗装と同工程) 【新設】	改修前 アルミ製 E X P カバー 【撤去】 改修後 アルミ製 E X P カバー 【新設】
㉚			看板	改修前 鋼製看板 【撤去】 改修後	改修前 アルミ製 E X P カバー 【撤去】 改修後
天井		天井改修	改修前 天井伏図参照 改修後 天井伏図参照	改修前 鋼製看板 【撤去】 改修後	
			改修前 天井伏図参照 改修後 天井伏図参照	改修前 鋼製看板 【撤去】 改修後	

【プール付属棟】改修仕上表				
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容	
屋根	①	屋根 1	改修前	コンクリート金コテ押えの上、露出アスファルト防水(D-2工法)【防水改修】
		改修後	【M4C工法】高圧水洗浄の上、立上り部・押えアングル撤去、アスファルト防水(C-1)【新設】	
	②	屋根 2	改修前	鉄骨梁 OP塗装、ポリカーボネート折板 山高150【塗替】【撤去】
		改修後	鉄骨梁 下地調整(RB種)の上、DP塗装 1級、ポリカーボネート折板 山高150【新設】	
樋	③	竖樋	改修前	VP管φ75 VP塗装、ステンレス掴み金物【撤去】
			改修後	カラーVP管φ75、ステンレス掴み金物【新設】
ドレン	④	ドレン	改修前	ルーフドレン(鋳鉄製)φ75【撤去】
			改修後	改修用ドレンφ75用、ストレーナー【新設】
外壁	⑤	外壁	改修前	コンクリート打ち放し、コンクリートブロック面の上、複層塗材E アスベスト含有【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、下地調整塗材 C-2、複層塗材E【新設】
	⑥	打継目地	改修前	PU-2 20×15【撤去】
			改修後	PU-2 20×15【新設】
	⑦	建具廻りシーリング	改修前	MS-2 15×10(建具廻り)、10×10(建具と水切り間)【撤去】
			改修後	MS-2 15×10(建具廻り)、10×10(建具と水切り間)【新設】
内部天井		天井改修	改修前	天井伏図参照(改修なし)
			改修後	天井伏図参照(改修なし)

【便所】改 修 仕 上 表				
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容	
屋根	①	屋根	改修前	ガルバリウム鋼板（素地）t=0.5（H=88）【既存のまま】
			改修後	高圧水洗浄【洗浄のみ】
樋	②	竖樋	改修前	塩ビ製 φ65、ステンレス掴み金物【撤去】
			改修後	カラーVP管φ65、ステンレス掴み金物【新設】
外壁	③	外壁	改修前	カラー鉄板 t=0.27【塗替】
			改修後	既存鉄板面 下地調整（RB種）の上、DP塗装【新設】
	④	建具廻りシーリング	改修前	MS-2 15×10（建具廻り）、10×10（建具と水切り間）【撤去】
			改修後	MS-2 15×10（建具廻り）、10×10（建具と水切り間）【新設】
柱	⑤	鉄骨柱	改修前	鉄部 錆止め塗装 JIS K5621（2種）1回塗 見え掛かり SOP塗装【塗替】
			改修後	既存鉄板面 下地調整（RB種）の上、DP塗装【新設】
その他	⑥	幕板	改修前	カラー鋼板 t=0.5 H=300【塗替】
			改修後	既存鋼板面 下地調整（RB種）の上、DP塗装【新設】
	⑦	通気管	改修前	VU管 φ50【塗替】
			改修後	VU管 φ50 DP塗装（鉄鋼面塗装工程と同じ）【新設】
内部天井		天井改修	改修前	天井伏図参照（改修なし）
			改修後	天井伏図参照（改修なし）

仕上特記仕様書
使用する特定建材(下地、接着材、内装材、塗料等)は全てF☆☆☆☆とする。
特記なき限り外壁に取付ける金物の雨掛り部周囲はシール材を充填すること。
高圧水洗浄の高圧ポンプ種別は、高圧水洗浄：10～15MPa程度とする。
外部階段の床全面は高圧水洗浄を行うこと。
ガラスブロックの外立面はウレタン透明防水材塗布(大日化成 スカイコートW同等品)を行うこと。

凡例	
表示略号	表示事項
OP	油性ペイント塗
SOP	合成樹脂調合ペイント塗
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗
DP	耐候性塗料塗り
AP	アクリルペイント塗
AEP	アクリルエマルションペイント塗
ALC	軽量気泡コンクリートパネル

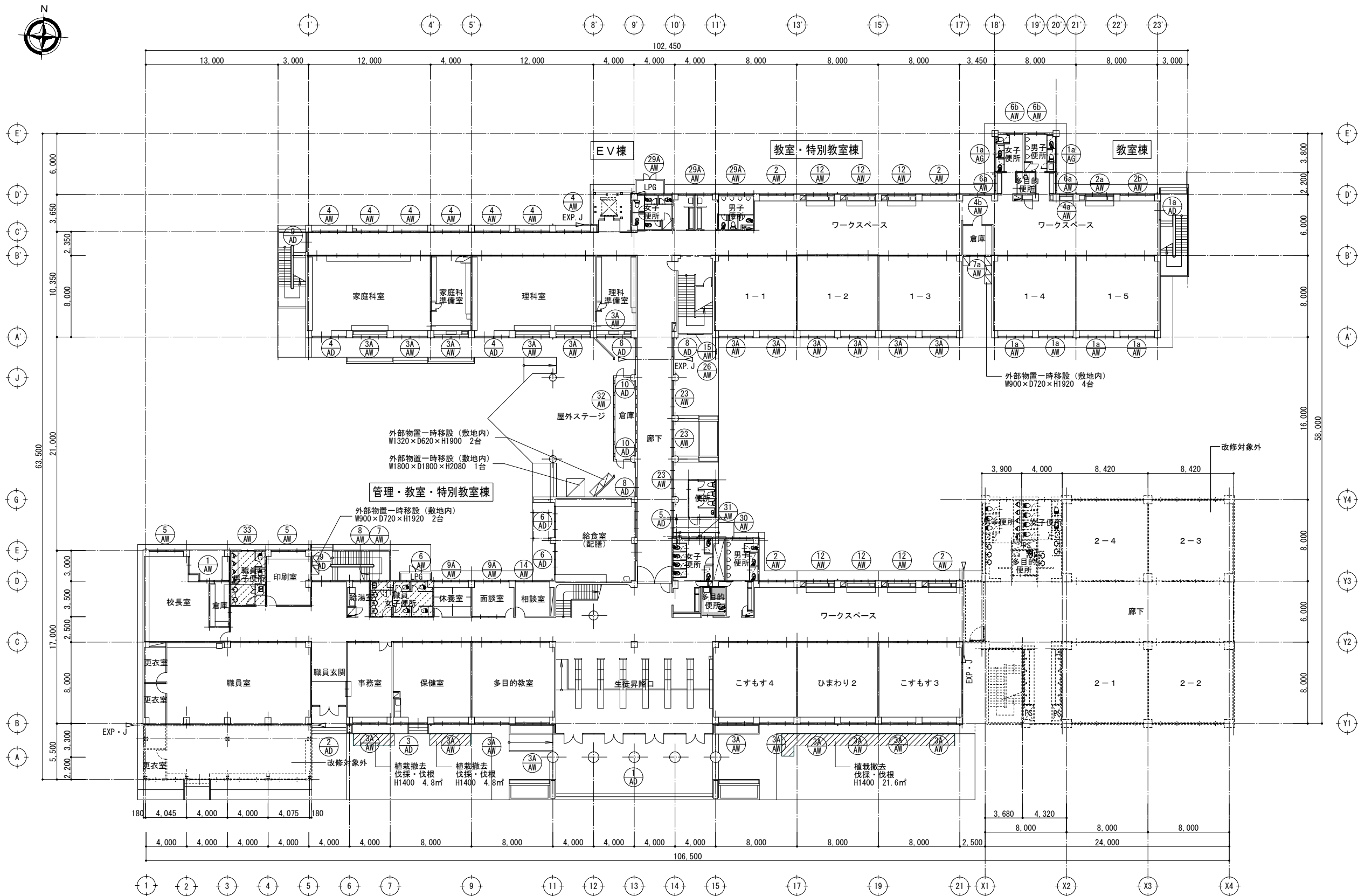
【間仕切壁設置】内部改修仕上表

階	改修前/後	室名	床		巾木		腰壁			壁			天井			天井高	備考		
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装				
2階	改修前	こすもす5 (特別学級)	C	桧縁甲板張り t=15 コンパネ t=12 鋼製床組 H=150	【部分撤去】 【部分撤去】 【新設壁に干渉する場合、部分撤去】	木巾木 【既存のまま】	100	CB	ステンレス流し台撤去部分 ライニング：CB横 H=900【既存のまま】 ライニング天板：テラゾーブロック t=25【既存のまま】 ライニング壁面：磁器質100角タイル（モルタル共）【撤去】	—	C	コンクリート打放し 吹付タイル 【既存のまま】	—	LGS 【一部新設】	GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12（平板） 【撤去】	—	3,000	木製カーテンボックス W=150 H=100 OP塗装【撤去】 OHPスクリーン、TVハンガー【撤去】 ステンレス流し台 W=3,400 H=650 D=410 下部収納付き【撤去】 壁面速付整理棚【一部撤去】 天井裏スラブ面の間仕切壁取付部：木毛セメント板 W=150【撤去】	
			C	チャッカーマット t=10 ステンレス見切り 40×20×2	【撤去】 【部分撤去】						W	収納棚撤去部分 ベニヤ板 t=5.5	【既存のまま】						—
	改修後	こすもす5・6 (特別学級)	C	桧縁甲板張り t=15 UC塗装 構造用合板 t=12 隙根太 H=150 鋼製床組 H=150	【新設】 【新設】 【新設】 【既存のまま】	木巾木 【改修面新設】	100	CB RC(柱面)	ステンレス流し台撤去部分 ライニング：CB横 H=900 ライニング天板：テラゾーブロック t=25【既存のまま】 ライニング壁面：GB-R t=12.5(GL工法)ビニルクロス【新設】 撤去部分 柱面：コンクリート打放し 複層塗材E【新設】	—	C	コンクリート打放し 吹付タイル 【既存のまま】	—	LGS 【一部新設】	GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12（平板） 塩ビ製廻り縁 【新設】 【新設】	—	3,000	間仕切壁下地：三洋工業製 High S1CS TypeMS 100形 スタッド#227 同等品【新設】 ※間仕切壁は天井スラブまで達すること 木製カーテンボックス W=150 H=100 SOP塗装【新設】 アルミ製カーテンレール【新設】 ステンレス製乾落防止手摺【新設】	
			M 【新設】	ビニル床シート t=2	【新設】						W	収納棚撤去部分 ベニヤ板 t=5.5 ビニルクロス	【新設】						—
			LGS 【新設】	GB-R t=12.5+9.5 2重張り ビニルクロス	【新設】						—								

[illegible]

不燃材料、耐火構造の認定番号					
認定番号	材 料 名	部 位		アスベスト含有みなし材料	
	不 燃	内部	天井裏	木毛セメント板 t=20	
NM-8619	不燃石膏ボードGB-R t=12.5		壁	100角磁器タイル張り、下地モルタル共	
NM-8599	岩綿吸音板 t=9 t=12				
NM-9899	ビニルクロス（不燃下地）				
NM-8585	塗料（E P-G、抗菌塗料、防カビ・防藻塗料）				
	準 不 燃				
NM-9828	準不燃石膏ボードGB-R t=9.5				
	耐 火				
準耐火告示	LGS100型(不燃材料)+GB-R t=12.5+9.5両面貼（防火上主要な間仕切壁）教室間				
	グラスウール t=50 充填				

[illegible][illegible]



1階平面図（改修前） 1/200

凡例

番号：改修仕上表の符号番号を示す

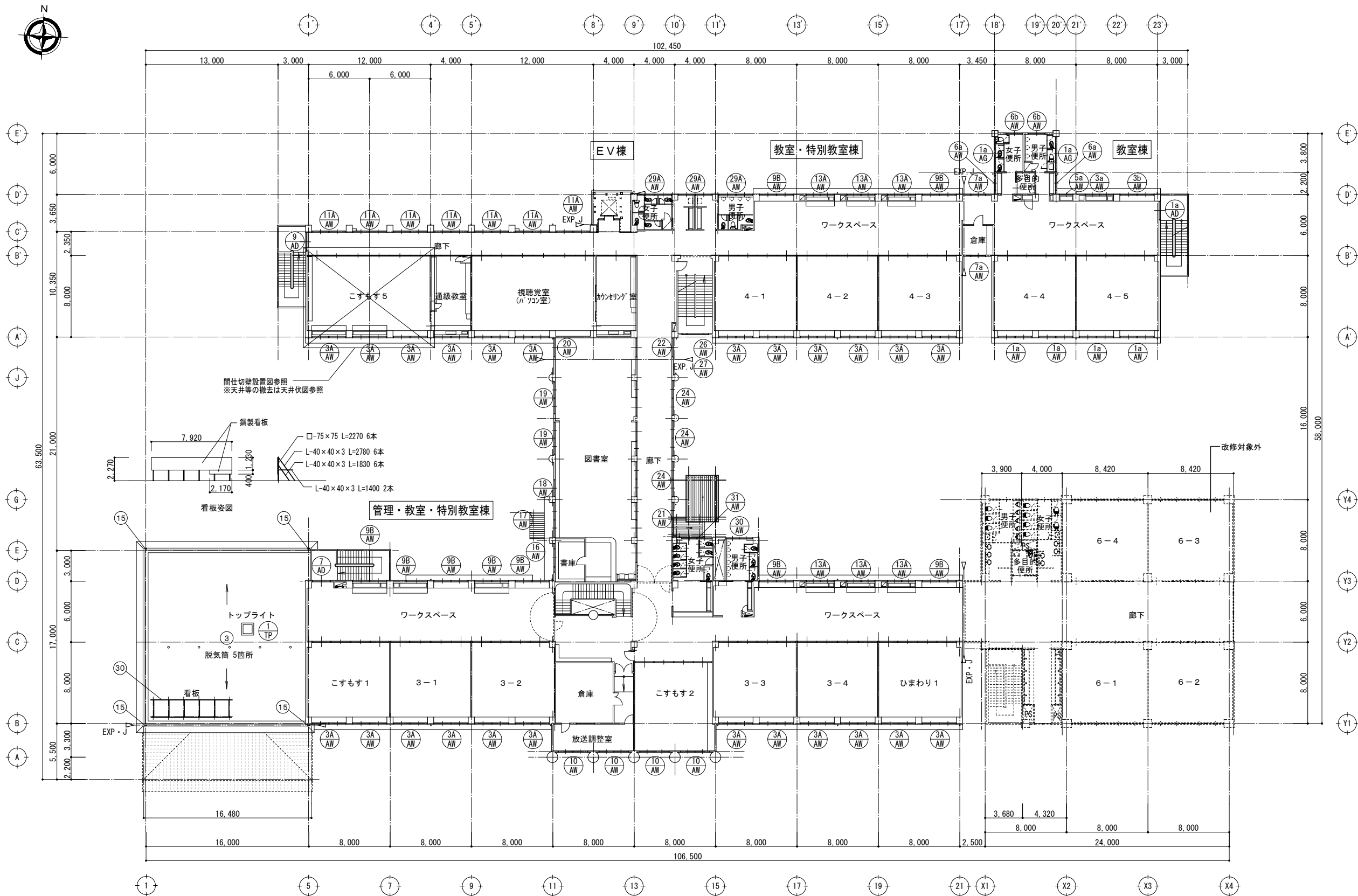
：照明LED化済の為、照明取替工事対象外

1/AW：改修建具符号を示す（26）

外部物置の一時移設先は監督員と協議の上決定すること

天井裏換気パイプ廻りシーリング撤去（26）

パイプ径：φ75
管理・教室・特別教室棟：56箇所
渡り廊下棟：8箇所
教室・特別教室棟：72箇所
教室棟：33箇所

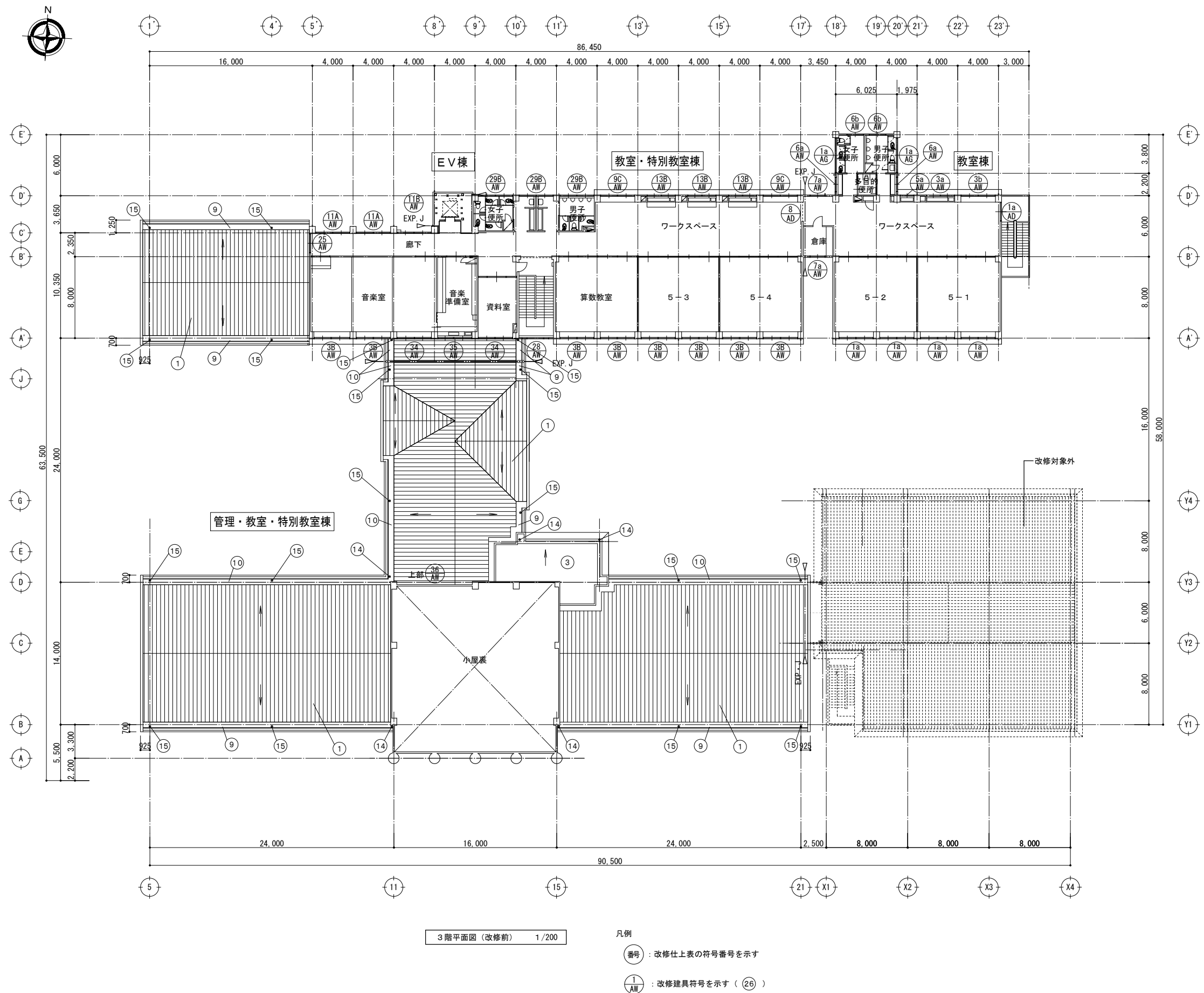


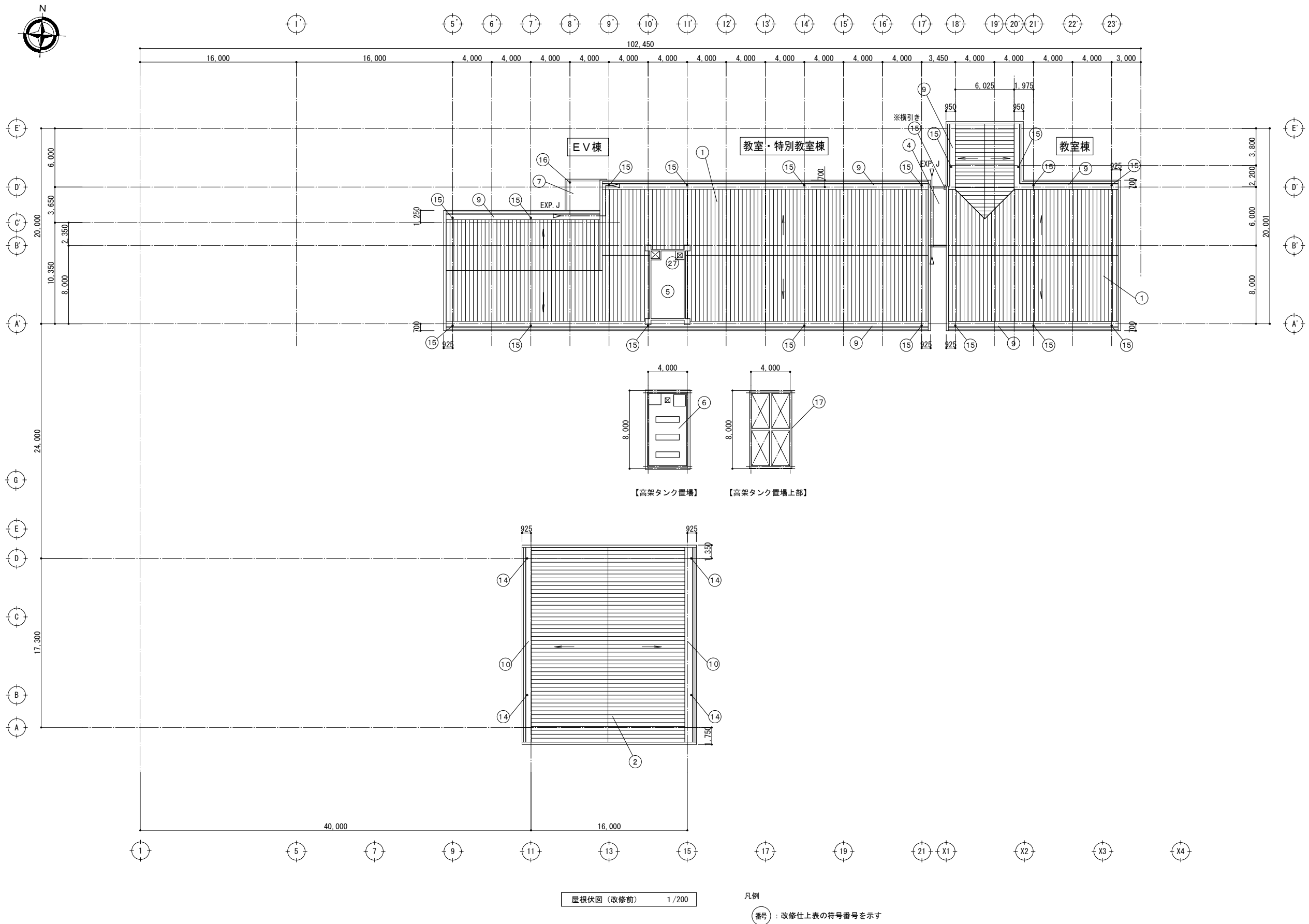
2階平面図 (改修前) 1/200

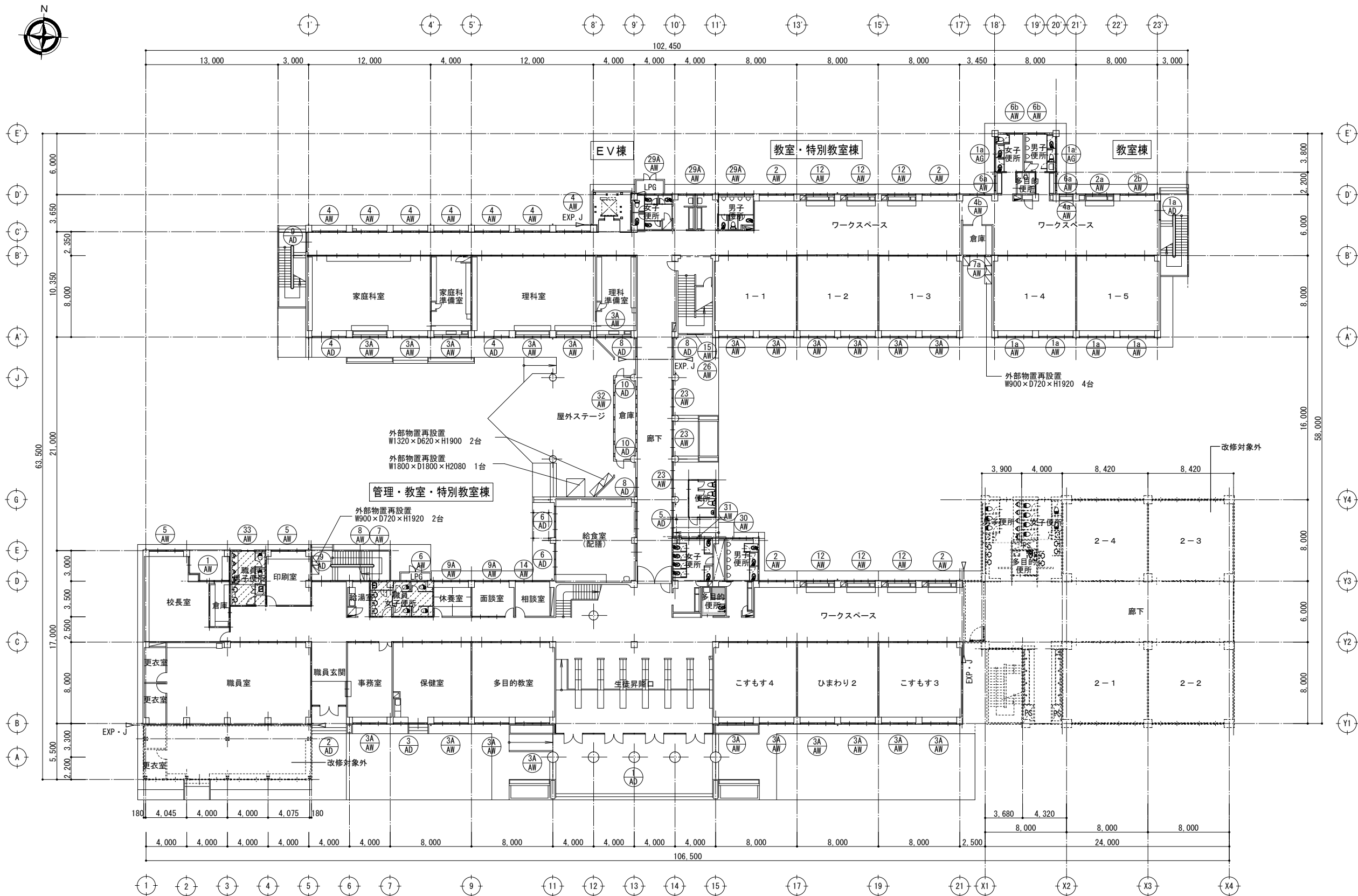
凡例

番号 : 改修仕上表の符号番号を示す

1 AW : 改修建具符号を示す (26)







1階平面図 (改修後) 1/200

凡例

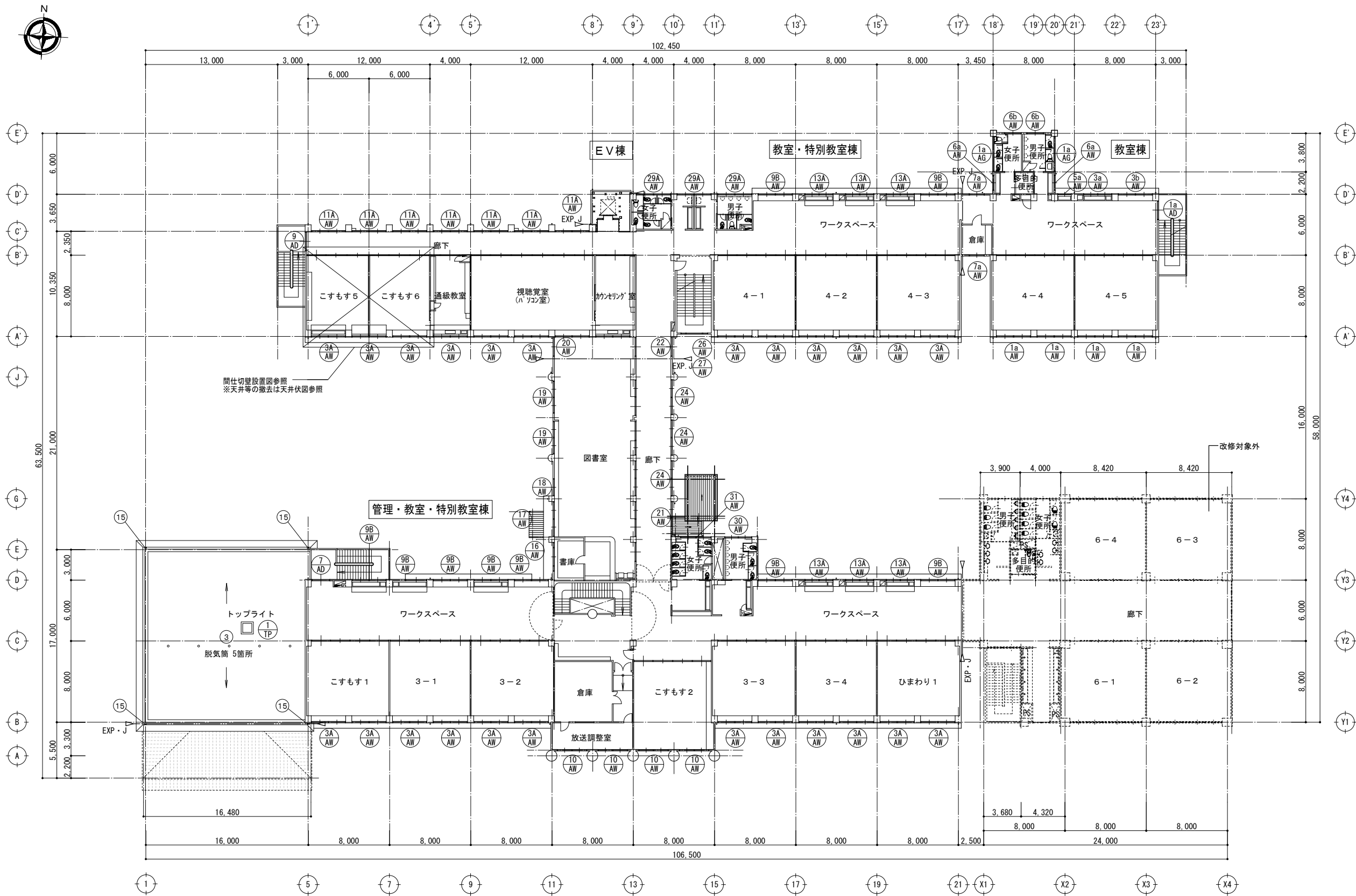
(番号) : 改修仕上表の符号番号を示す

(斜線) : 照明LED化済の為、照明取替工事対象外

(1 AW) : 改修建具符号を示す (26)

天井裏換気パイプ廻りシーリング打ち (26)

パイプ径: φ75
管理・教室・特別教室棟: 56箇所
渡り廊下棟: 8箇所
教室・特別教室棟: 72箇所
教室棟: 33箇所

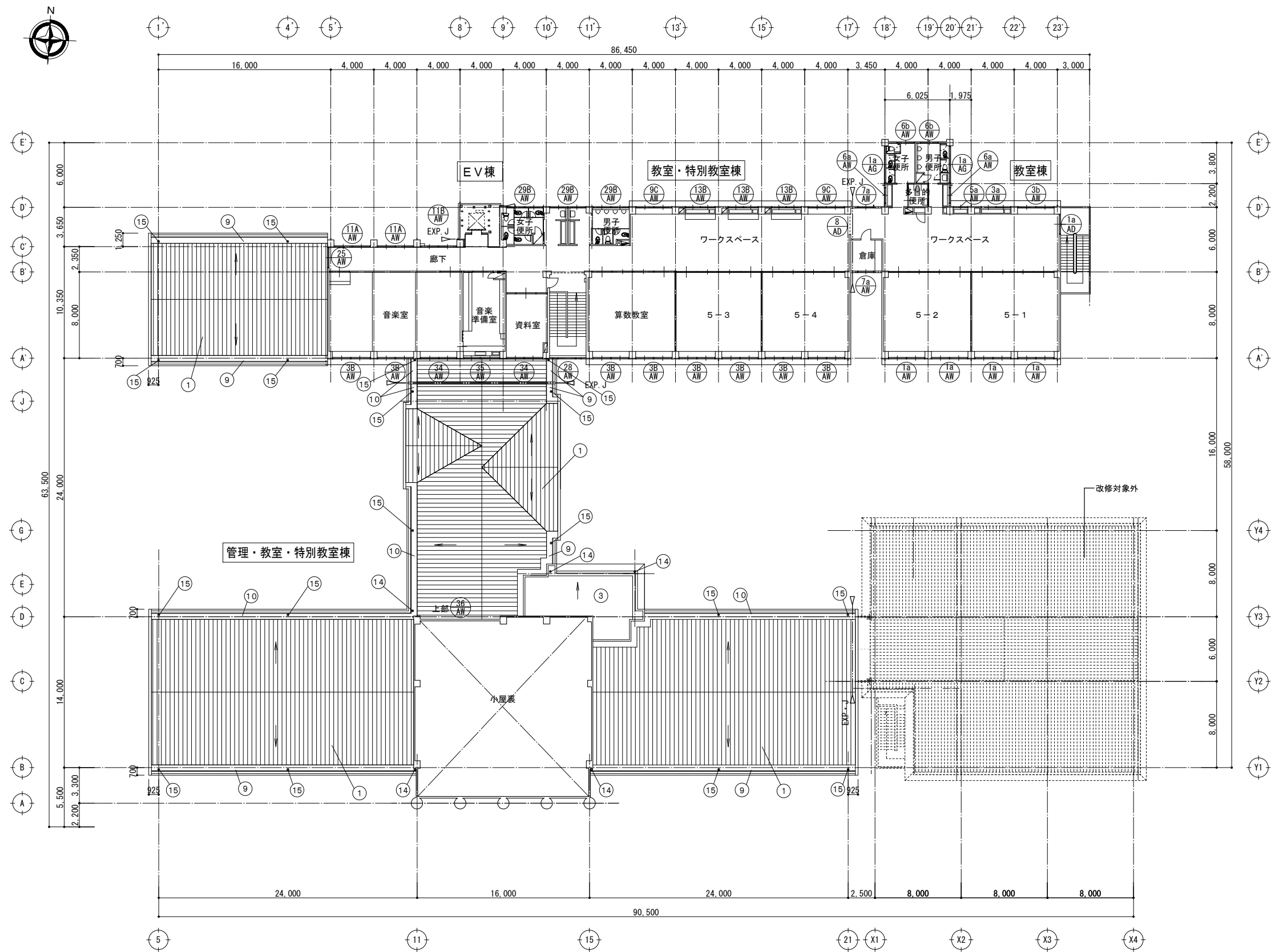


2階平面図 (改修後) 1/200

凡例

番号 : 改修仕上表の符号番号を示す

1 AW : 改修建具符号を示す (26)

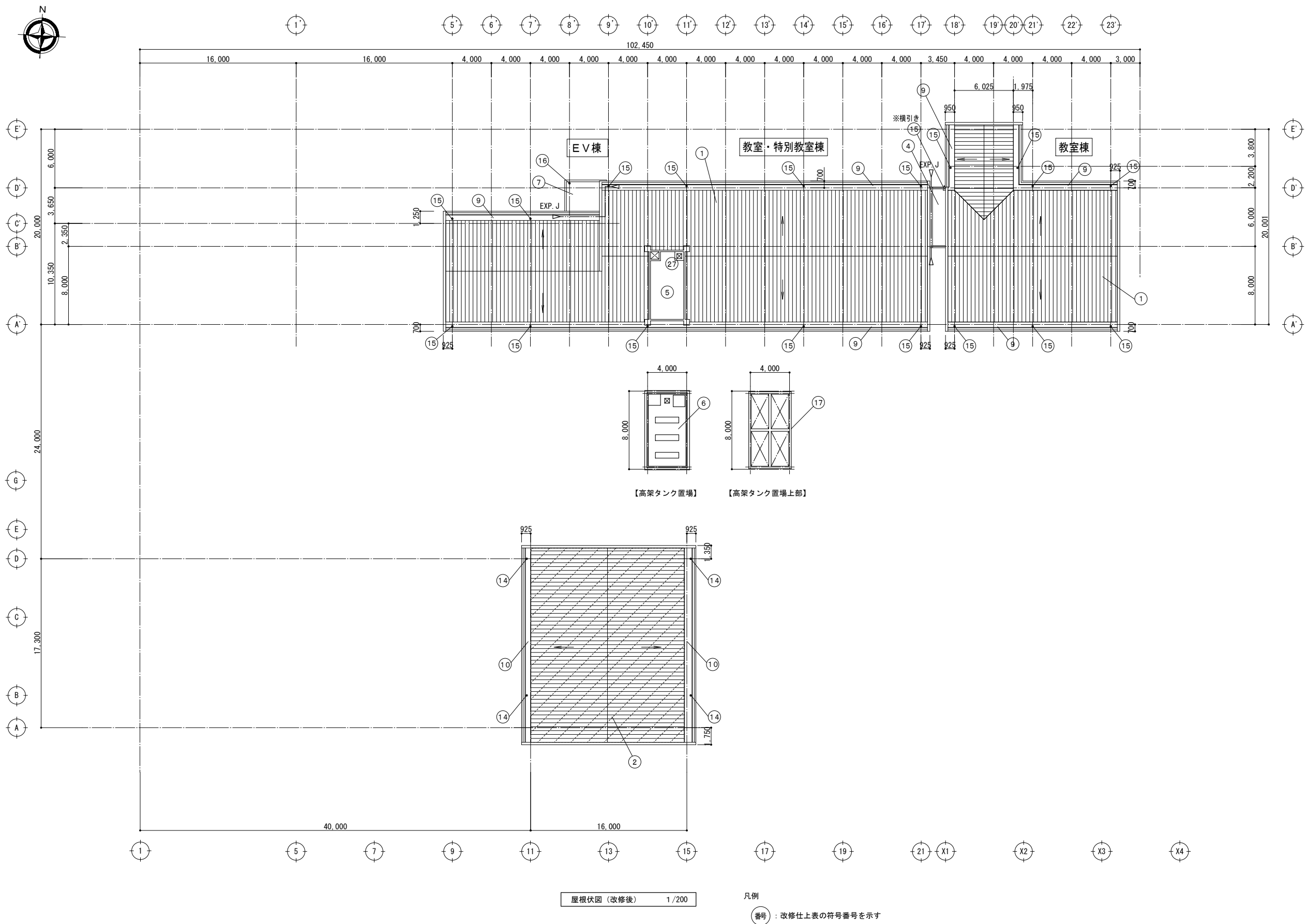


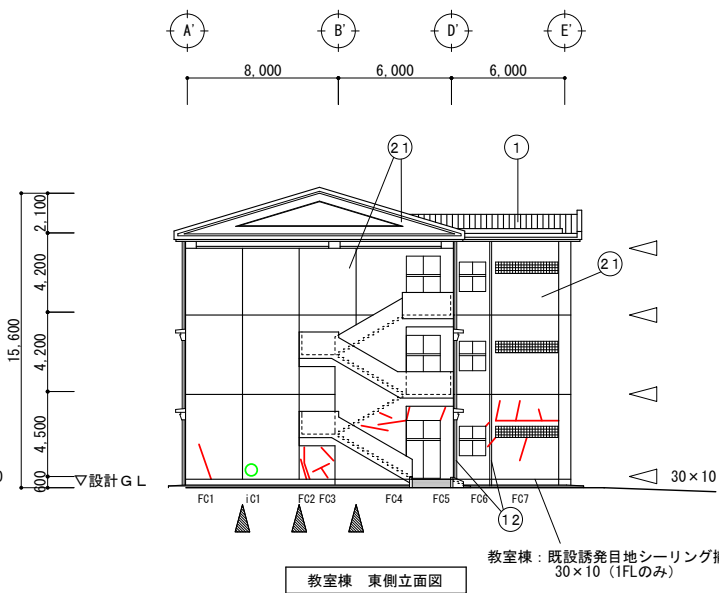
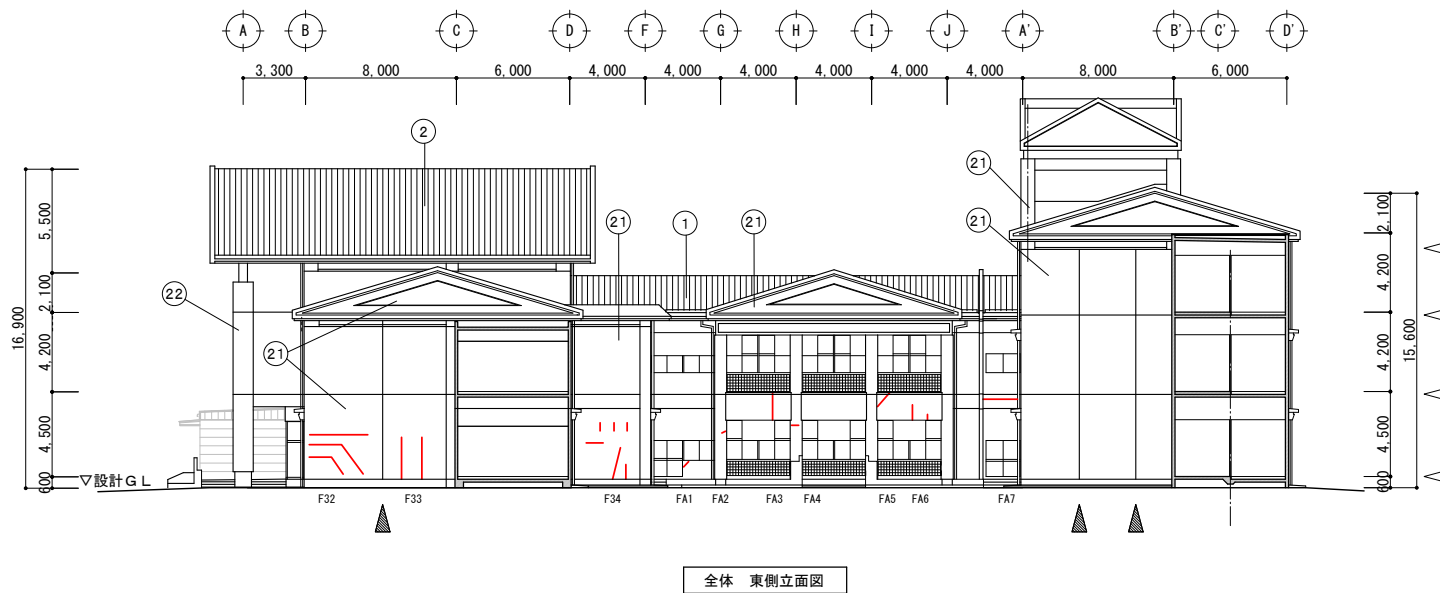
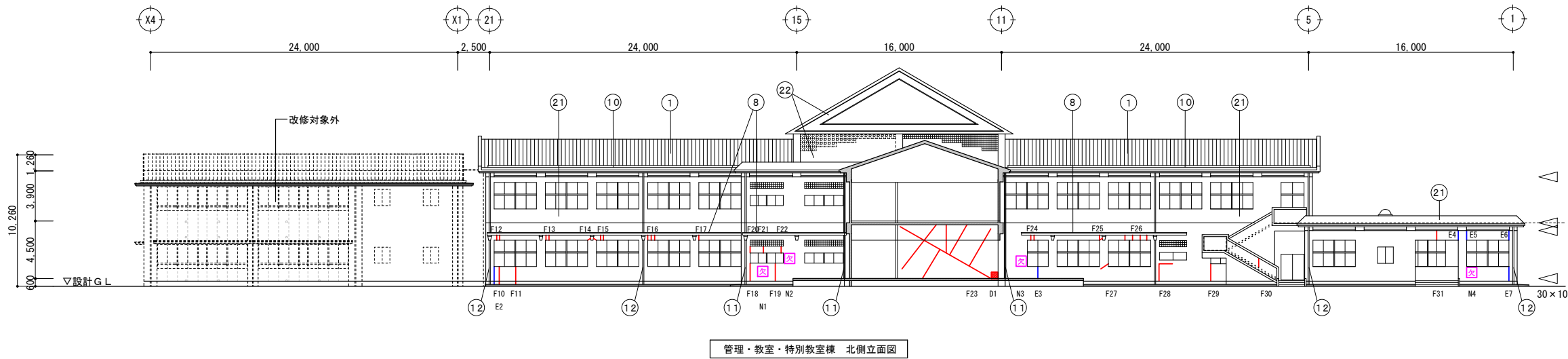
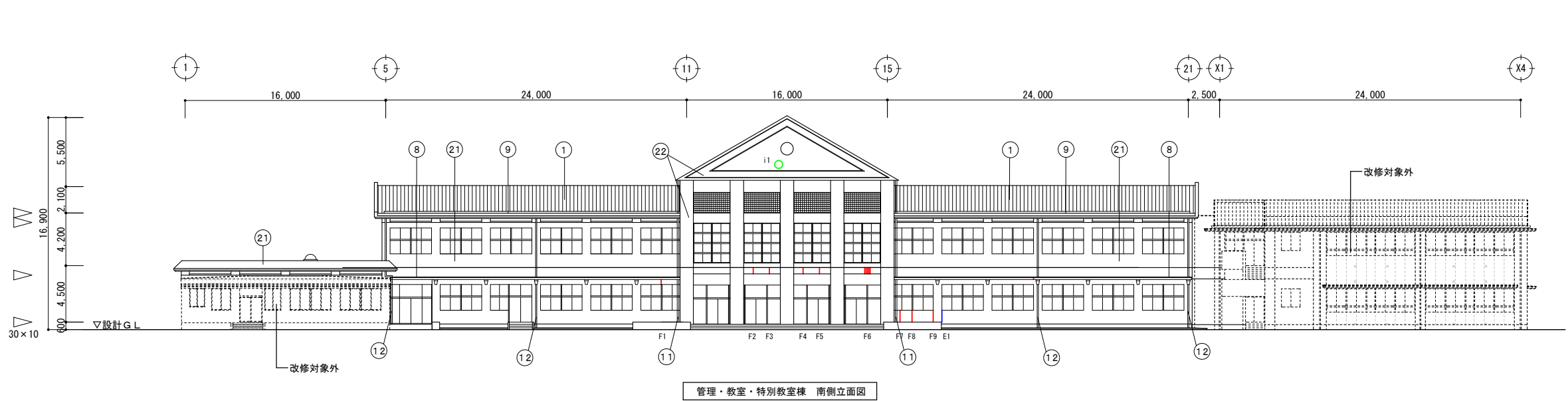
3階平面図 (改修後) 1/200

凡例

(番号) : 改修仕上の符号番号を示す

(1/AW) : 改修建具符号を示す (26)





- 凡例
- ▽：打継目地の位置を示す（特記なし：40×10）
- ▲：ひび割れ誘発目地の位置を示す（20×10）

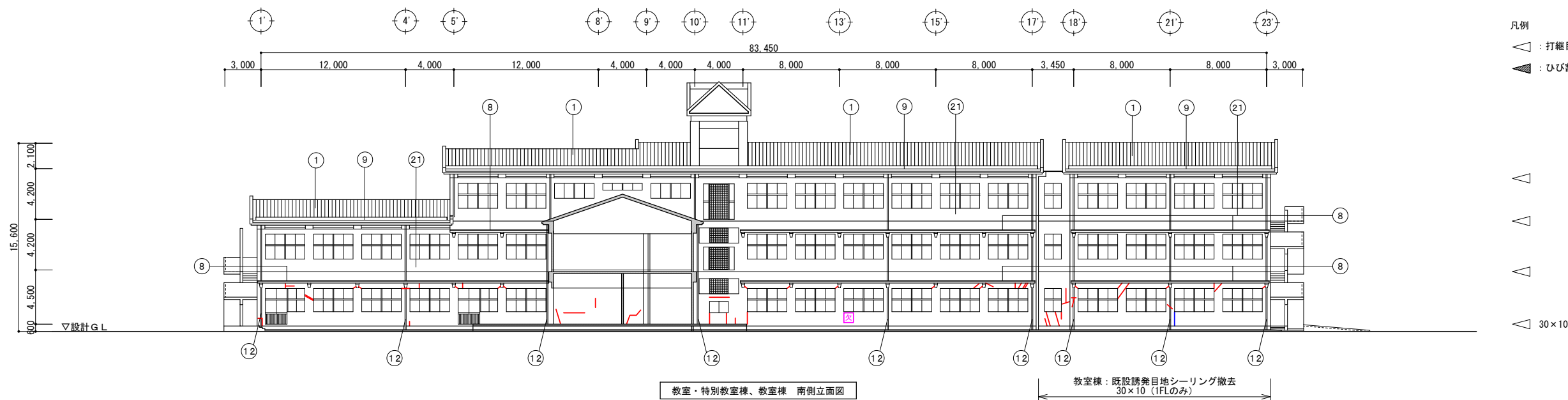
備考
打継目地（水平）、ひび割れ誘発目地（垂直）、建具廻りシーリング、建具と水切り間シーリング、天井裏換気パイプ廻りシーリングは改修対象棟の全ての部分を改修とする。

(番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

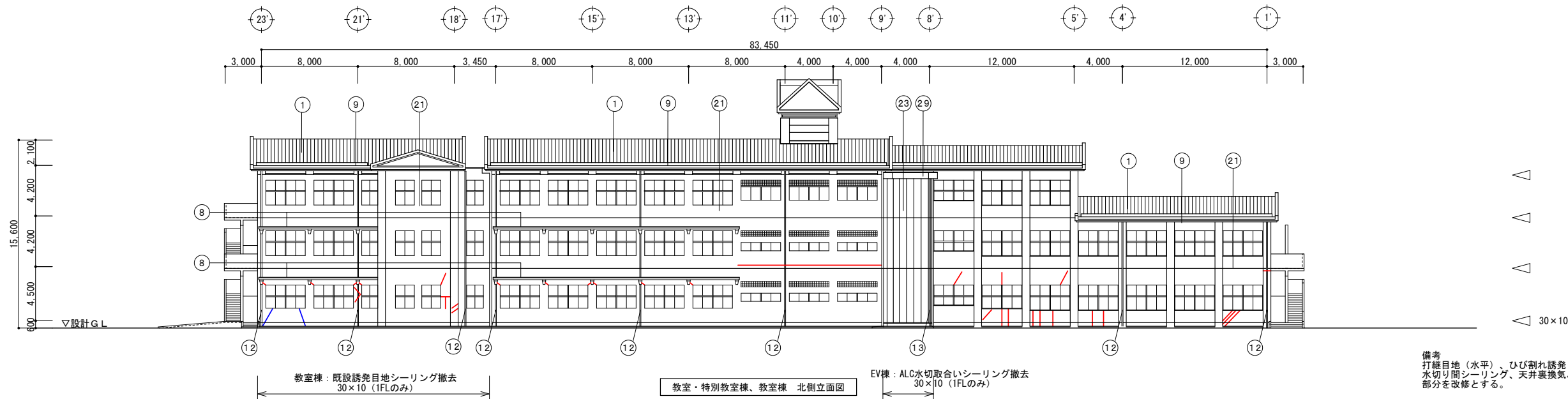
外壁劣化数量については調査可能な範囲のみを調査した上で面積按分し、想定数量を算出している。
工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）を実施し報告書を提出の上、発注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行うこと。

種 別	符 号		
浮き補修		D	アンカービニング樹脂注入工法
ひび割れ		E	幅0.2mm未満 シール工法
		F	幅0.2mm以上 樹脂注入工法
		G	幅1.0mmを超える Uカットシール材充填工法
爆 裂		i	150角程度 浸透性防錆工法
欠 損		N	150角程度 充填工法

	想定数量	管理・教室 特別教室棟	渡り廊下棟	教室・ 特別教室棟	教室棟
浮き補修	著しい浮き	2か所	0か所	0か所	0か所
	幅0.2mm未満	14m	0m	24m	0m
ひび割れ	幅0.2mm以上	157m	29m	147m	171m
	幅1.0mmを超える	10m	5m	10m	10m
爆 裂	150角程度	3か所	0か所	3か所	0か所
欠 損	150角程度	8か所	0か所	0か所	3か所



凡例
▽：打継目地の位置を示す（特記なし：40×10）
▲：ひび割れ誘発目地の位置を示す（20×10）

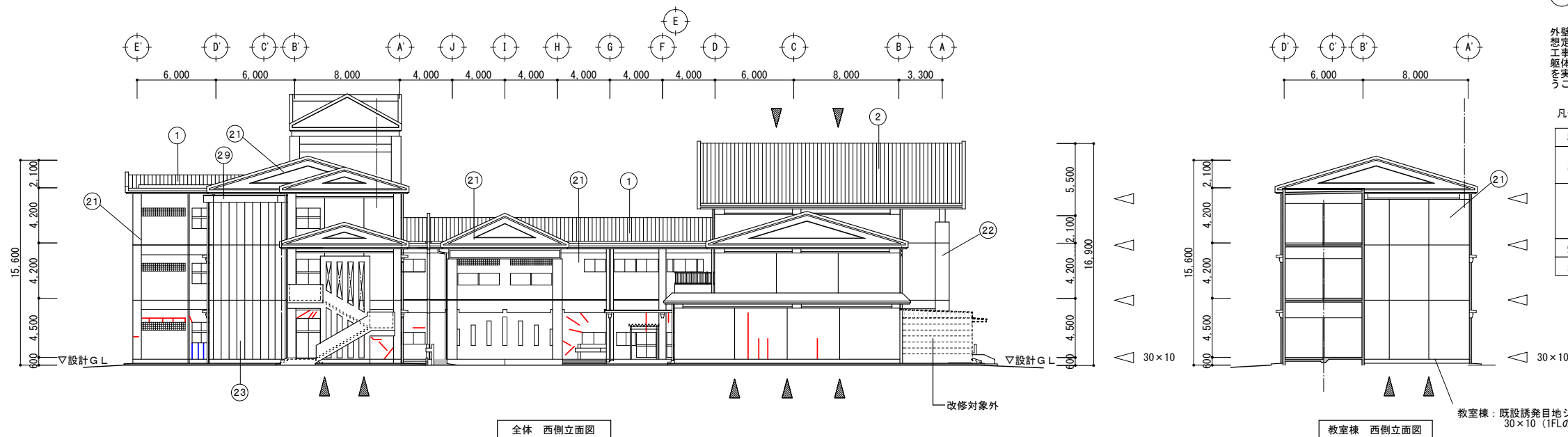


▽ 30×10
▽ 30×10
▽ 30×10
▽ 30×10

備考
打継目地（水平）、ひび割れ誘発目地（垂直）、建具廻りシーリング、建具と水切り間シーリング、天井裏換気パイプ廻りシーリングは改修対象棟の全ての部分を改修とする。

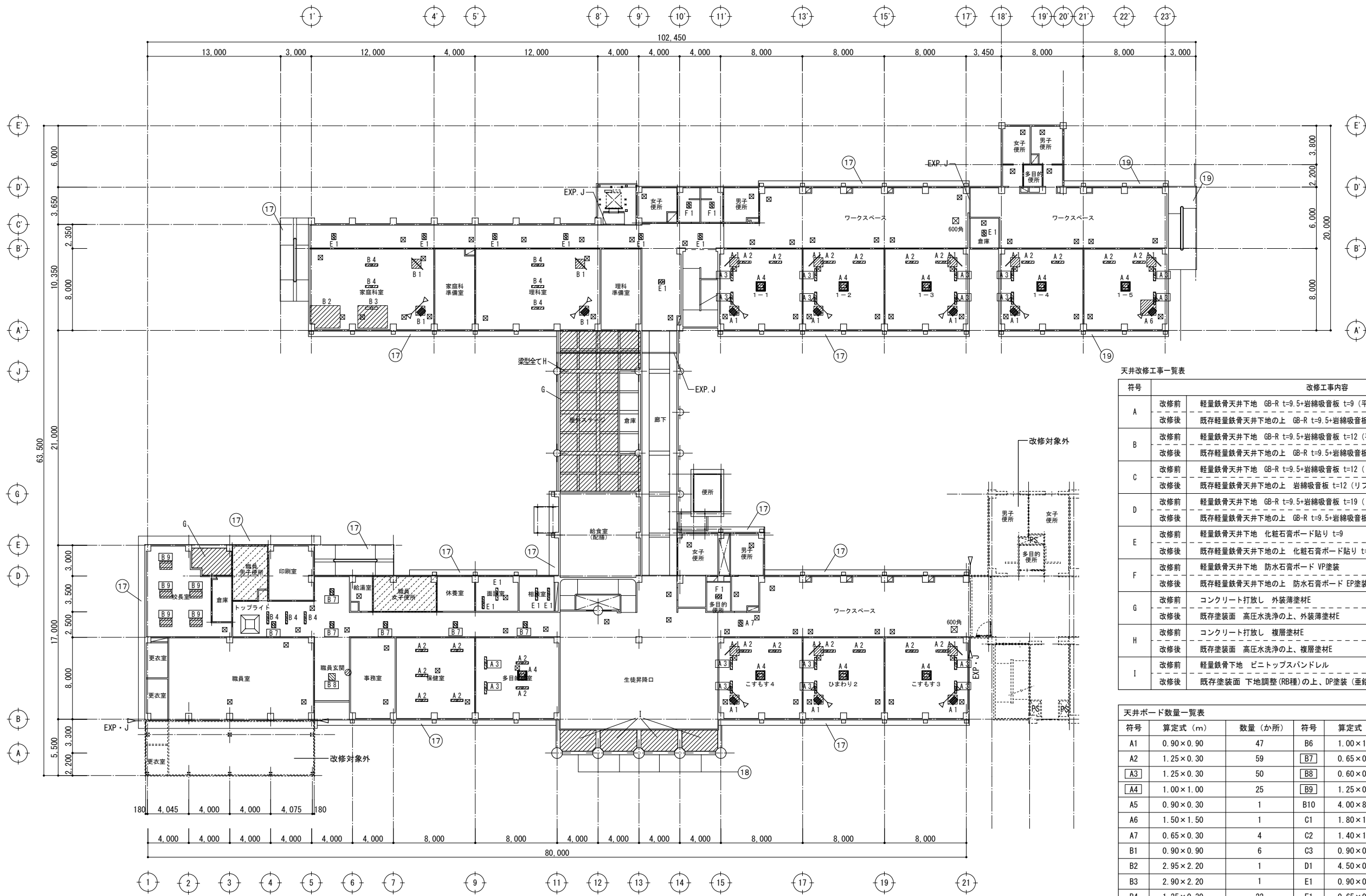
（番号）は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

外壁劣化数量については調査可能な範囲のみを調査した上で面積按分し、想定数量を算出している。
工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）を実施し報告書を提出の上、発注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行うこと。



種 別	符 号		
浮き補修	■	D	アンカービニング樹脂注入工法
ひび割れ	—	E	幅0.2mm未満 シール工法
	—	F	幅0.2mm以上 樹脂注入工法
	---	G	幅1.0mmを超える Uカットシール材充填工法
爆 裂	○	i	150角程度 浸透性防錆工法
欠 損	□	N	150角程度 充填工法

▽ 30×10
▽ 30×10
▽ 30×10
▽ 30×10



天井改修工事一覧表

符号	改修工事内容		
A	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=9 (平板)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=9 (平板)	【新設】
B	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (平板)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (平板)	【新設】
C	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (リブ付)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 岩綿吸音板 t=12 (リブ付)	【新設】
D	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【新設】
E	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード貼り t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧石膏ボード貼り t=9	【新設】
F	改修前	軽量鉄骨天井下地 防水石膏ボード VP塗装	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 防水石膏ボード EP塗装	【新設】
G	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E	【塗替】
	改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E	【新設】
H	改修前	コンクリート打放し 複層塗材E	【塗替】
	改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【新設】
I	改修前	軽量鉄骨下地 ビニートップスバンドレル	【塗替】
	改修後	既存塗装面 下地調整(RB種)の上、DP塗装 (亜鉛めっき鋼面)	【新設】

天井ボード数量一覧表

符号	算定式 (m)	数量 (か所)	符号	算定式 (m)	数量 (か所)
A1	0.90×0.90	47	B6	1.00×1.00	2
A2	1.25×0.30	59	B7	0.65×0.30	6
A3	1.25×0.30	50	B8	0.60×0.60	1
A4	1.00×1.00	25	B9	1.25×0.80	5
A5	0.90×0.30	1	B10	4.00×8.00	1
A6	1.50×1.50	1	C1	1.80×1.80	1
A7	0.65×0.30	4	C2	1.40×1.40	1
B1	0.90×0.90	6	C3	0.90×0.80	1
B2	2.95×2.20	1	D1	4.50×0.90	1
B3	2.90×2.20	1	E1	0.90×0.45	29
B4	1.25×0.30	22	F1	0.65×0.30	3
B5	1.25×0.30	4			

A、B、C、D、Eは天井改修工事一覧表の符号のボードを示す

□ は埋込照明器具・埋込空調機撤去の為、軽鉄下地設置を含む符号を示す

凡例

△ : OHPスクリーン (天井吊り) 【撤去】

⊠ : 天井点検口 (特記なし: 450角)

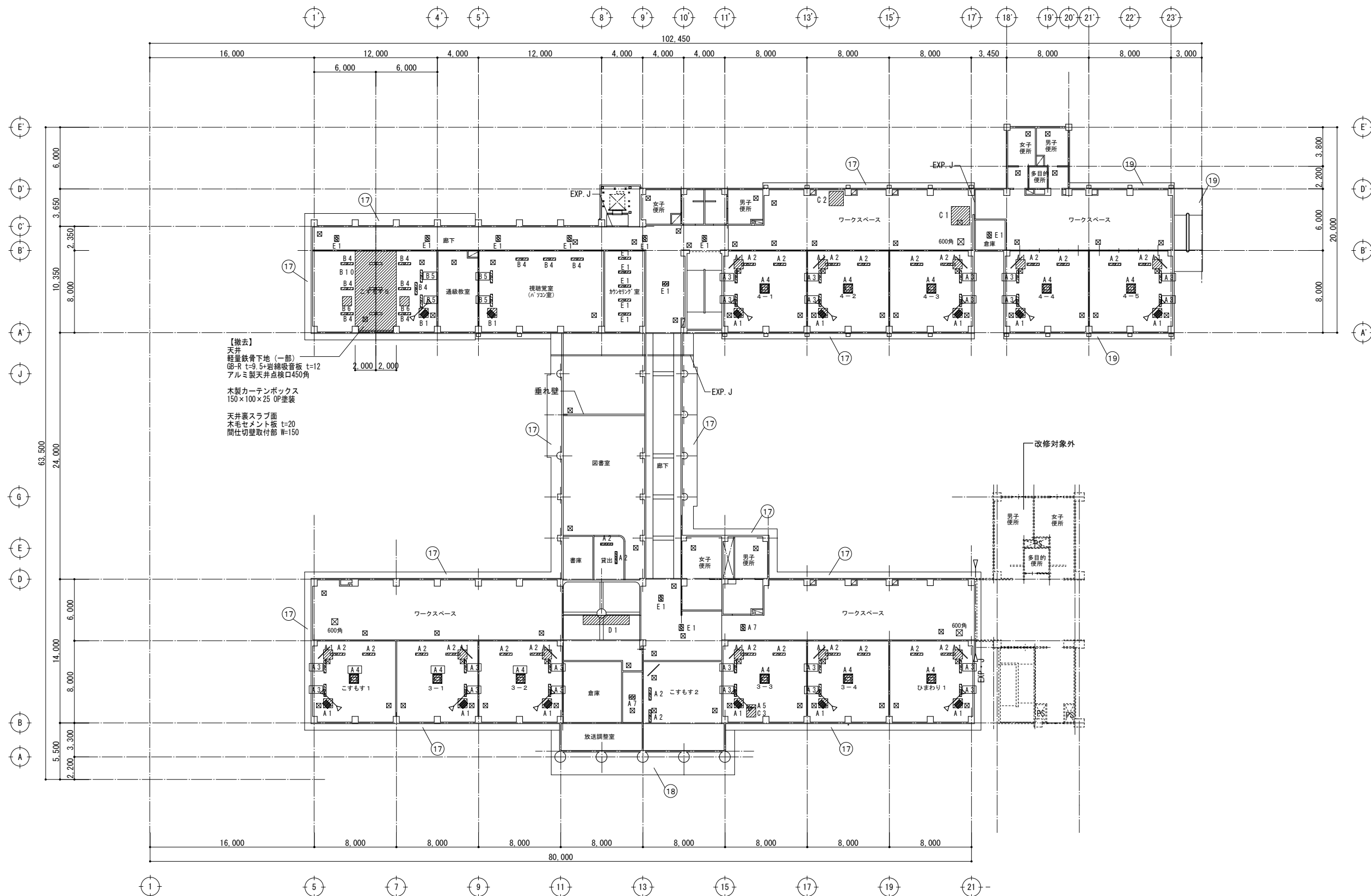
▨ : 照明LED化済の為、照明取替工事対象外

— : 地図掛け (天井吊り) 【撤去】

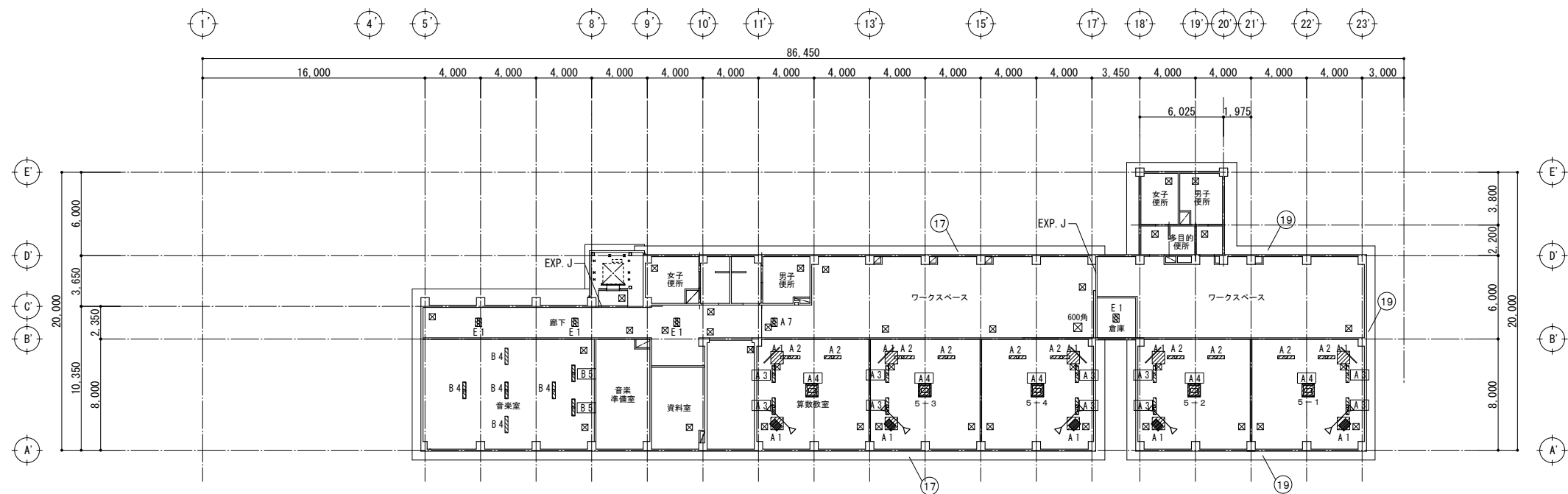
▨ : 天井改修範囲

■ : テレビハンガー (天井吊り) 【撤去】

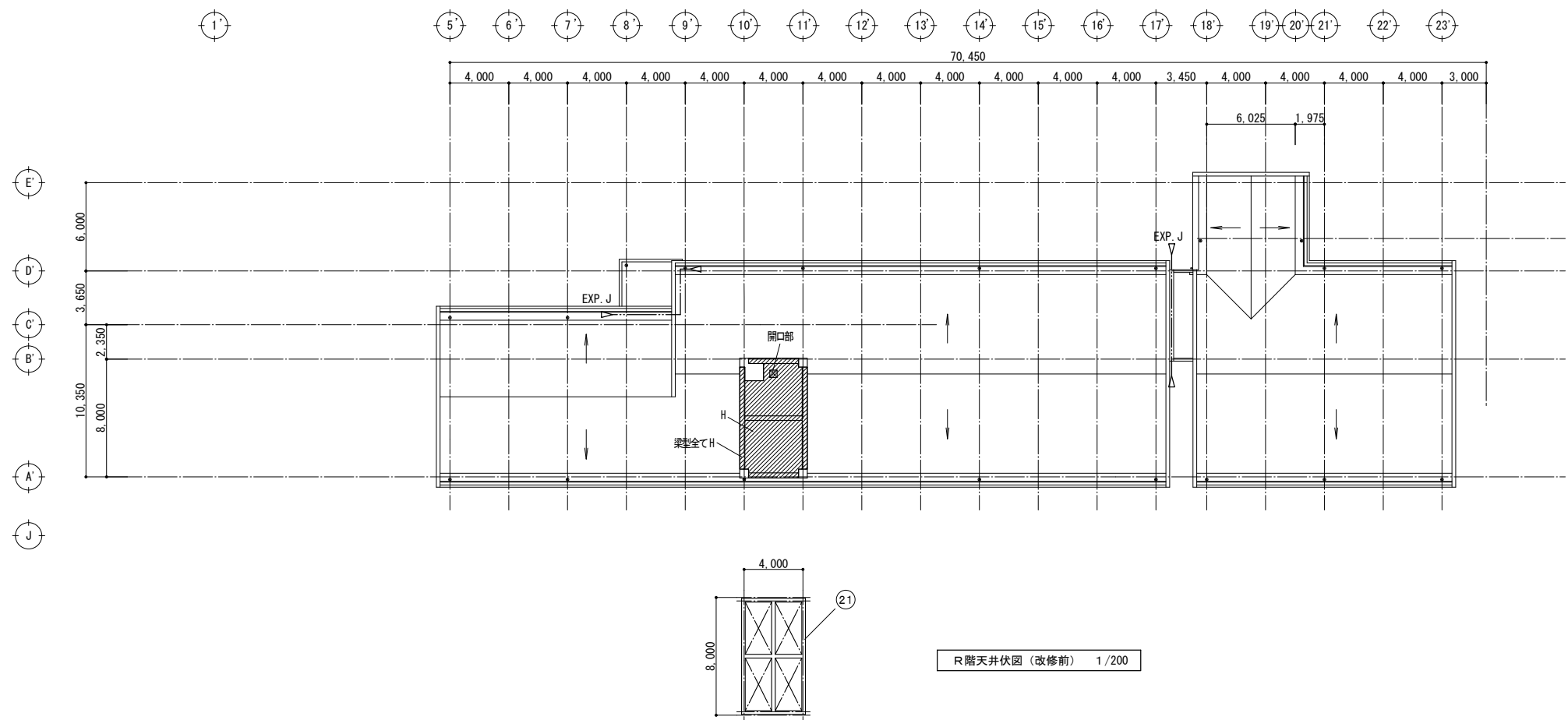
外部の(番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す



2階天井伏図（改修前） 1/200

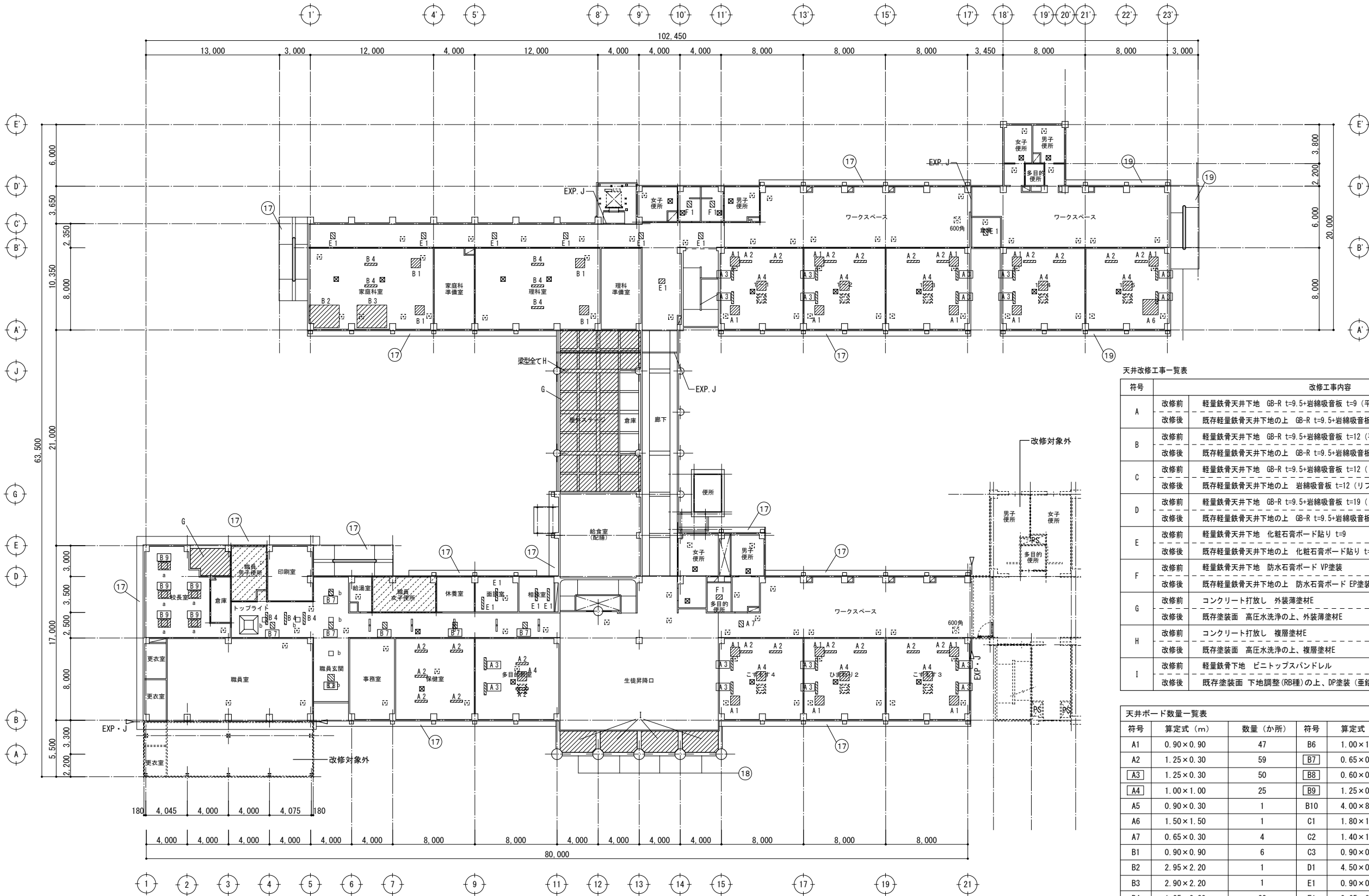


3階天井伏図（改修前） 1/200



R 3階天井伏図（改修前） 1/200

【 高架水槽置場 】



天井改修工事一覧表

符号	改修工事内容		
A	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=9 (平板)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=9 (平板)	【新設】
B	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (平板)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (平板)	【新設】
C	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=12 (リブ付)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 岩綿吸音板 t=12 (リブ付)	【新設】
D	改修前	軽量鉄骨天井下地 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 GB-R t=9.5+岩綿吸音板 t=19 (リブ付)	【新設】
E	改修前	軽量鉄骨天井下地 化粧石膏ボード貼り t=9	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 化粧石膏ボード貼り t=9	【新設】
F	改修前	軽量鉄骨天井下地 防水石膏ボード VP塗装	【一部撤去】
	改修後	既存軽量鉄骨天井下地の上 防水石膏ボード EP塗装	【新設】
G	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E	【塗替】
	改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E	【新設】
H	改修前	コンクリート打放し 複層塗材E	【塗替】
	改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E	【新設】
I	改修前	軽量鉄骨下地 ビニトップスバンドレル	【塗替】
	改修後	既存塗装面 下地調整 (RB種) の上、DP塗装 (亜鉛めっき鋼面)	【新設】

天井ボード数量一覧表

符号	算定式 (m)	数量 (か所)	符号	算定式 (m)	数量 (か所)
A1	0.90×0.90	47	B6	1.00×1.00	2
A2	1.25×0.30	59	B7	0.65×0.30	6
A3	1.25×0.30	50	B8	0.60×0.60	1
A4	1.00×1.00	25	B9	1.25×0.80	5
A5	0.90×0.30	1	B10	4.00×8.00	1
A6	1.50×1.50	1	C1	1.80×1.80	1
A7	0.65×0.30	4	C2	1.40×1.40	1
B1	0.90×0.90	6	C3	0.90×0.80	1
B2	2.95×2.20	1	D1	4.50×0.90	1
B3	2.90×2.20	1	E1	0.90×0.45	29
B4	1.25×0.30	22	F1	0.65×0.30	3
B5	1.25×0.30	4			

A、B、C、D、Eは天井改修工事一覧表の符号のボードを示す

□ は埋込照明器具・埋込空調機撤去の為、軽鉄下地設置を含む符号を示す

凡例

☒ : 天井点検口 (特記なし: 450角) 【新設】 ☒ : 天井点検口 (特記なし: 450角) 【既設】

☒ : 埋込室内空調機開口補強 1,000×1,000 【新設】 ☒ : 既存露出室内空調機移設位置 (機械設備工事)

☒ : 照明器具開口補強 1,250×150 【新設】 ☒ : 照明器具開口補強 a: 600×600 b: 450×450 【新設】

☒ : 天井改修範囲 外部の(番号)は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。 ☒ : 照明LED化済の為、照明取替工事対象外

1階天井伏図 (改修後) 1/200

Matsumoto
Architecture
Corporation

Office
株式会社 マック
一級建築士事務所熊本県知事登録第1889号
Architect
一級建築士国土交通大臣登録 第344205号
松本 義勝

Architect

Architect

Date
R 6. 1 1

Project

大津町立大津小学校校舎屋根外壁等改修工事

Drawing Title

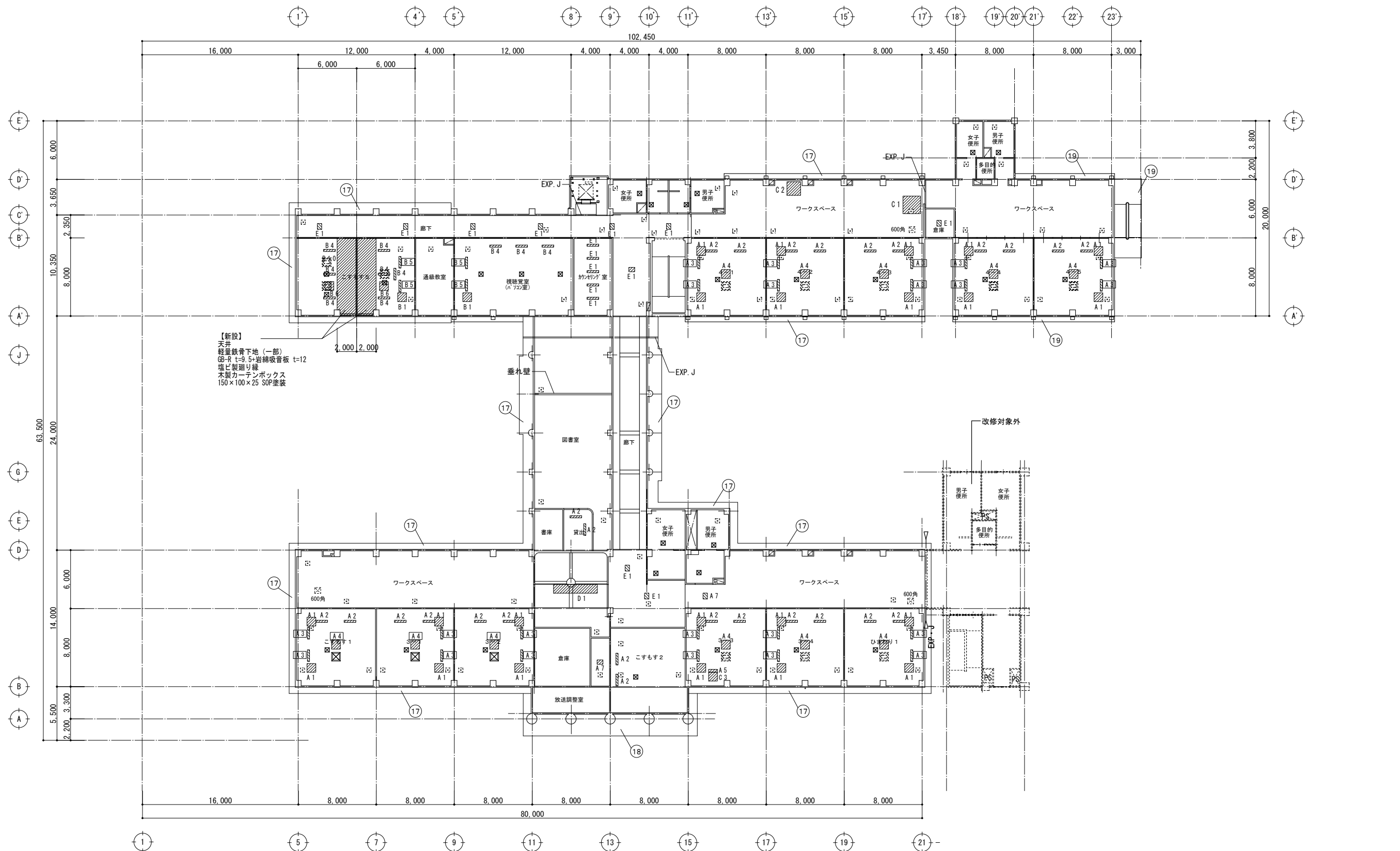
【校舎】1階天井伏図 (改修後)

Scale

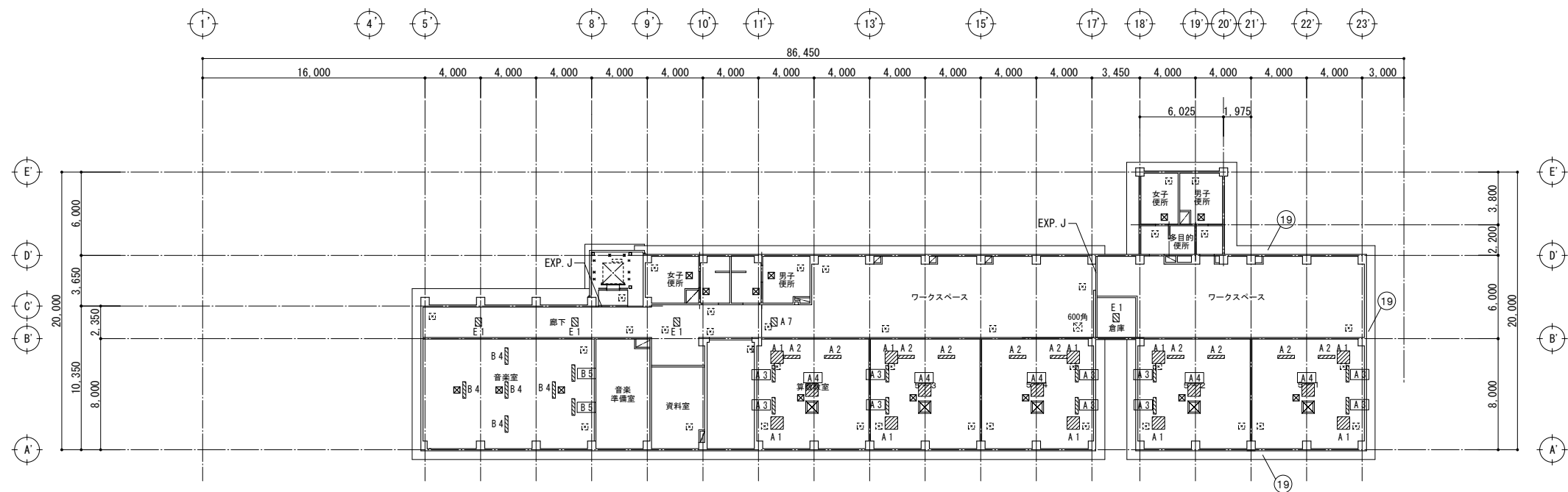
A1: 1/200
A3: 1/400

Drawing No.

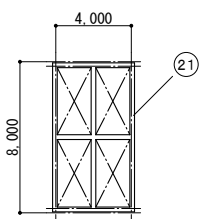
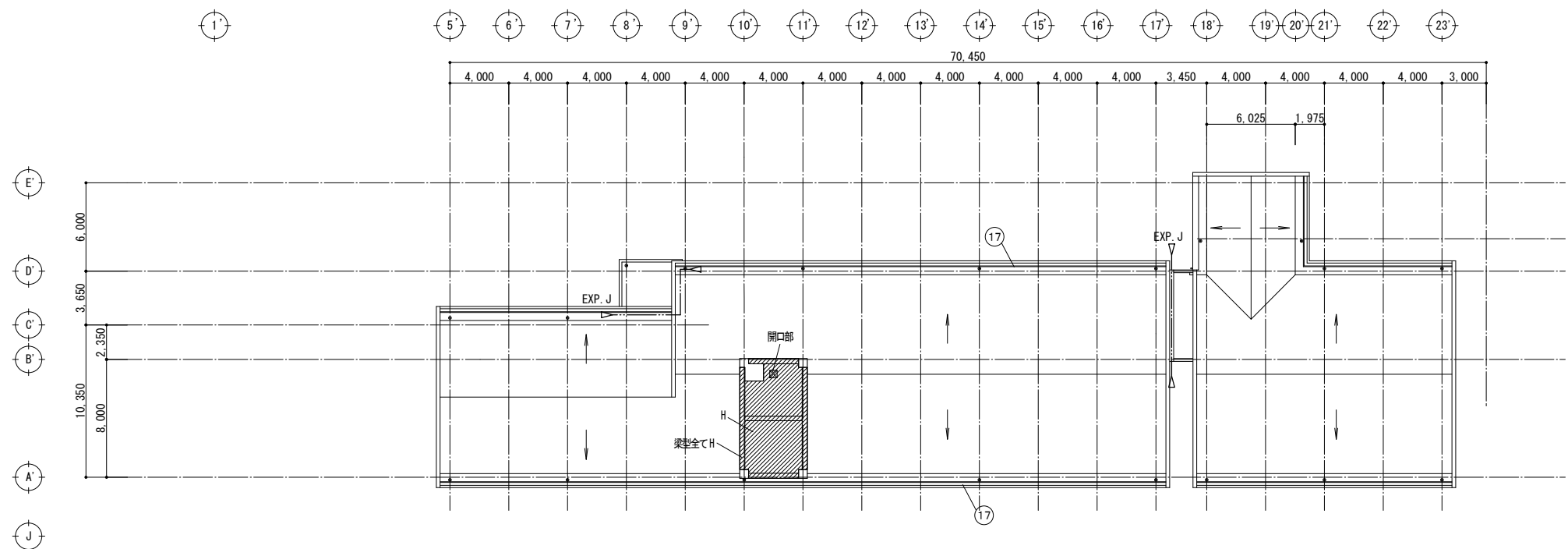
A-22



- 凡例
- ☒ : 天井点検口 (特記なし: 450角) 【新設】
 - ☒ : 天井点検口 (特記なし: 450角) 【既設】
 - ☒ : 埋込室内空調機開口補強 1,000×1,000 【新設】
 - ☒ : 既存露出室内空調機移設位置 (機械設備工事)
 - ☒ : 照明器具開口補強 1,250×150 【新設】
 - ☒ : 照明器具開口補強 a: 600×600 b: 450×450 【新設】
 - ☒ : 天井改修範囲
- 外部の (番号) は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。



3階天井伏図（改修後） 1/200

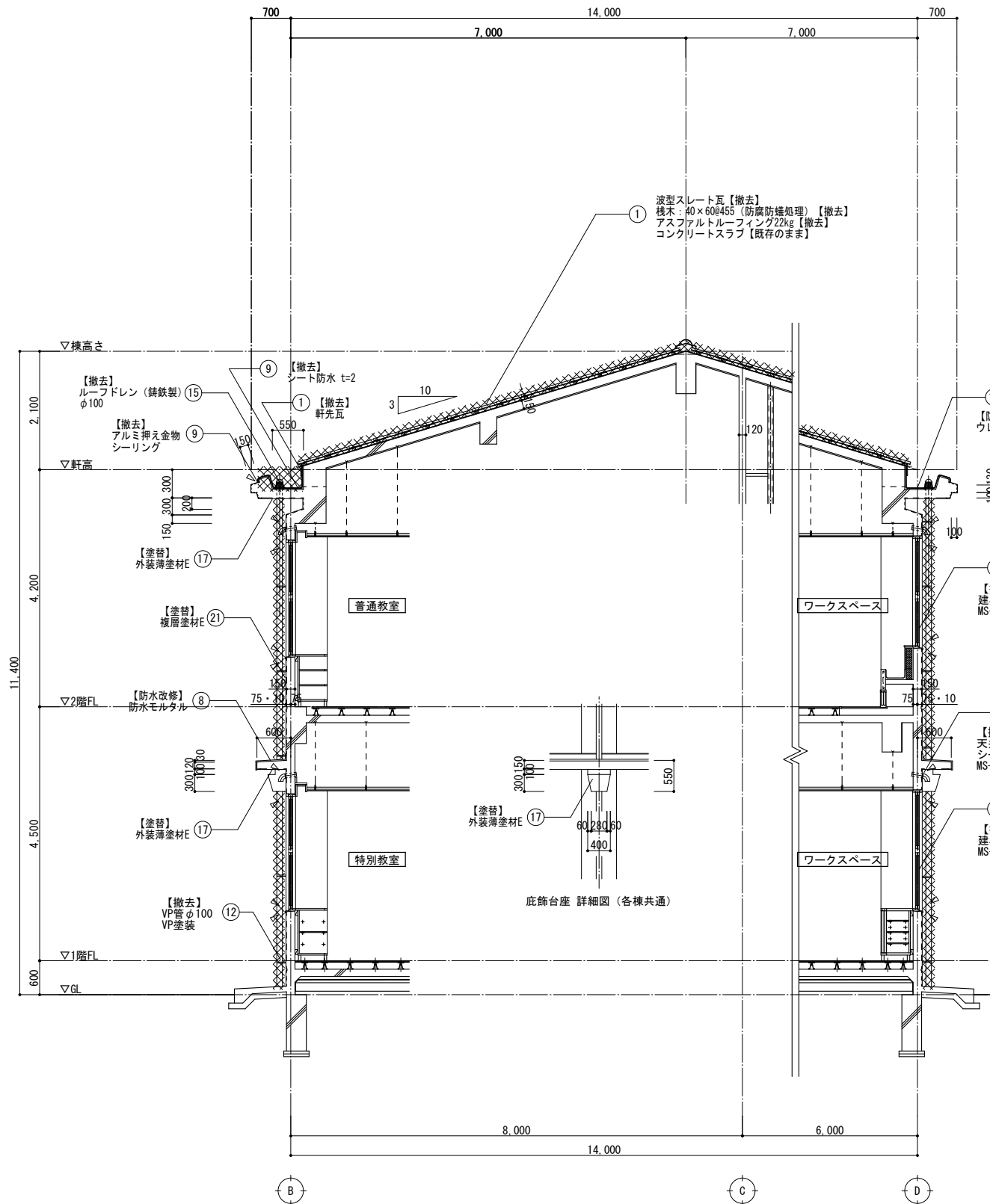


【高架水槽置場】

凡例

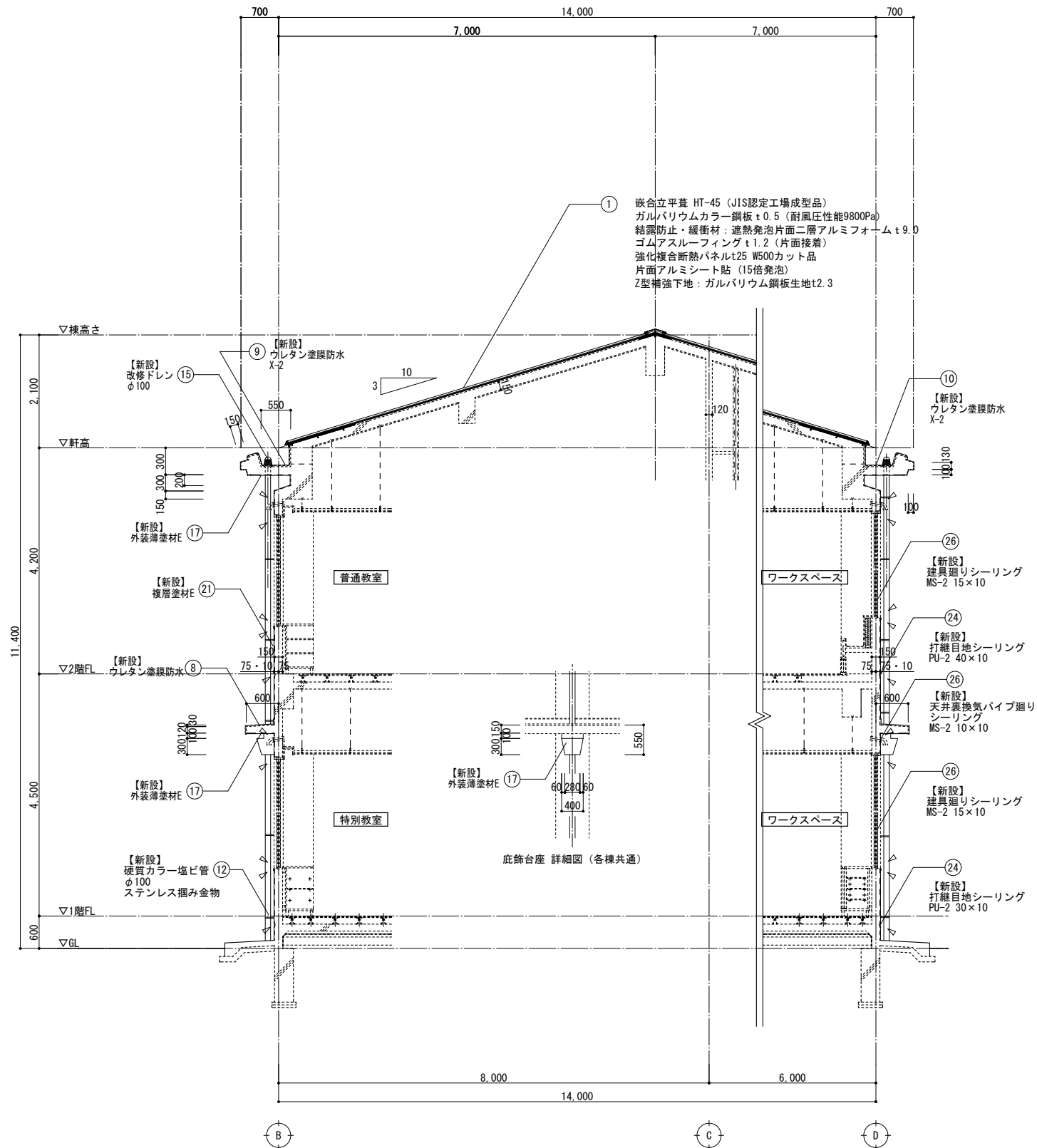
- ☒ : 天井点検口（特記なし：450角）【新設】 ☒ : 天井点検口（特記なし：450角）【既設】
- ☒ : 埋込室内空調機開口補強 1,000×1,000【新設】 ☒ : 既存露出室内空調機移設位置（機械設備工事）
- ☒ : 照明器具開口補強 1,250×150【新設】 ☒ : 照明器具開口補強 a: 600×600 b: 450×450【新設】
- ☒ : 天井改修範囲

外部の(番号)は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。



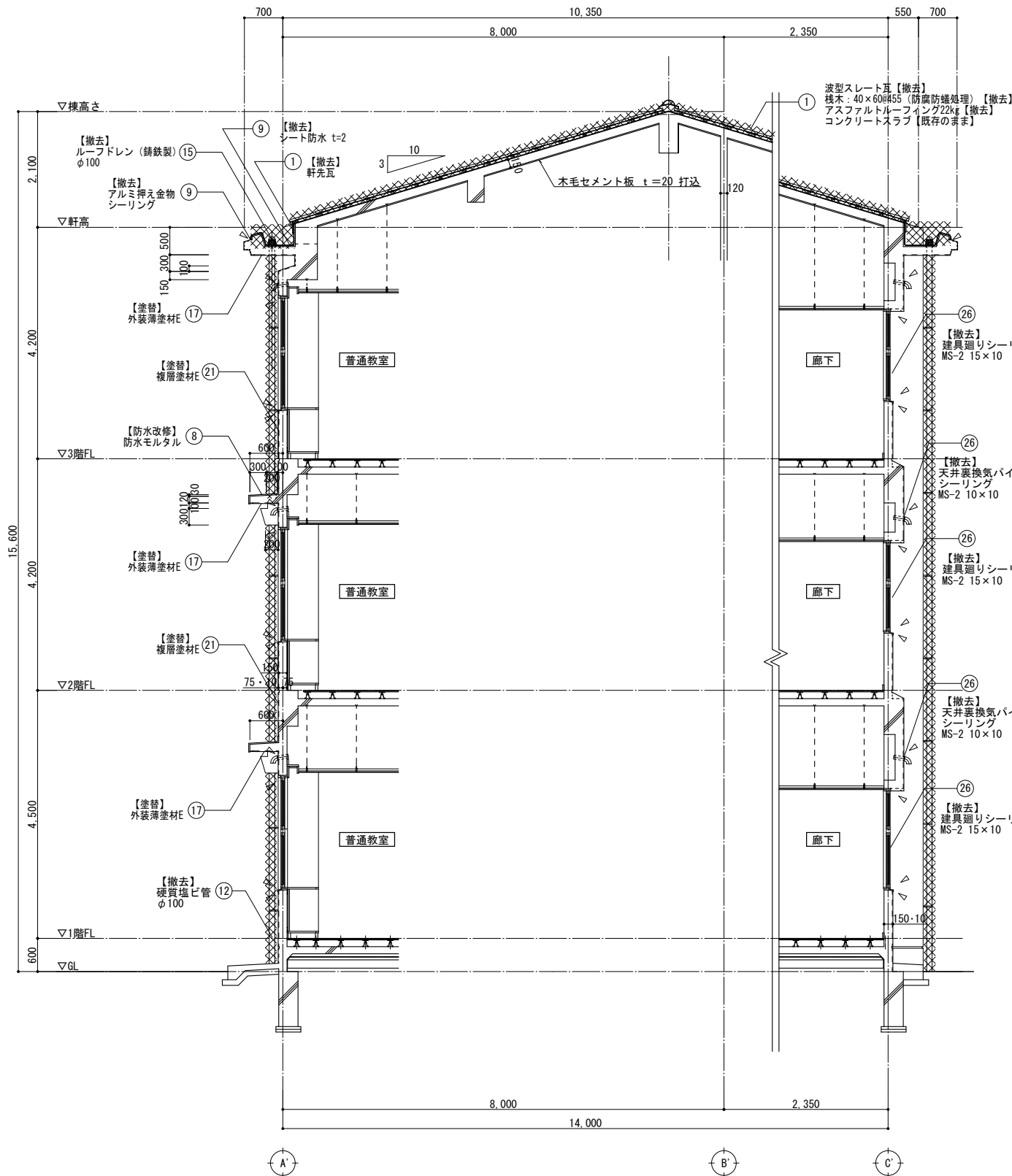
改修前矩計図 S=1/50

- 凡例
- 撤去部分を示す
 - シーリング撤去位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



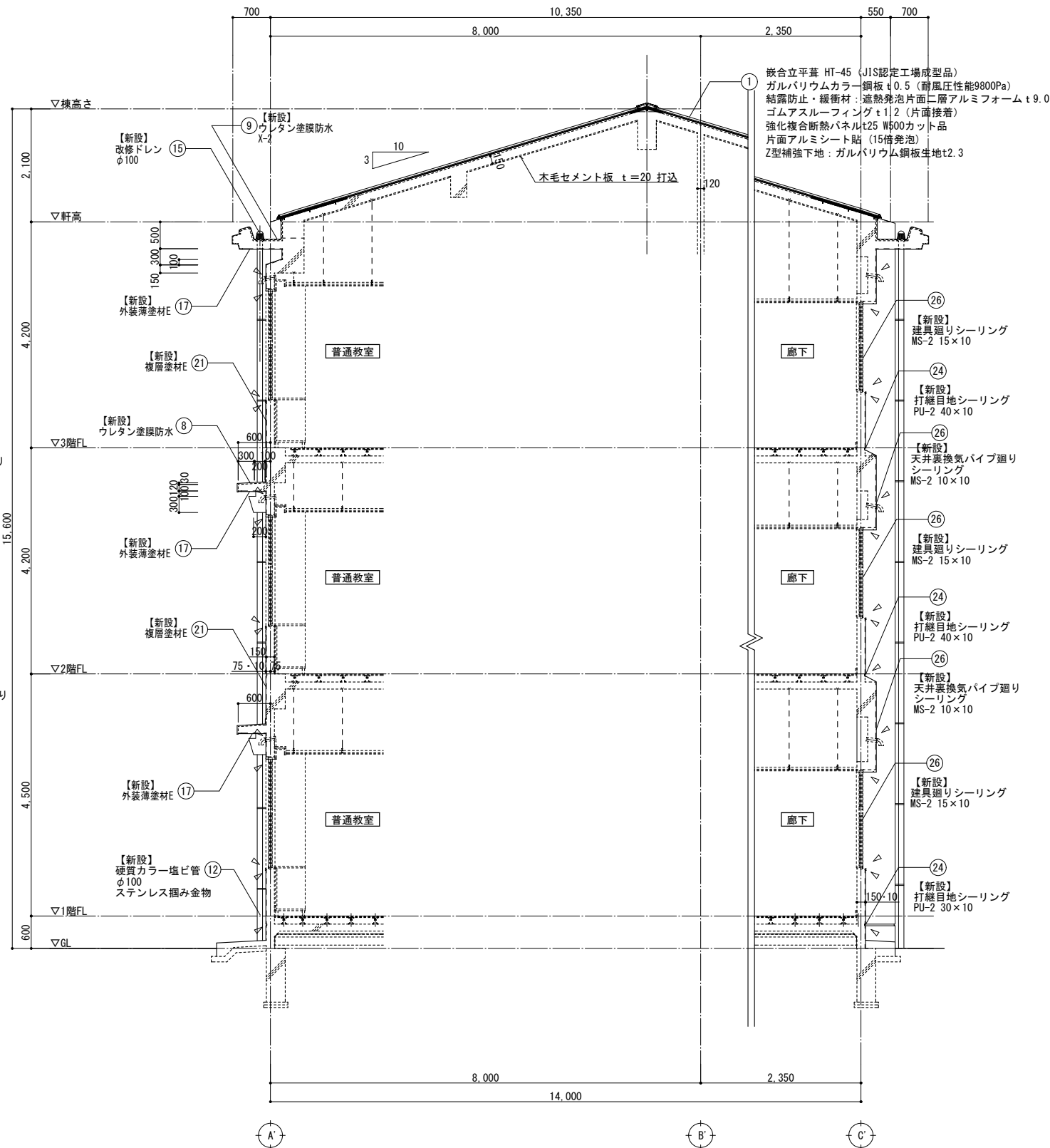
改修後矩計図 S=1/50

- 凡例
- シーリング打設位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



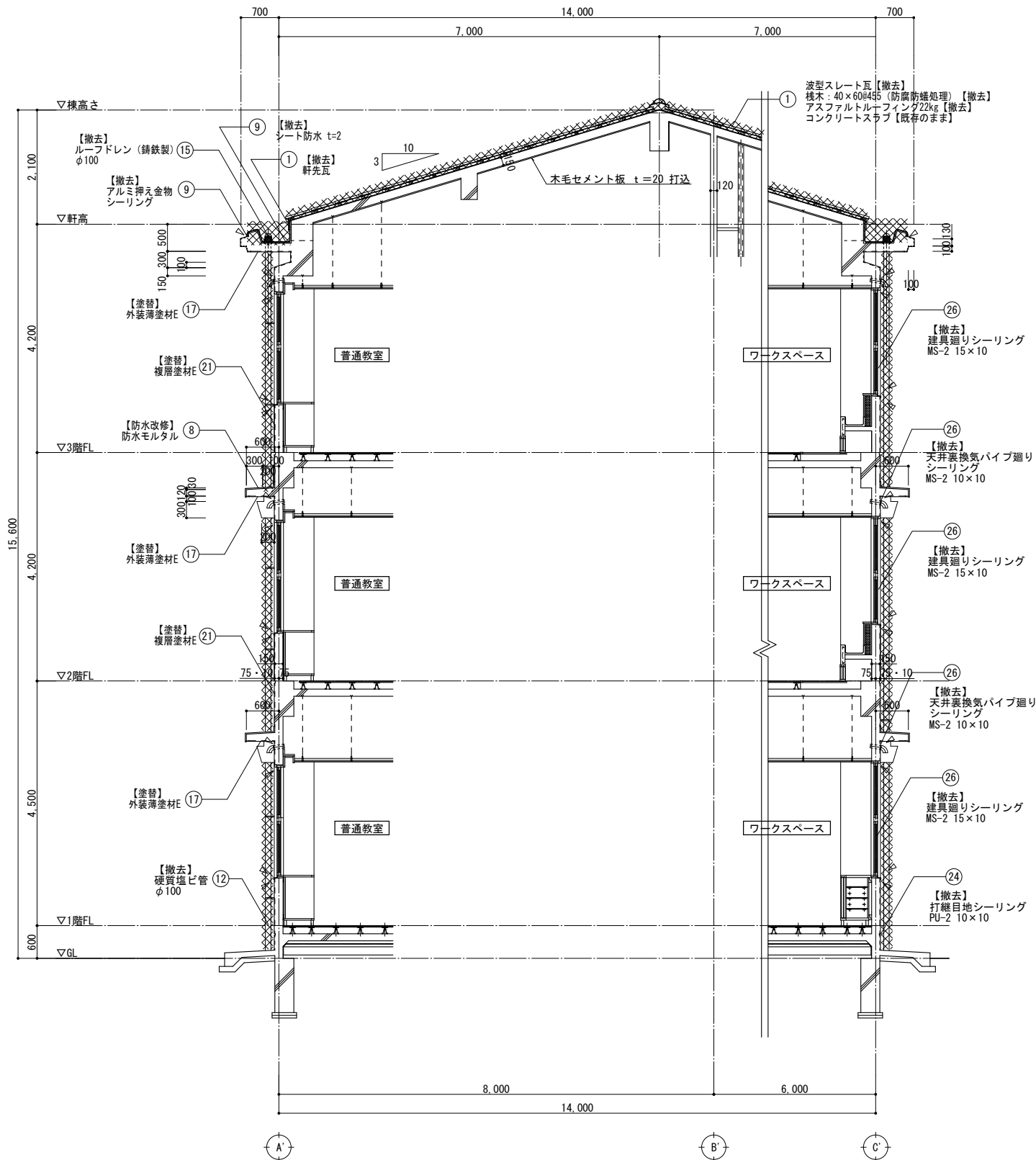
改修前矩計図 S=1/50

- 凡例
- 撤去部分を示す
 - シーリング撤去位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



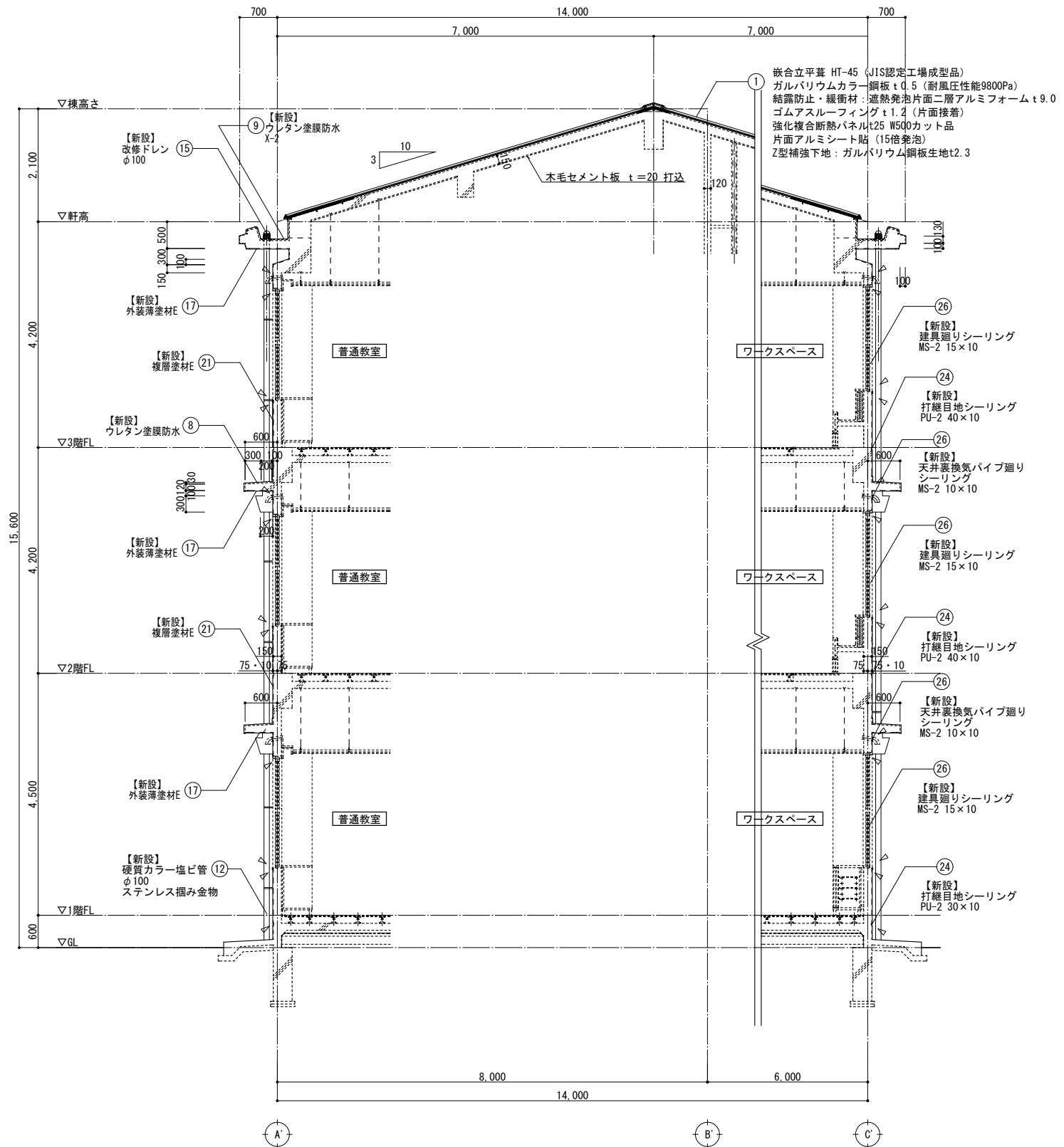
改修後矩計図 S=1/50

- 凡例
- シーリング打設位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



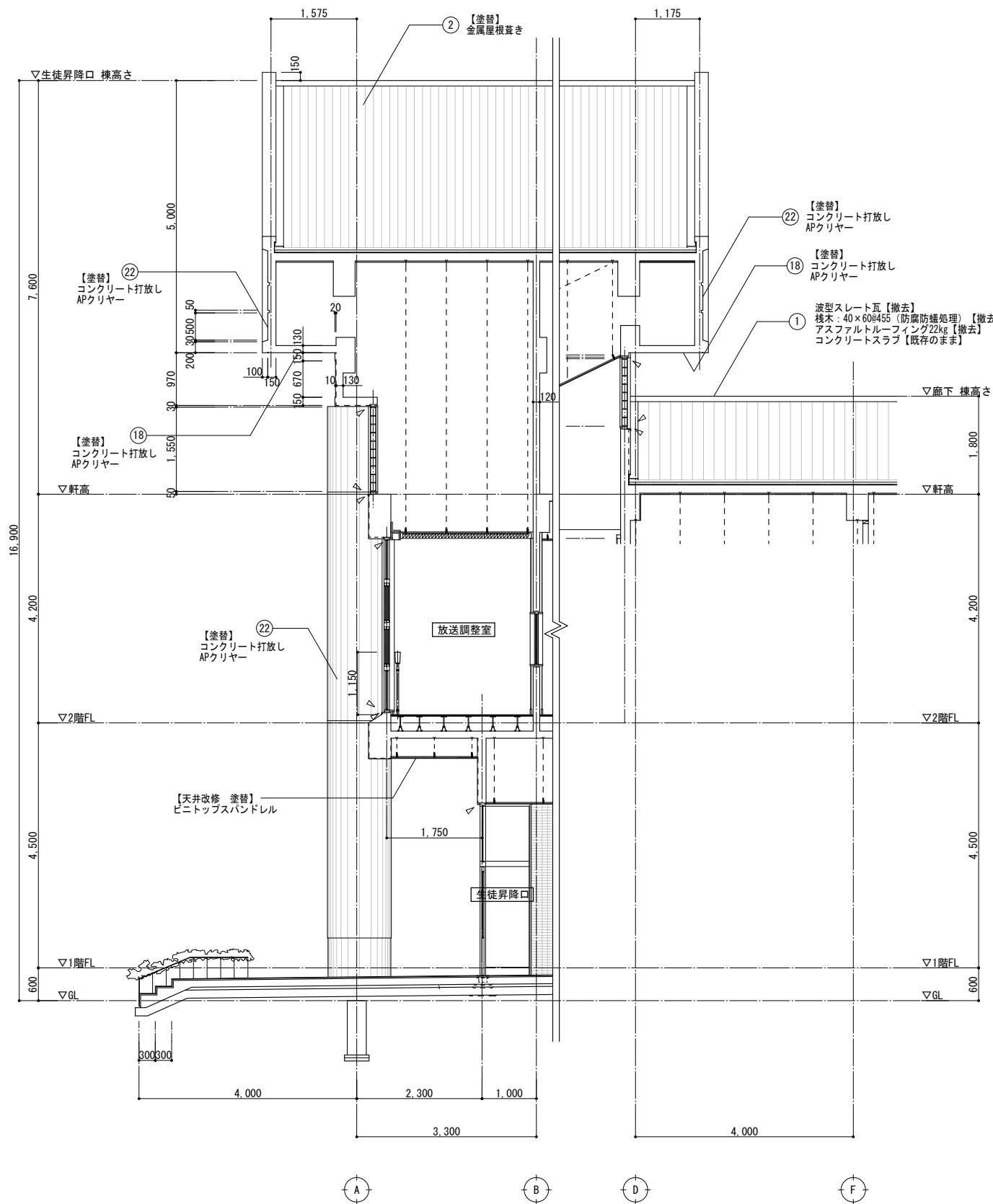
改修前矩計図 S=1/50

- 凡例
- 撤去部分を示す
 - シーリング撤去位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



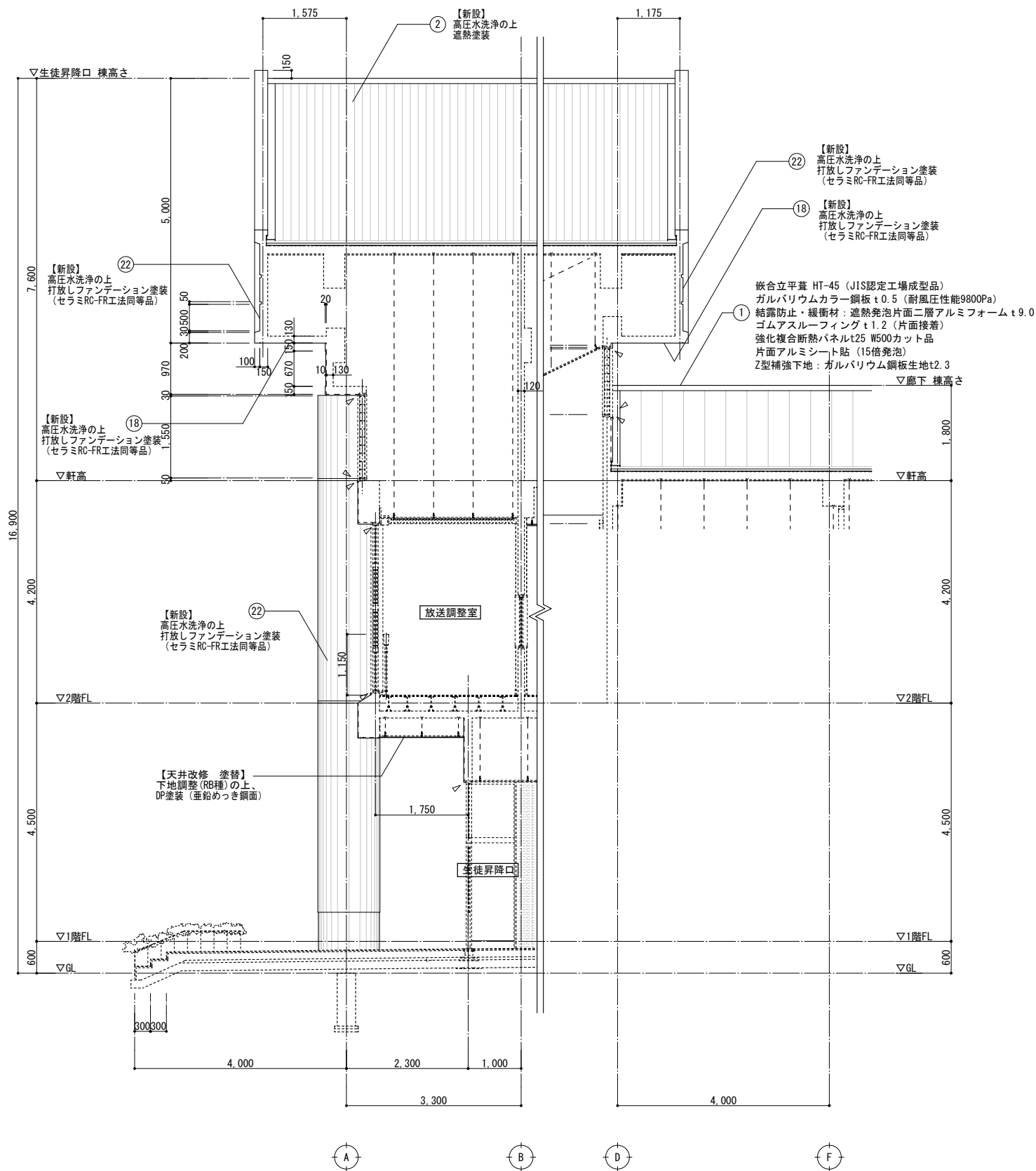
改修後矩計図 S=1/50

- 凡例
- シーリング打設位置を示す
 - 番号 : 改修仕上表の符号番号を示す



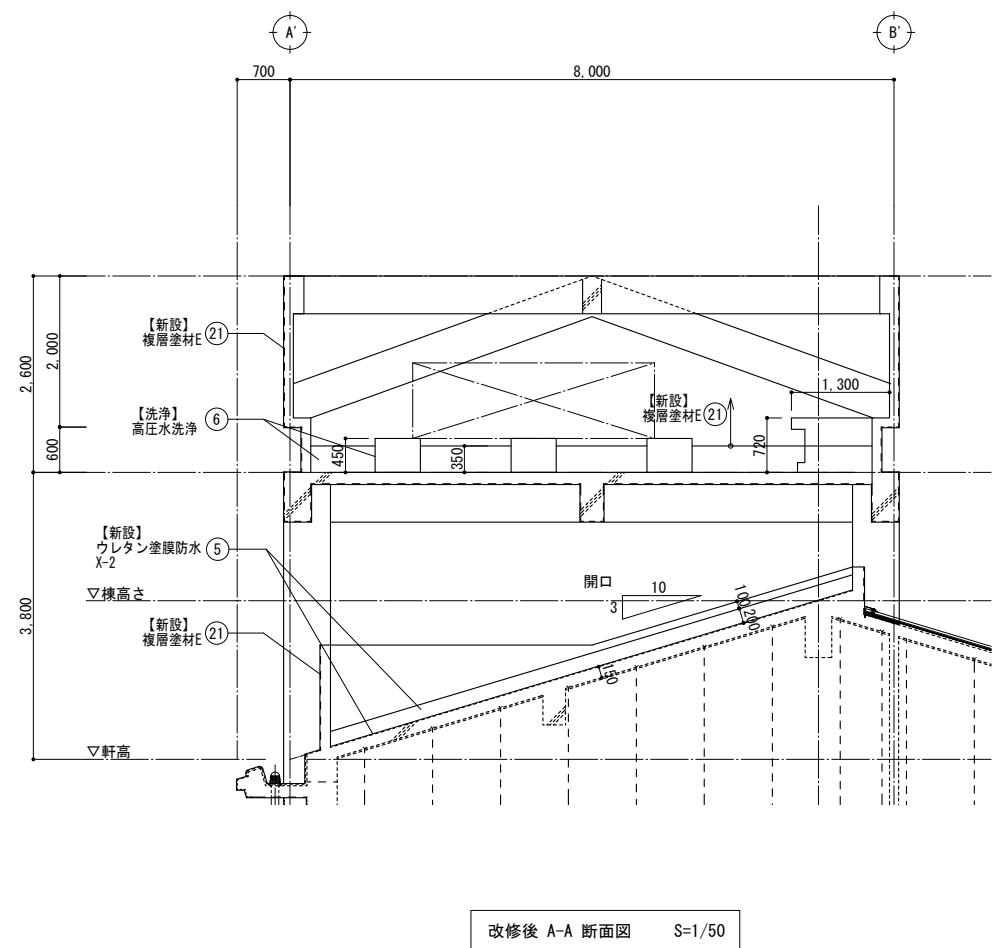
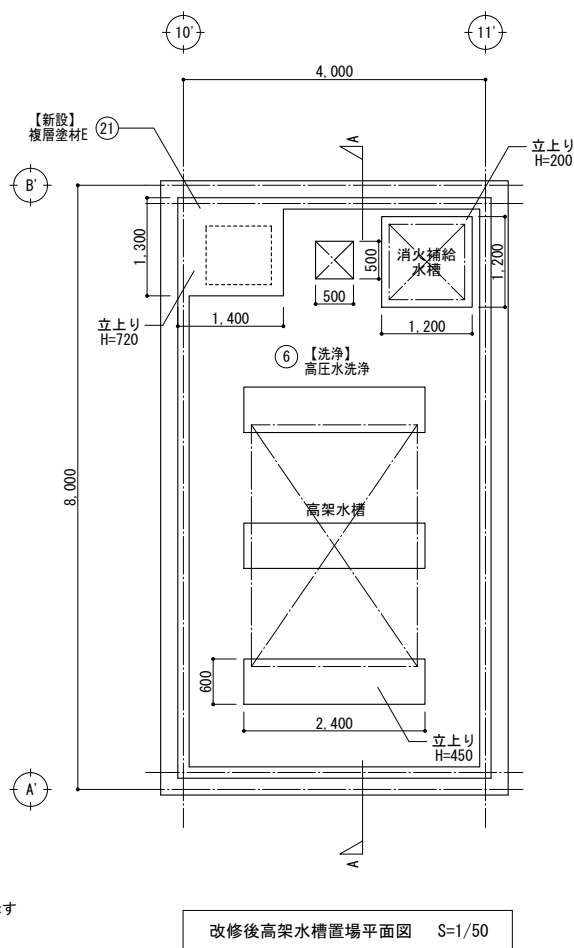
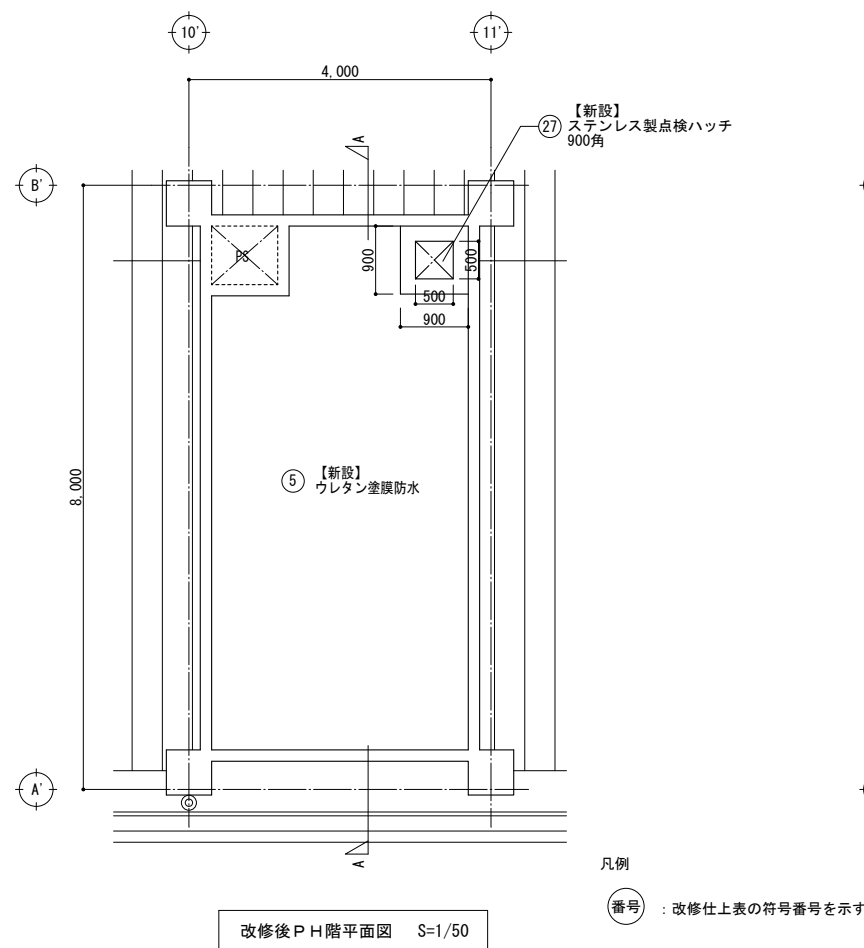
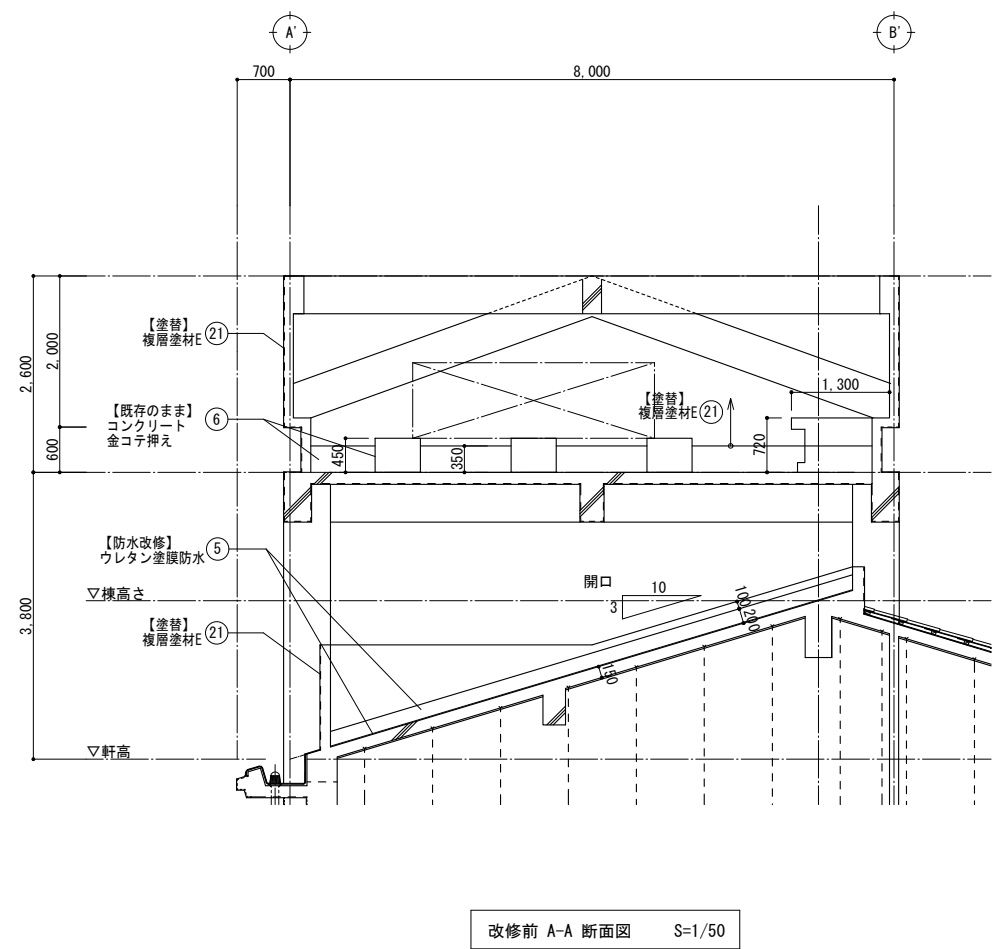
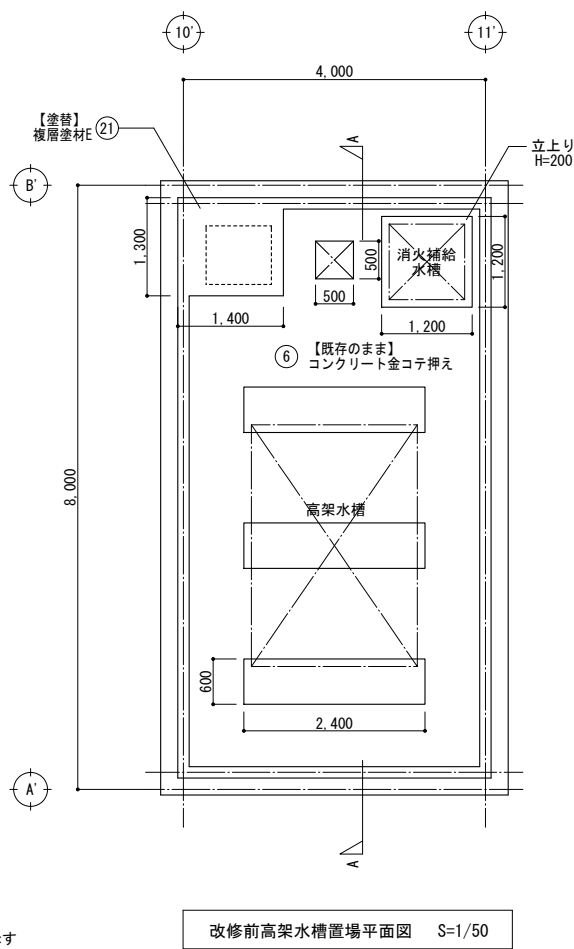
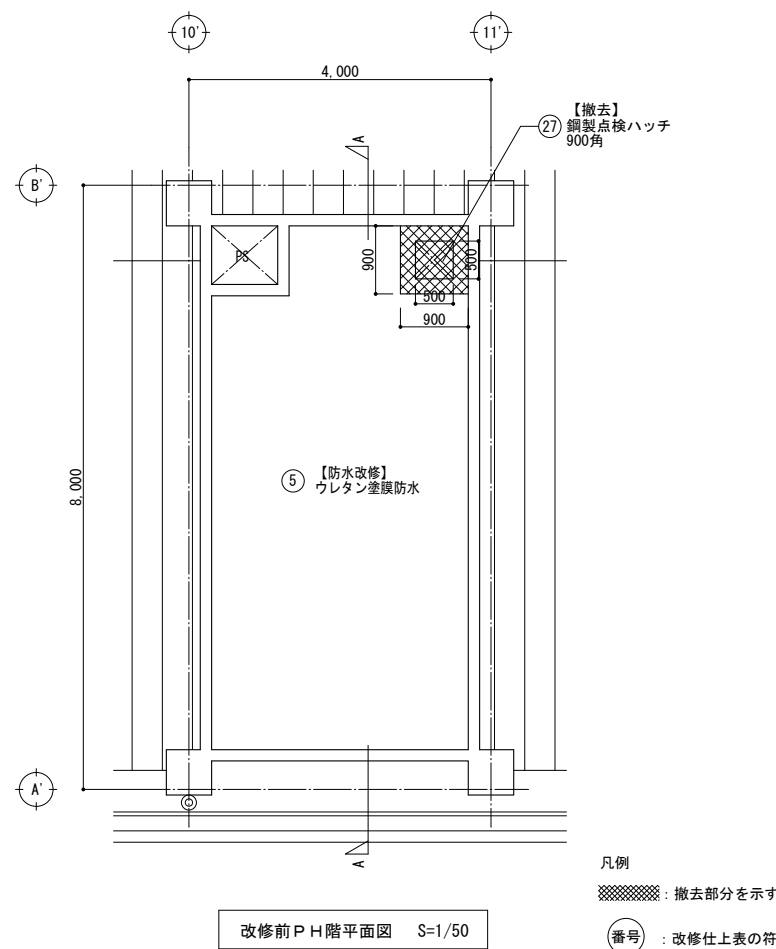
凡例
◁ : シーリング撤去位置を示す
番号 : 改修仕上表の符号番号を示す

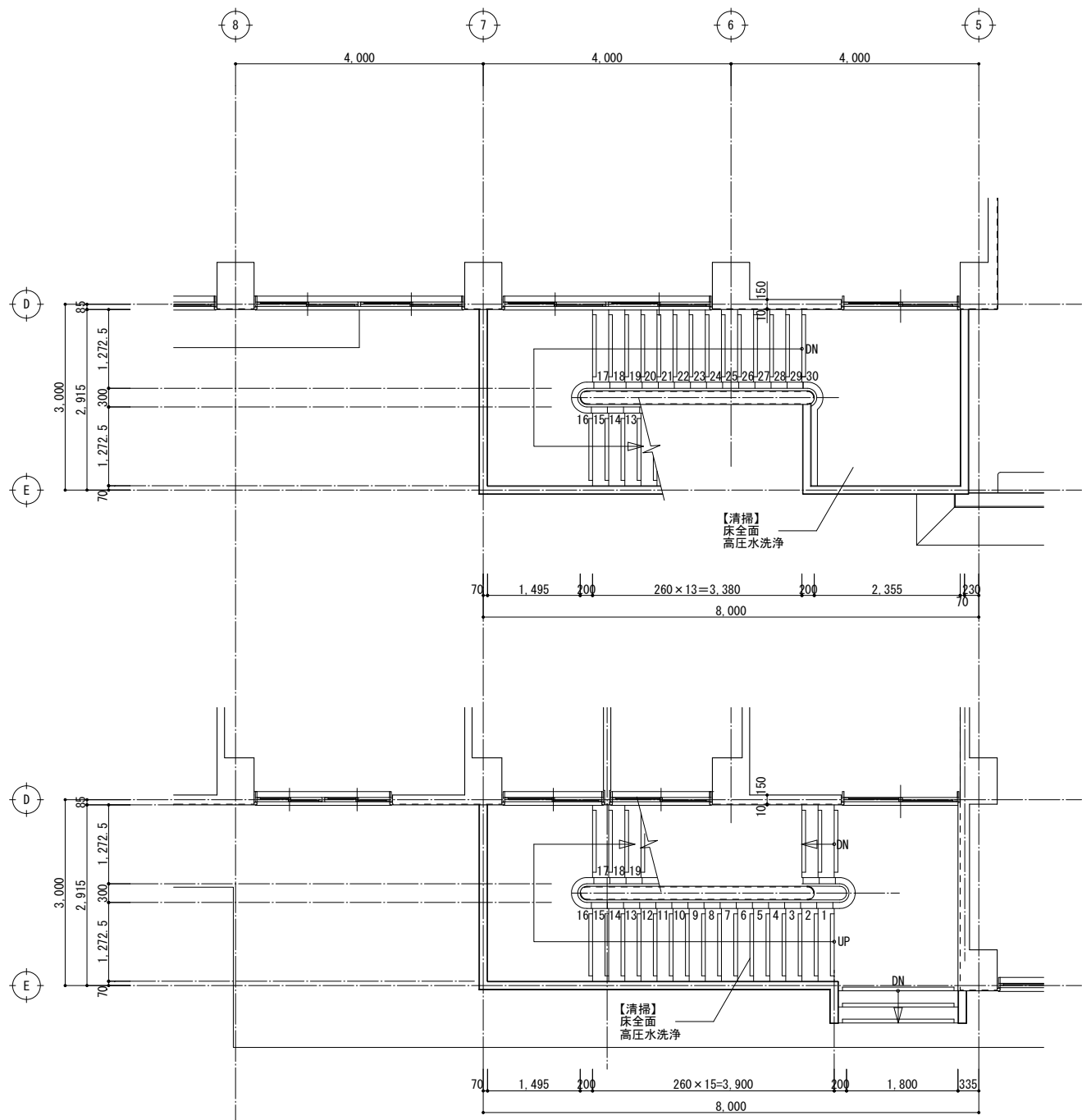
改修前矩計図 S=1/50



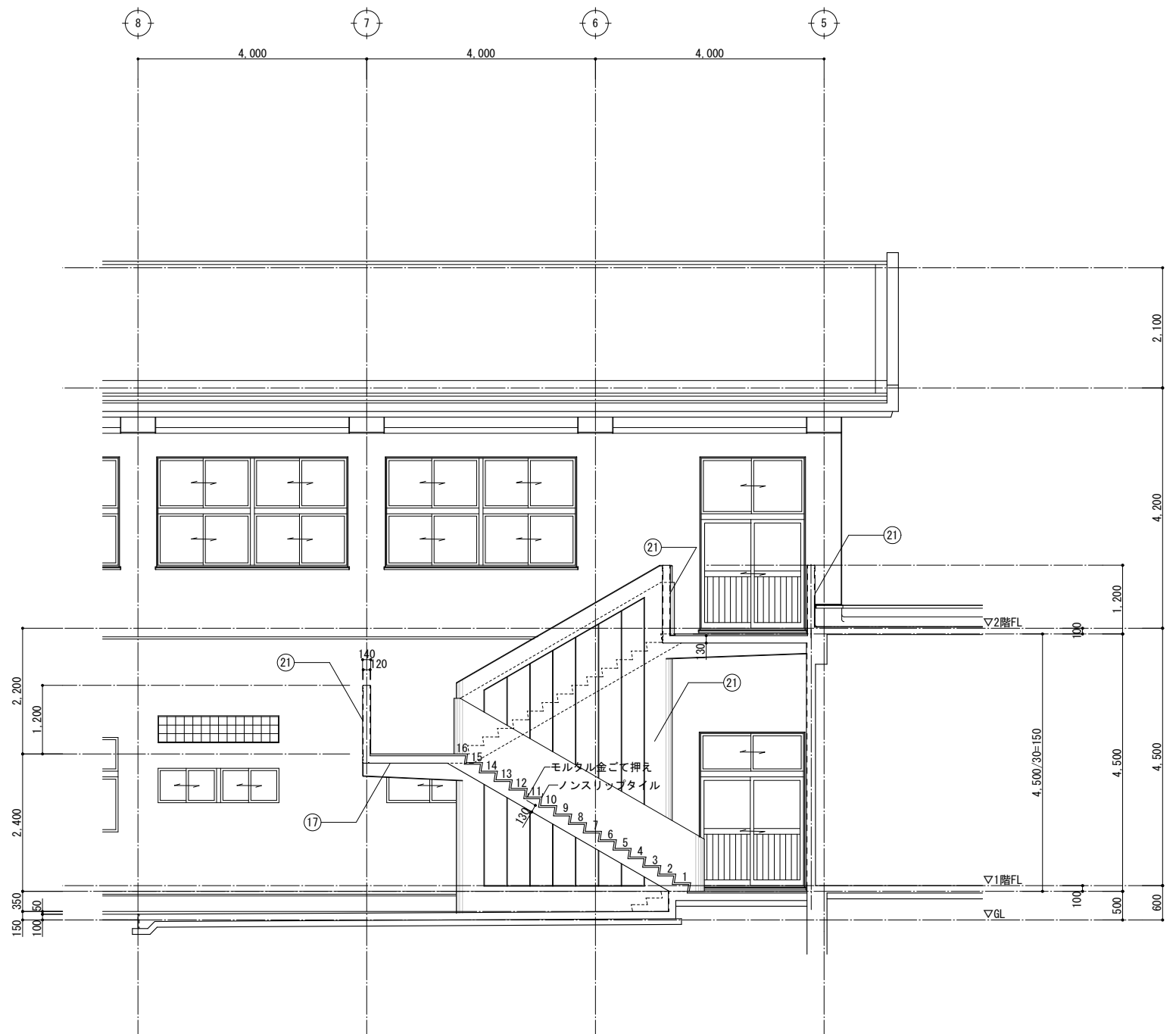
凡例
◁ : シーリング打設位置を示す
番号 : 改修仕上表の符号番号を示す

改修後矩計図 S=1/50

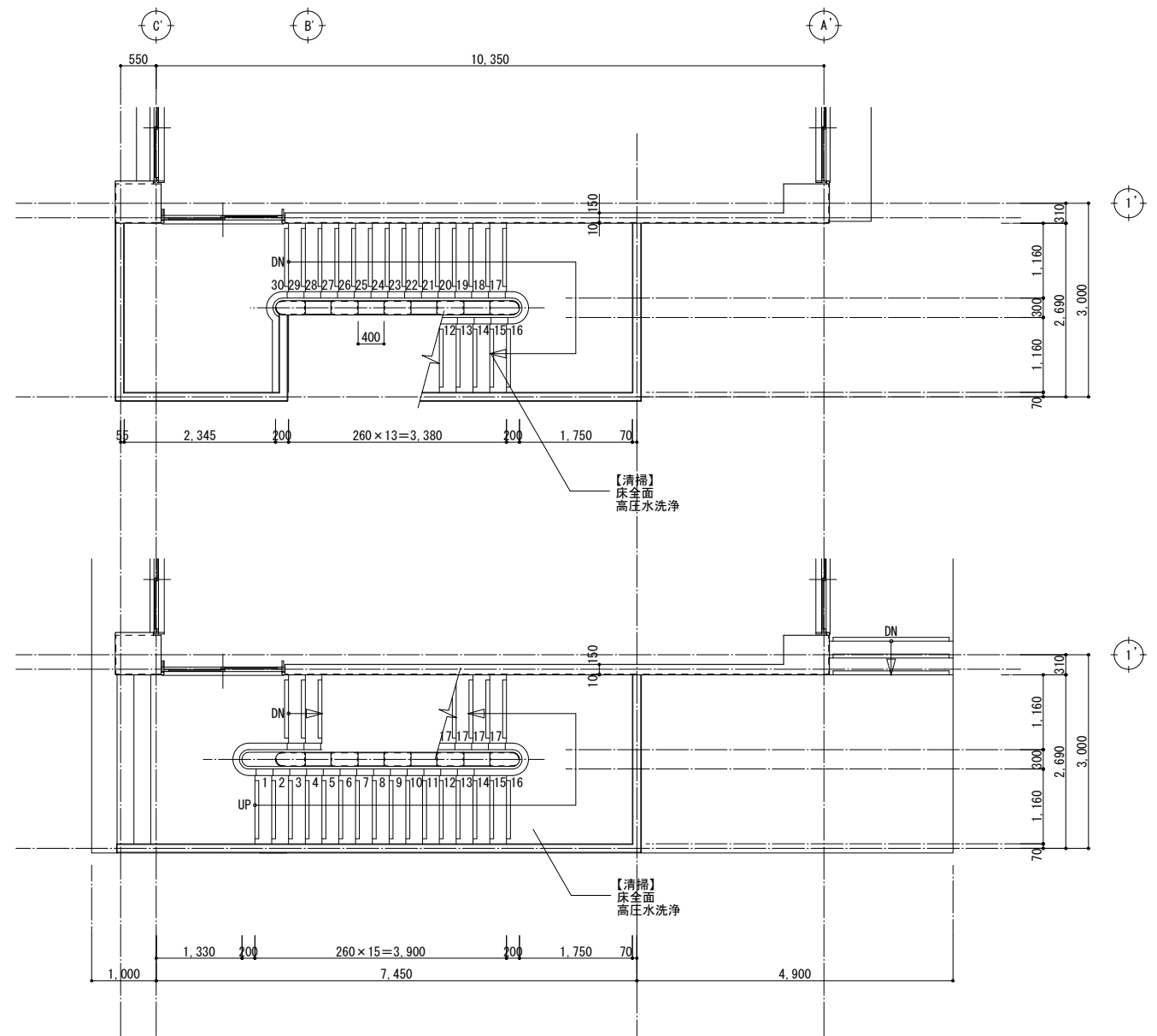
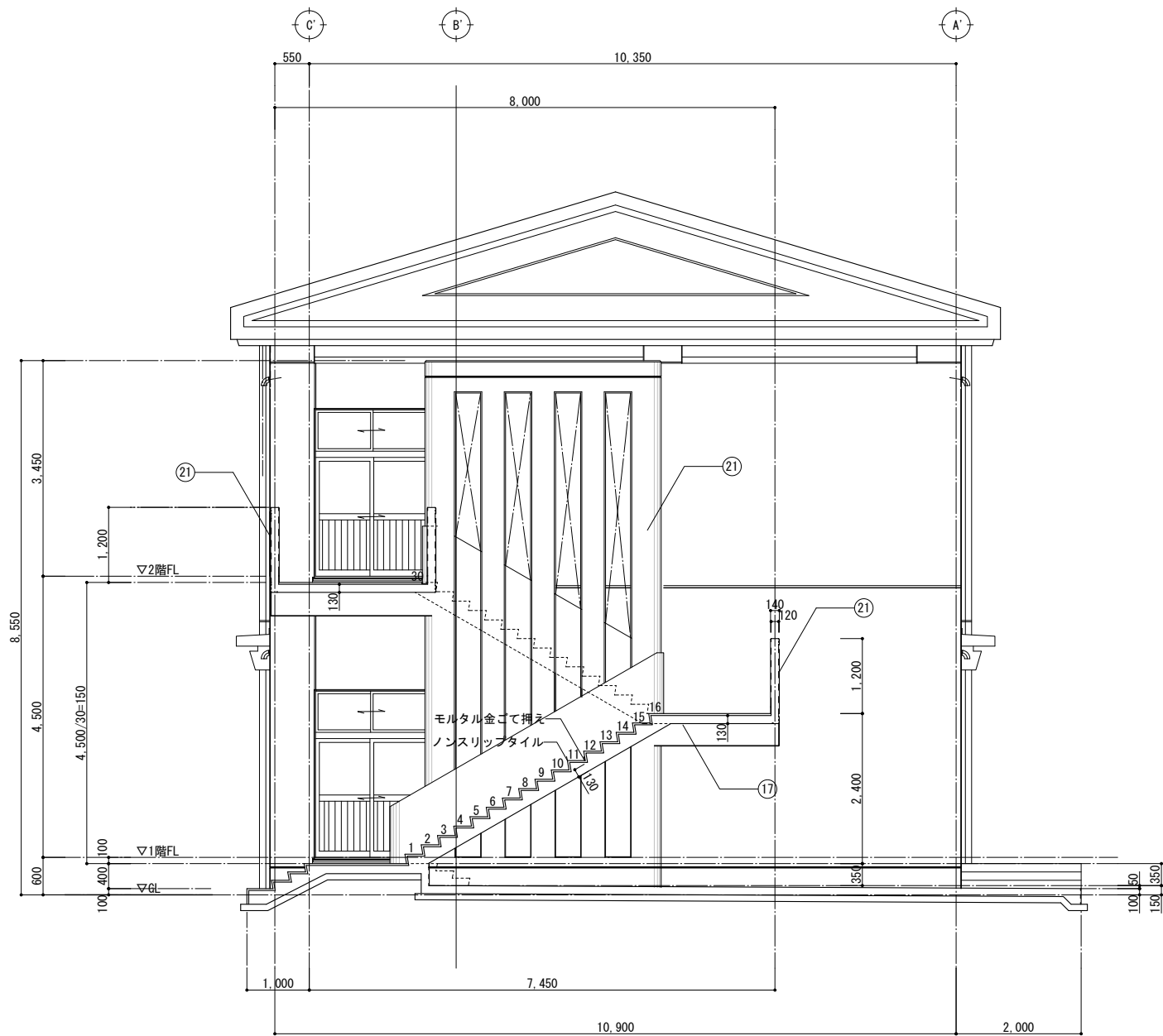




管理・教室・特別教室棟 外部階段詳細図 S=1/50

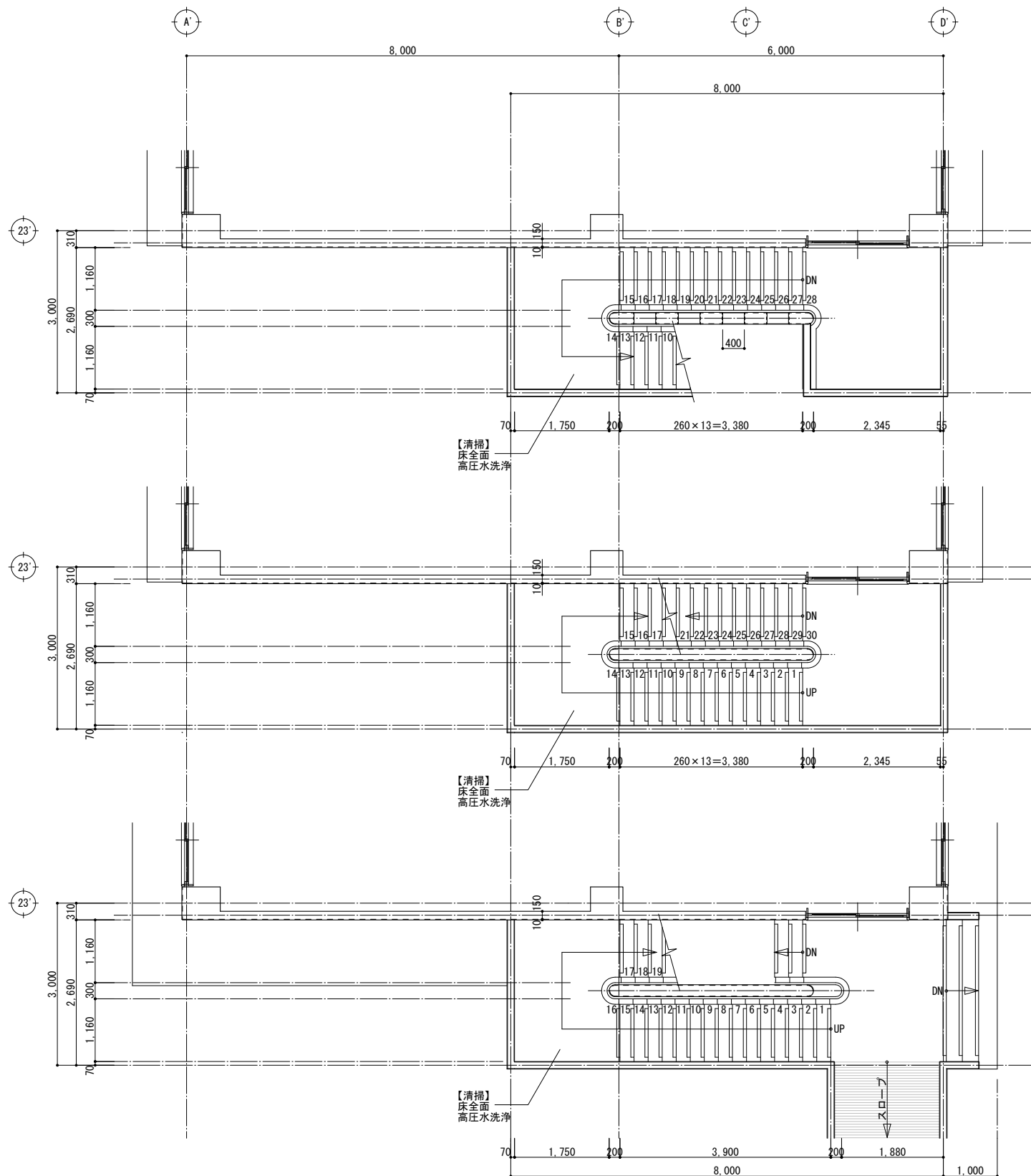


【校舎】改修仕上表				
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容	
軒裏	⑰	軒裏1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】
外壁	⑳	外壁1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前	コンクリート打放しの上、複層塗材E アスベスト含有 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【新設】

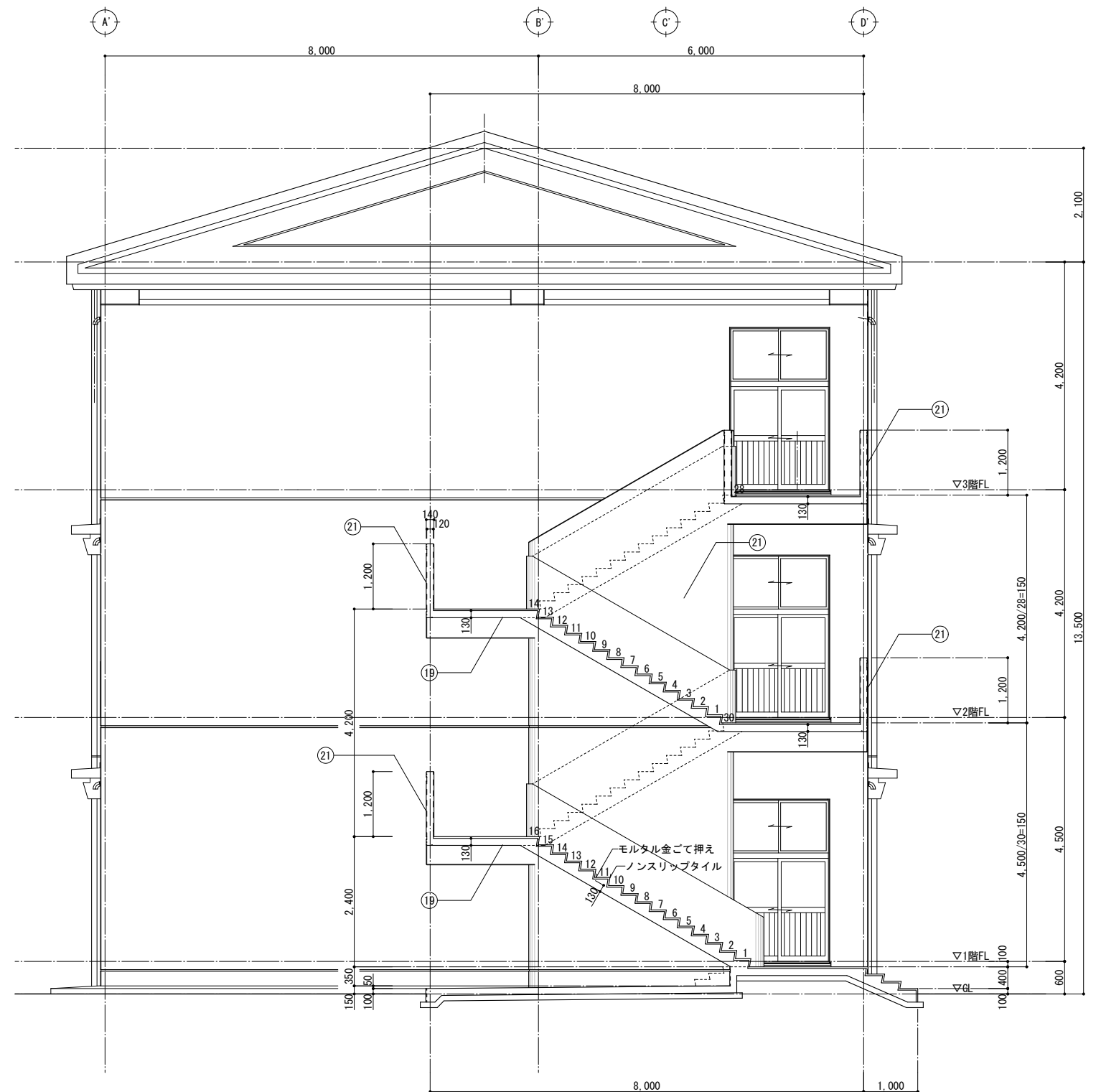


教室・特別教室棟 外部階段詳細図 S=1/50

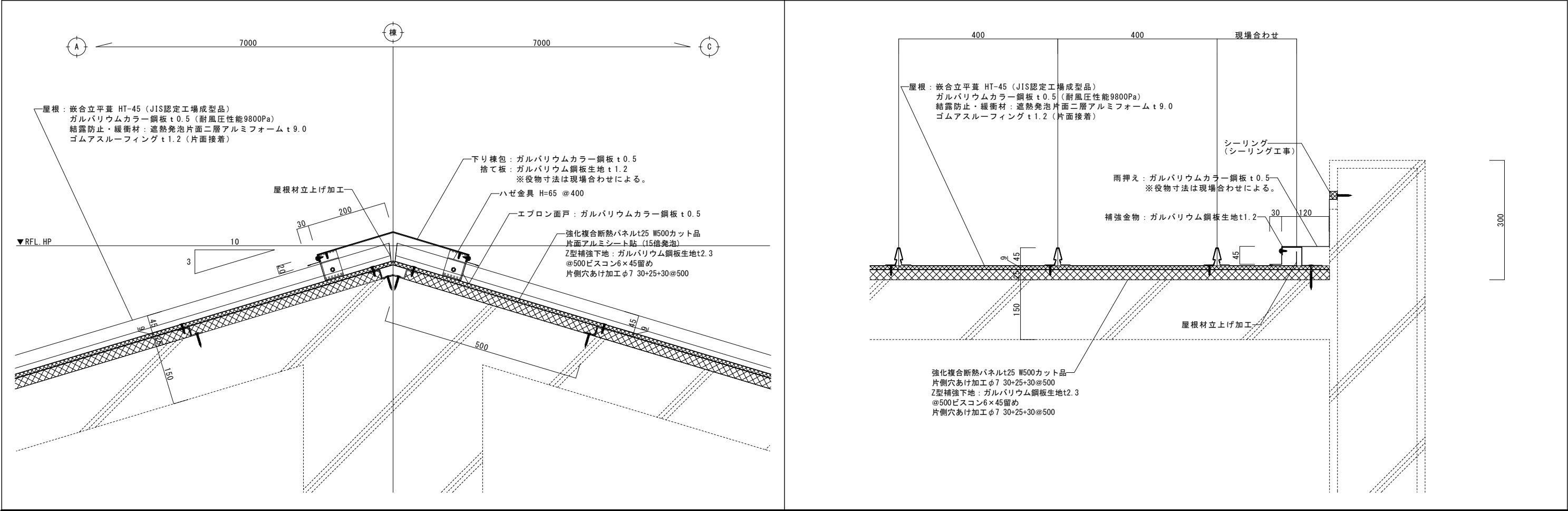
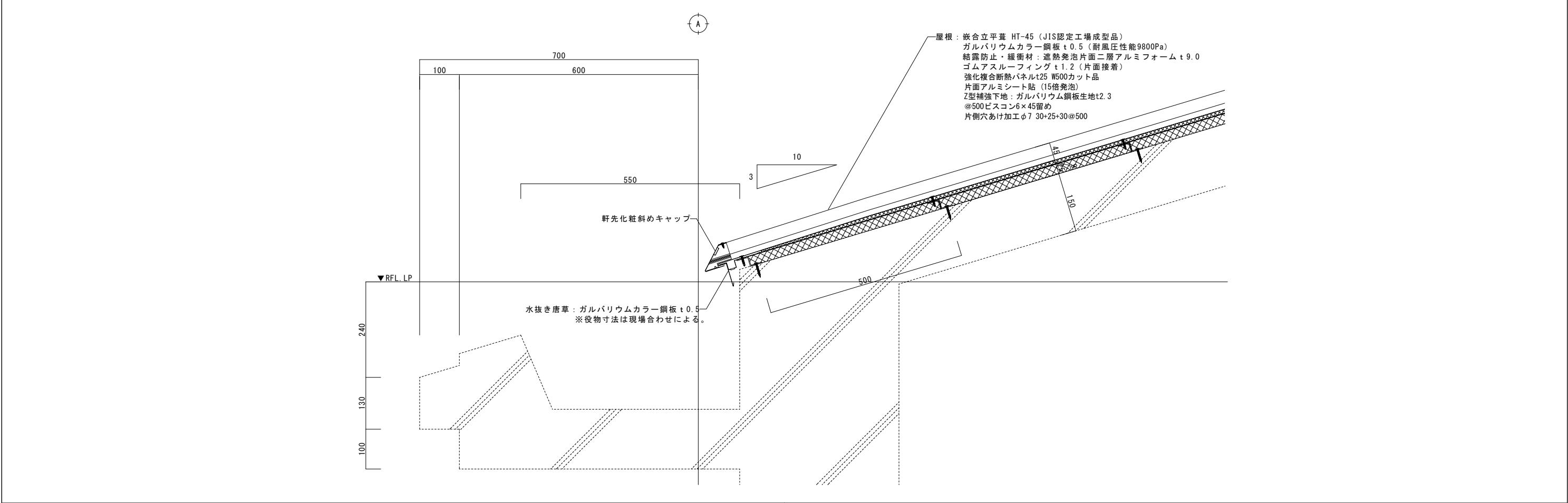
【校舎】改修仕上表				
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容	
軒裏	⑰	軒裏1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】
外壁	⑳	外壁1 (管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前	コンクリート打放しの上、複層塗材E アスベスト含有 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【新設】

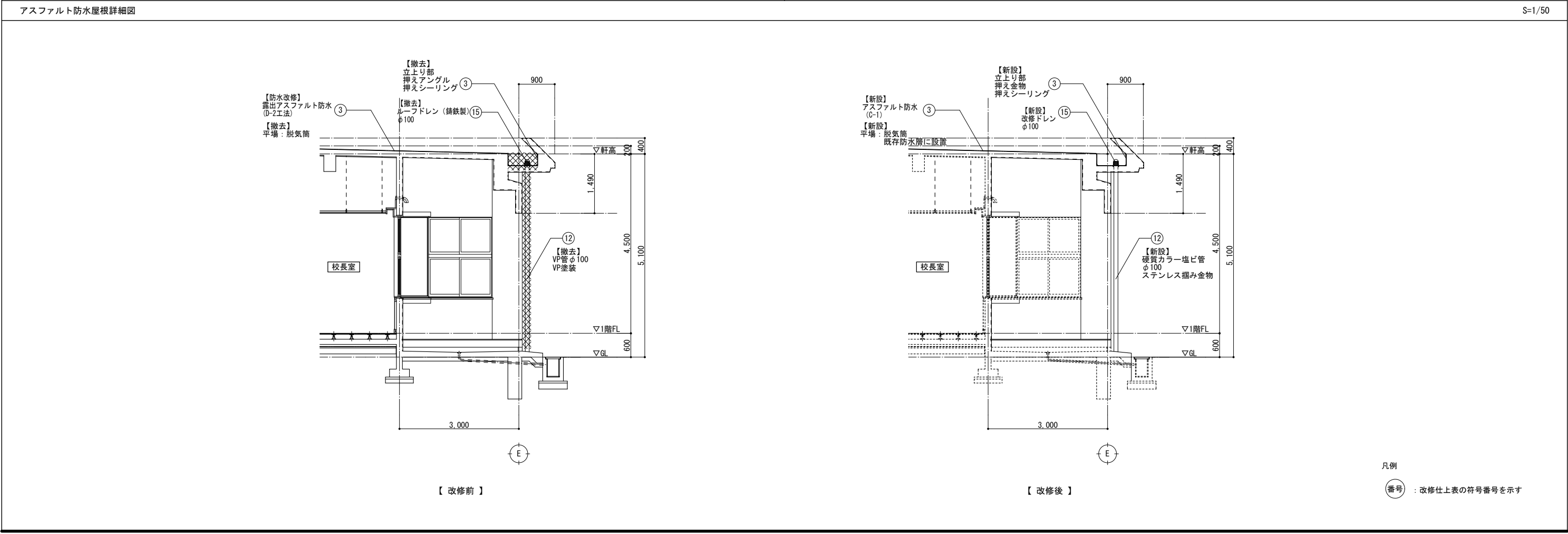
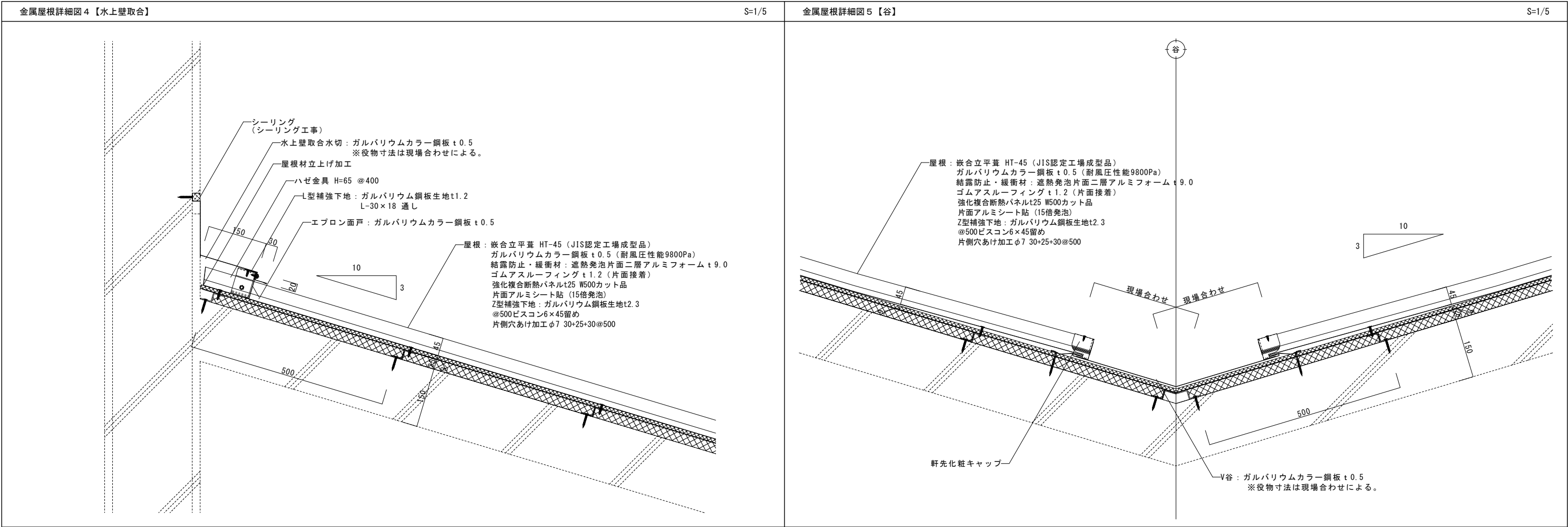


教室棟 外部階段詳細図 S=1/50



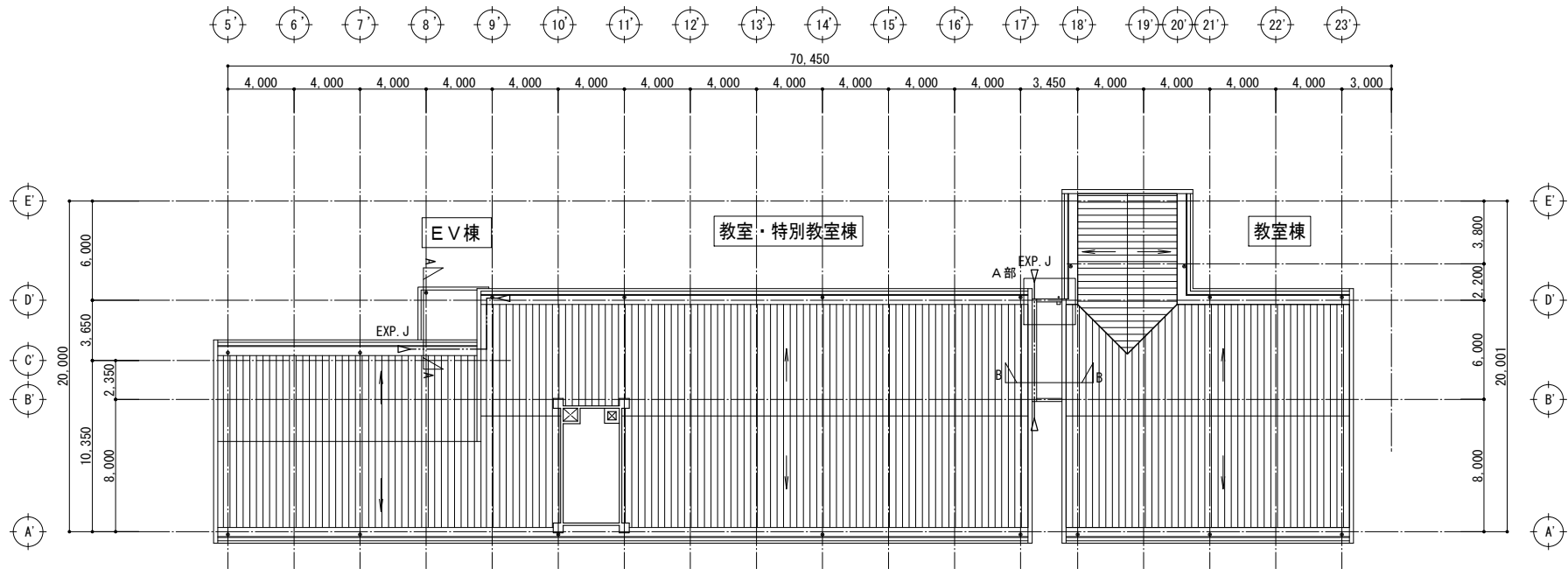
【校舎】改修仕上表				
部位	符号	改修工事項目	改修工事内容	
軒裏	⑰	軒裏3(教室棟)	改修前	コンクリート打放し 外装薄塗材E アスベスト含有 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、外装薄塗材E 【新設】
外壁	⑳	外壁1(管理・教室・特別教室棟) (教室・特別教室棟)	改修前	コンクリート打放しの上、複層塗材E アスベスト含有 【塗替】
			改修後	既存塗装面 高圧水洗浄の上、複層塗材E 【新設】



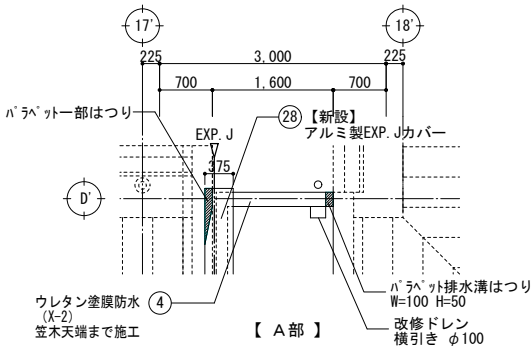


凡例

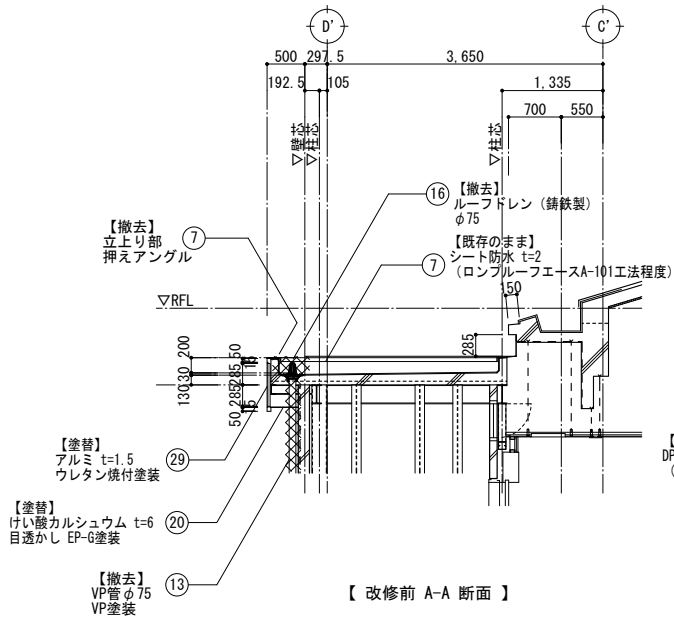
○ (番号) : 改修仕上表の符号番号を示す



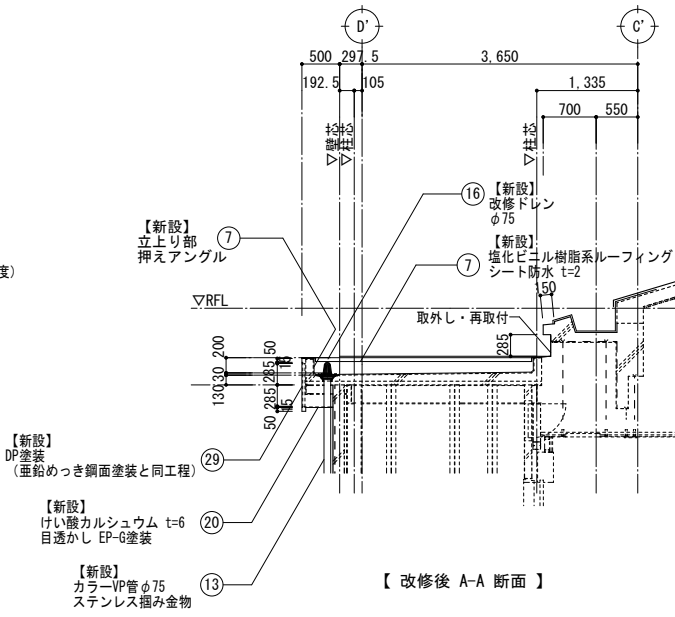
【 屋根伏図 】



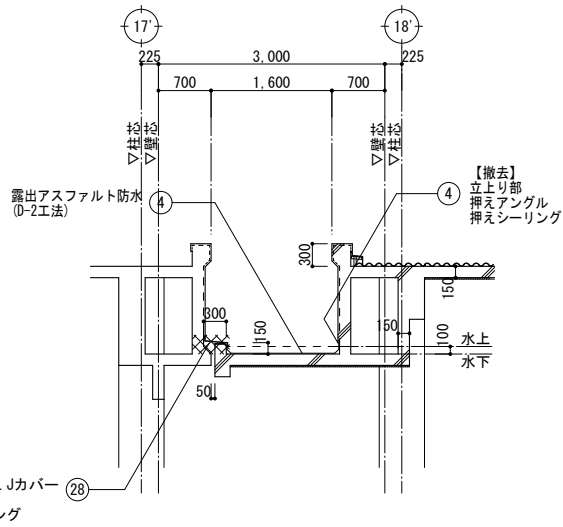
【 A 部 】



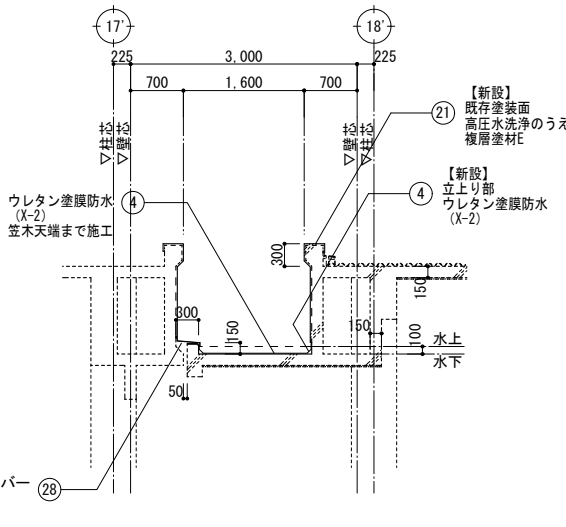
【 改修前 A-A 断面 】



【 改修後 A-A 断面 】



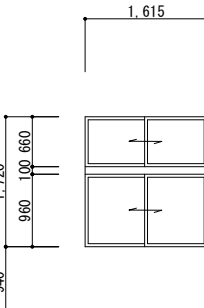
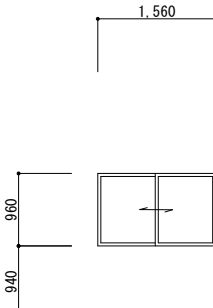
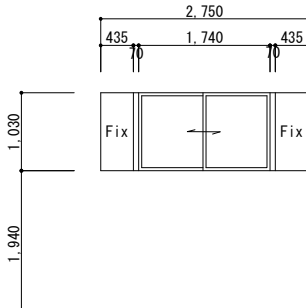
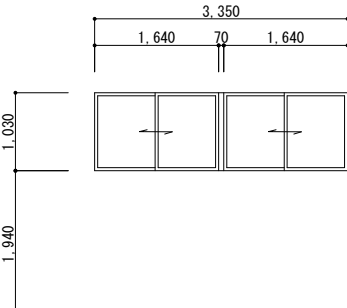
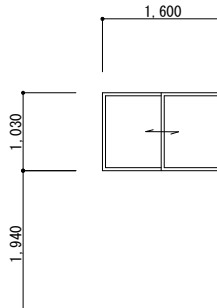
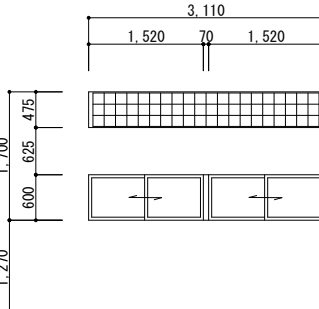
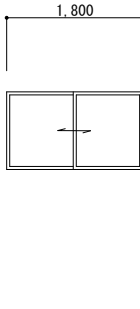
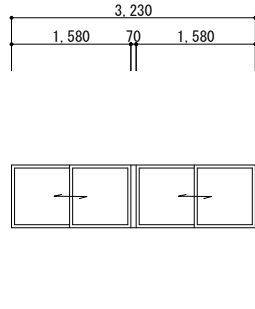
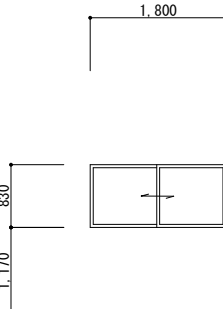
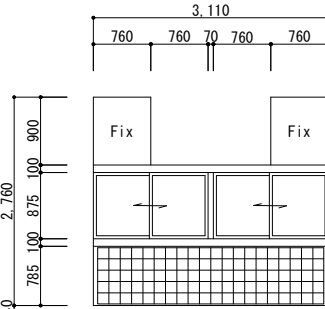
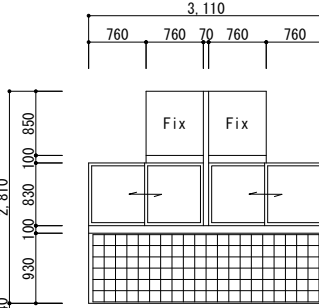
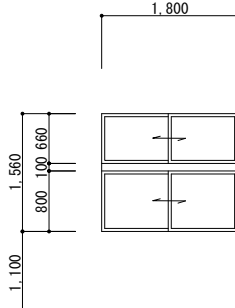
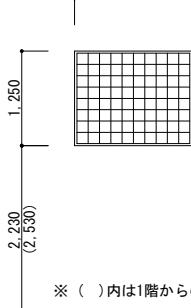
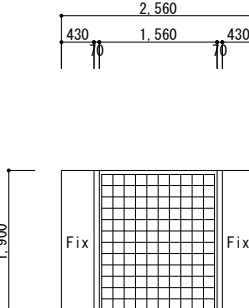
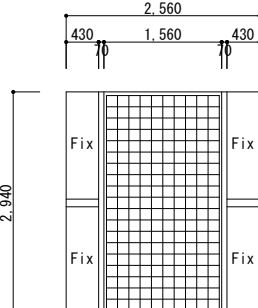
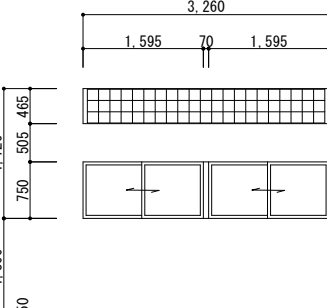
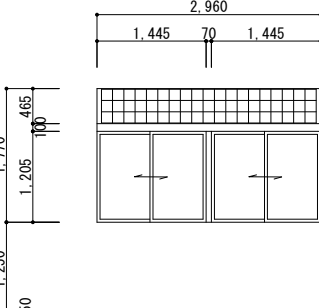
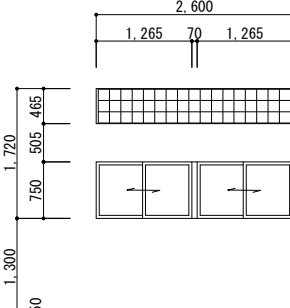
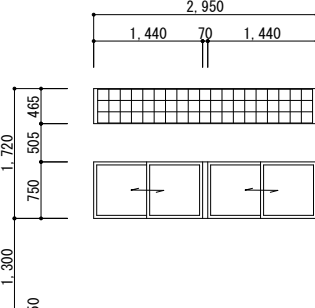
【 改修前 B-B 断面 】



【 改修後 B-B 断面 】

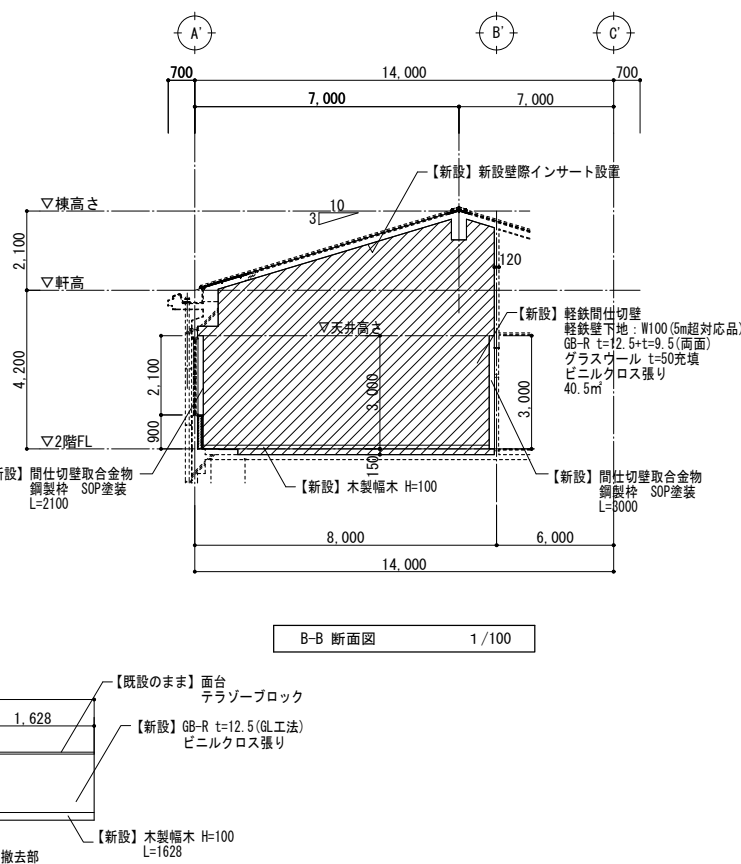
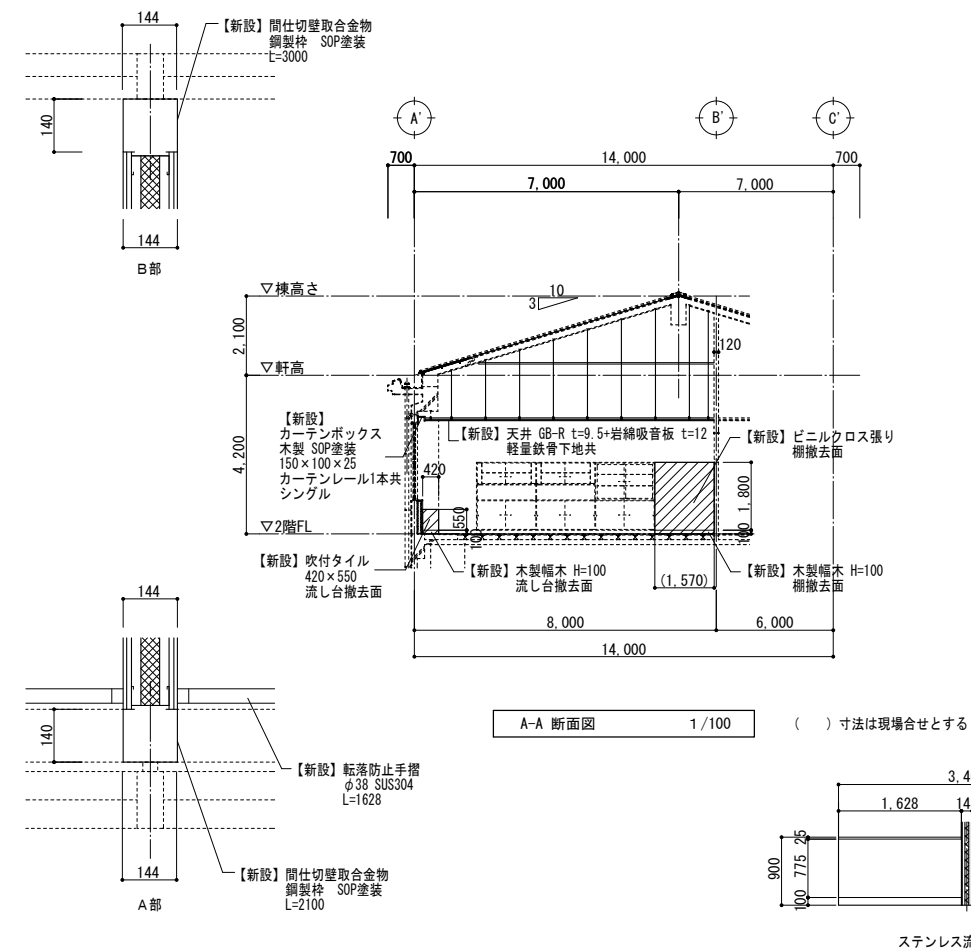
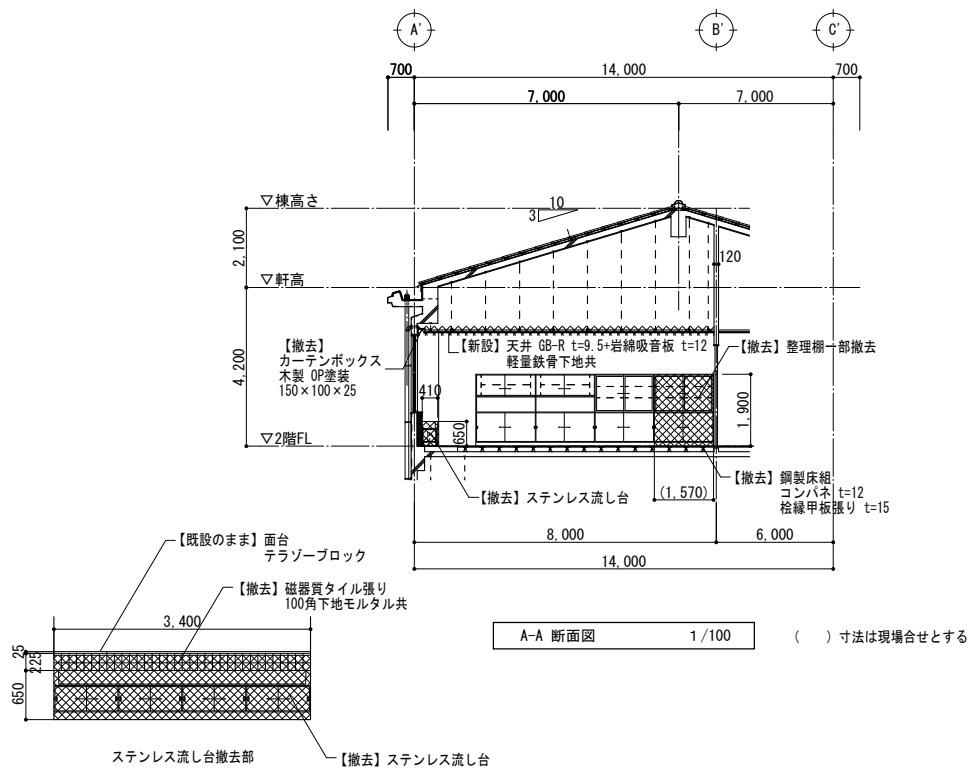
凡例
番号 : 改修仕上表の符号番号を示す

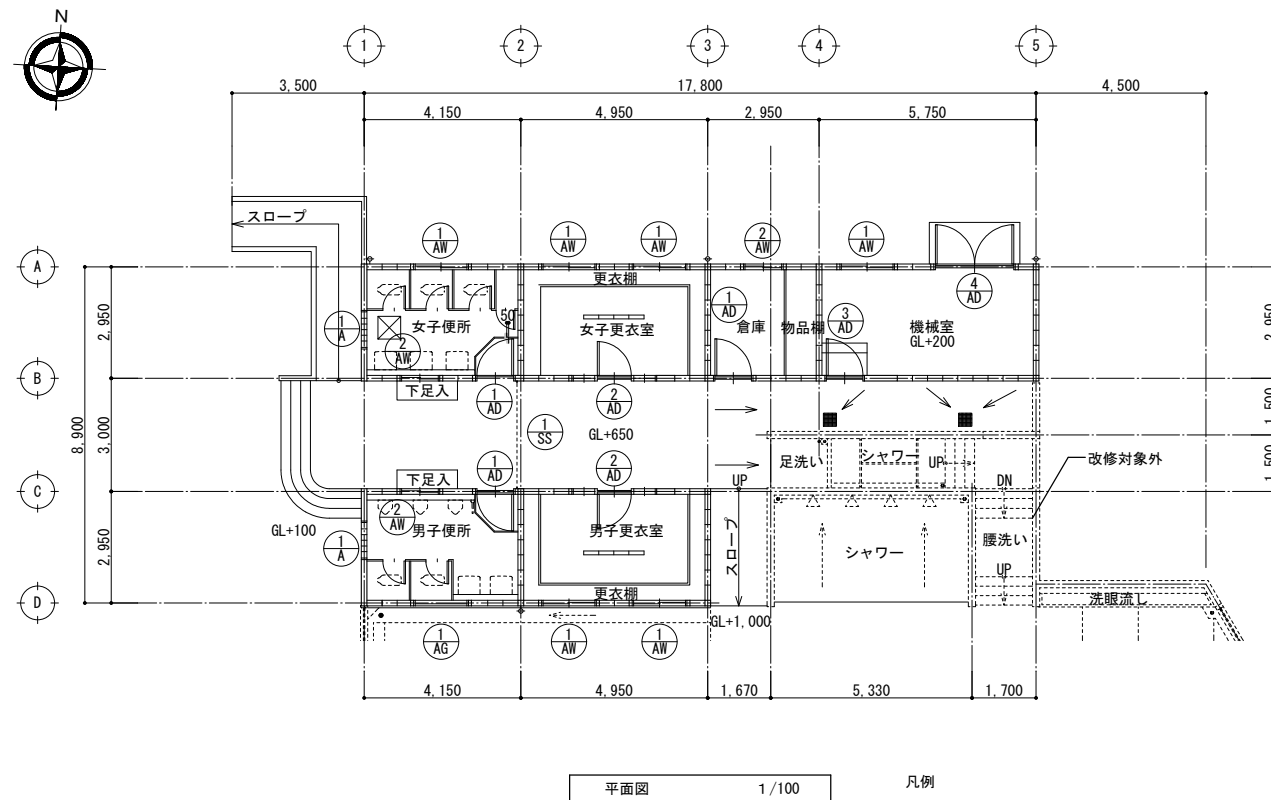
建具 符号	名 称	① AW2連 2段 引違い付 嵌殺し窓		1	② AW2連 2段 引違い窓	4	③A AW2連 2段 引違い窓	45	③B AW2連 2段 引違い窓	8											
位 置	数 量	1階 校長室			1	1階 ワークスペース		4	1・2階 職員室 事務室 保健室 特殊学級 普通教室 その他		45	3階 音楽室 普通教室		8							
形 状 ・ 寸 法																					
	▽FL																				
建具 符号	名 称	④ AW2連 2段 引違い窓			7	⑤ AW2連 2段 引違い窓			2	⑥ AW2連 引違い窓 ガラスブロック			1	⑦ AW引違い窓			1				
位 置	数 量	1階 廊下			7	1階 校長室 印刷室			2	1階 職員女子便所			1	1階 職員女子便所			1				
形 状 ・ 寸 法																					
	▽FL				▽FL				△便所FL				△便所FL								
建具 符号	名 称	⑧A AW2連 2段 引違い窓			2	⑧B AW2連 2段 引違い窓			9	⑧C AW2連 2段 引違い窓			2	⑩ AW引違い窓 嵌殺窓 ガラスブロック			4	⑪A AW2連 2段 引違い窓			9
位 置	数 量	1階 休憩室 面談室			2	2階 ワークスペース			9	3階 ワークスペース			2	2階 放送調整室 こすもす2			4	2・3階 廊下			9
形 状 ・ 寸 法																					
	▽FL				▽FL				▽RFL				▽FL								
建具 符号	名 称	⑫B AW2連 2段 引違い窓			1	⑫ AW2連 2段 引違い窓			6	⑬A AW2連 2段 引違い窓			6				⑬B AW2連 2段 引違い窓			3	
位 置	数 量	3階 廊下			1	1階 ワークスペース			6	2階 ワークスペース			6				3階 ワークスペース			3	
形 状 ・ 寸 法																					
	▽FL				▽FL				▽FL				▽FL								

建具 符号	名 称	14 AW	2段 引違い窓		15 AW	引違い窓		16 AW	両袖Fix付 引違い窓		17 AW	2連 引違い窓		18 AW	引違い窓	
位 置	数 量	1階 相談室		1	1階 ポンプ室		1	2階 書庫		1	2階 図書室		1	2階 図書室		1
形 状 ・ 寸 法																
建具 符号	名 称	19 AW	2連 引違い窓 ガラスブロック		20 AW	引違い窓		21 AW	2連 引違い窓		22 AW	引違い窓		23 AW	2連 2段 引違い窓 嵌殺しランマ付 ガラスブロック	
位 置	数 量	2階 図書室		2	2階 図書室		1	2階 廊下		1	2階 廊下		1	1階 廊下		3
形 状 ・ 寸 法																
建具 符号	名 称	24 AW	2連 2段 引違い窓 嵌殺しランマ付 ガラスブロック		25 AW	2段 引違い窓		26 AW	ガラスブロック		27 AW	嵌殺し窓 ガラスブロック		28 AW	嵌殺し窓 ガラスブロック	
位 置	数 量	2階 廊下		3	3階 廊下		1	階段室		2	階段室		1	階段室		1
形 状 ・ 寸 法																
	※（ ）内は1階からの寸法を示す。															
建具 符号	名 称	29 AW	2連 引違い窓 ガラスブロック		29b AW	2連 引違い窓 ガラスブロック		30 AW	2連 引違い窓 ガラスブロック		31 AW	2連 引違い窓 ガラスブロック				
位 置	数 量	1・2階 便所		6	3階 便所		3	1・2階 男子便所		2	1・2階 女子便所		2			
形 状 ・ 寸 法																
	△便所FL															

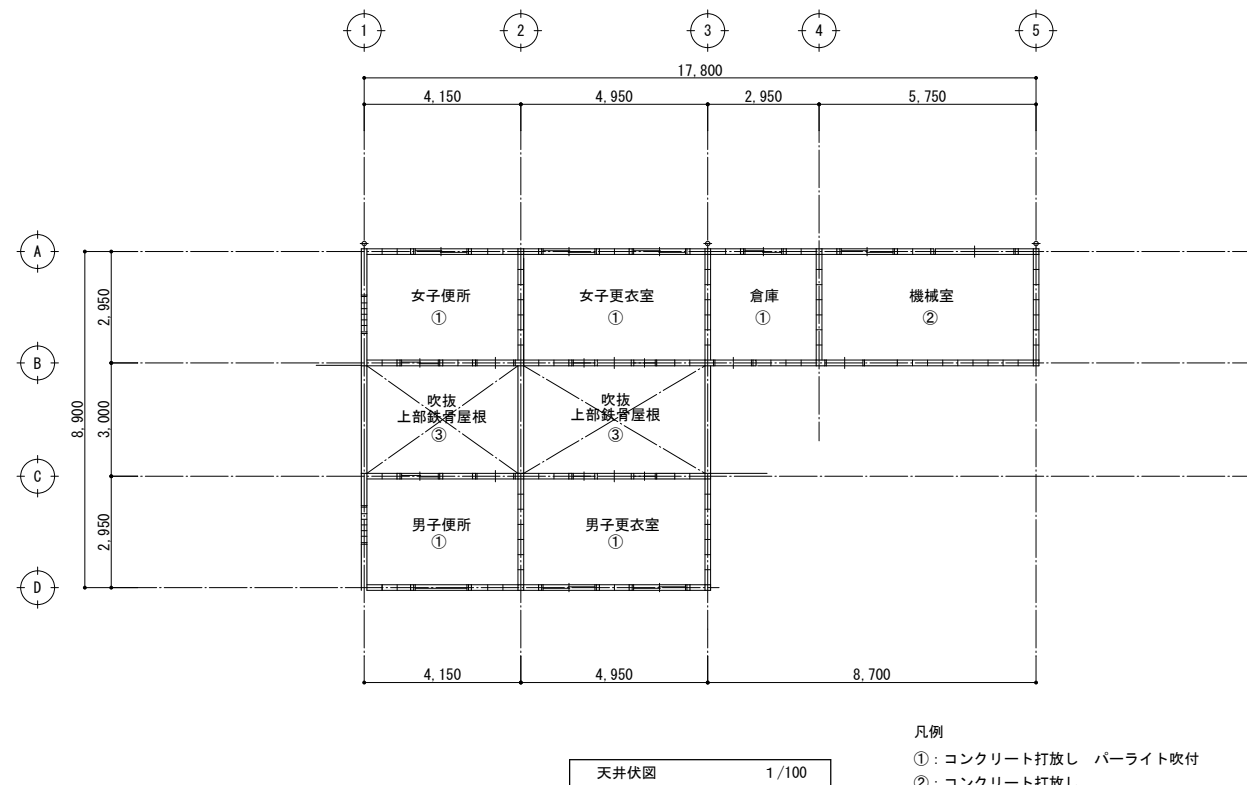
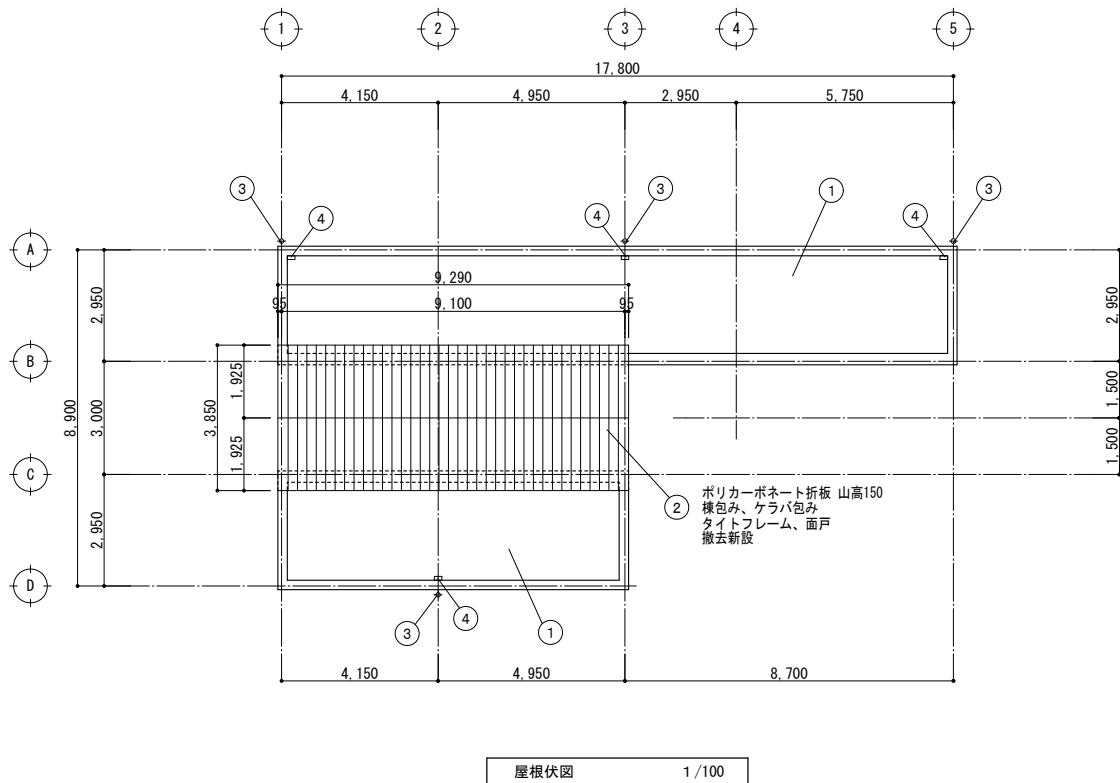
建具 符号	名 称	③② AW			ガラスブロック			位置	数 量	1階 倉庫			1	③③ AW			引違い窓			位置	数 量	3階 音楽室 資料室			2	③⑤ AW			2連 引違い窓			位置	数 量	3階 音楽準備室			1																								
形 状 ・ 寸 法																																																													
建具 符号	名 称	① AD			両開きドア			位置	数 量	1階 生徒昇降口			1	② AD			両開きドア 嵌殺し窓			位置	数 量	1階 職員用玄関			1	③ AD			引違いドア 袖引違い窓			位置	数 量	1階 保健室			1																								
形 状 ・ 寸 法																																																													
建具 符号	名 称	④ AD			引違いドア 袖引違い窓			位置	数 量	1階 家庭科室 理科室			2	⑤ AD			引違い戸 袖引違い窓			位置	数 量	1階 廊下			1	⑥ AD			引違い窓 片引きハンガードア			位置	数 量	2階 外部階段出入口			1	⑦ AD			ランマ付 引違いドア(ランマ部分 引違い窓)			位置	数 量	1階 屋外ステージ 中庭 出入口			3												
形 状 ・ 寸 法																																																													
建具 符号	名 称	⑨ AD			ランマ付 引違いドア(ランマ部分 引違い窓)			位置	数 量	1・2階 外部階段出入口			3	⑩ AD			片開きドア			位置	数 量	1階 倉庫			2	⑯ AW			ガラスブロック			位置	数 量	2階 吹抜け			1	① TP			トップライト			位置	数 量	1階 屋上															
形 状 ・ 寸 法																																																													

建具 符号	名 称	1a AW			2連 2段 引違い窓			2a AW	2連 2段 引違い窓			2b AW	2連 2段 引違い窓			3a AW	2連 2段 引違い窓			3b AW	2連 2段 引違い窓		
位 置	数 量	1・2・3階 普通教室			12	1階 ワークスペース			1	1階 ワークスペース			1	2・3階 ワークスペース			2	2・3階 ワークスペース			2		
形 状 ・ 寸 法																							
建具 符号	名 称	4a AW			2段 引違い窓			4b AW	2段 引違い窓			5a AW	2段 引違い窓			6a AW	2段 引違い窓			6b AW	2段 引違い窓		
位 置	数 量	1階 ワークスペース			1	1階 ワークスペース			1	2・3階 ワークスペース			2	1・2・3階 手洗い			6	1・2・3階 便所			6		
形 状 ・ 寸 法																							
形 状 ・ 寸 法																							
形 状 ・ 寸 法																							
建具 符号	名 称	7a AW			2段 引違い窓			13a AG	ガラスブロック アルミ枠														
位 置	数 量	1・2・3階 倉庫			5	1・2・3階 男女便所			6														
形 状 ・ 寸 法																							
形 状 ・ 寸 法																							
建具 符号	名 称	12 AD			ランマ付 引違いドア(ランマ部分 引違い窓)																		
位 置	数 量	外部階段出入口			3																		
形 状 ・ 寸 法																							

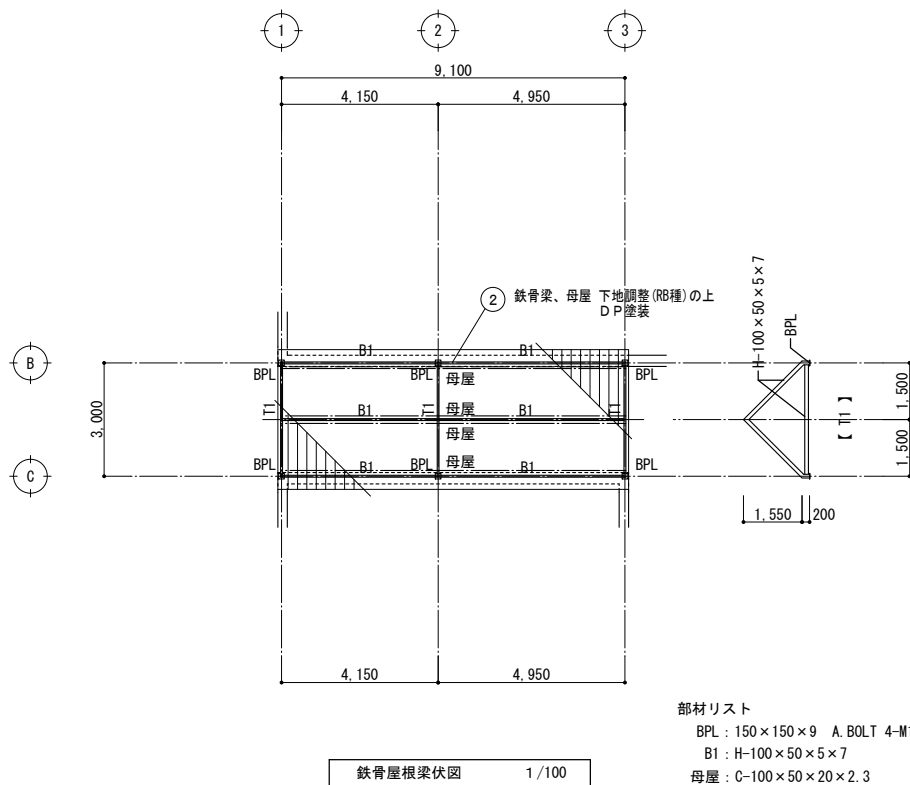




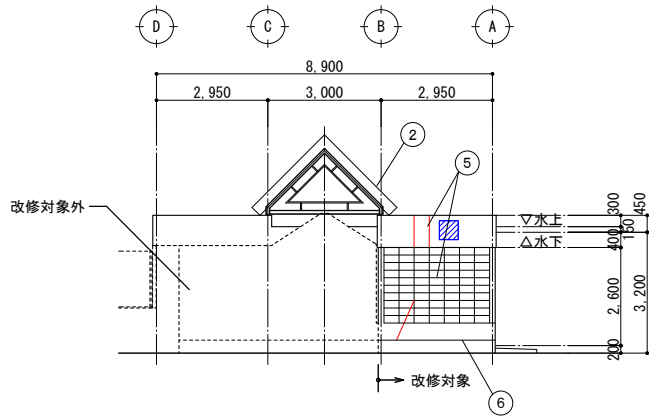
- 凡例
- (番号) : 改修仕上表の符号番号を示す
- (1 AW) : 改修建具符号を示す (7)



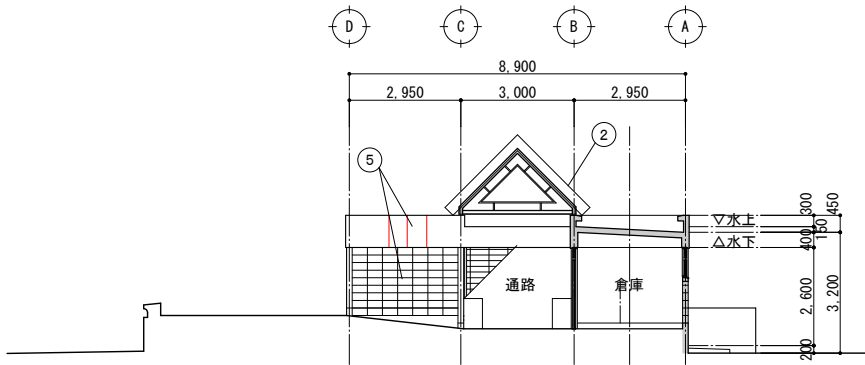
- 凡例
- ① : コンクリート打放し パーライト吹付
- ② : コンクリート打放し
- ③ : 鉄骨梁、ポリカーボネート折板 山高150 現し



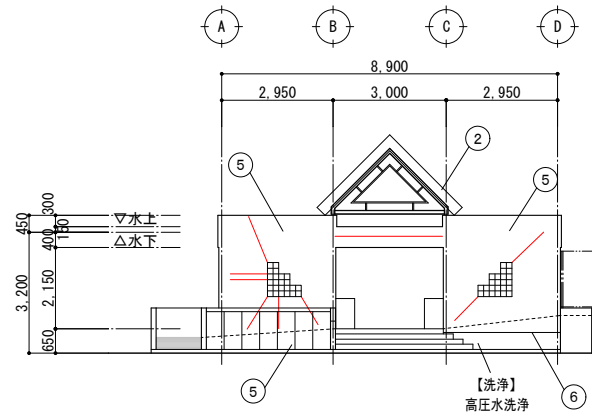
- 部材リスト
- BPL : 150×150×9 A. BOLT 4-M16
- B1 : H-100×50×5×7
- 母屋 : C-100×50×20×2.3



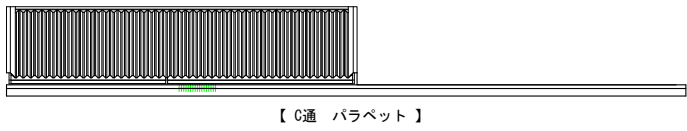
東側立面図 1/100



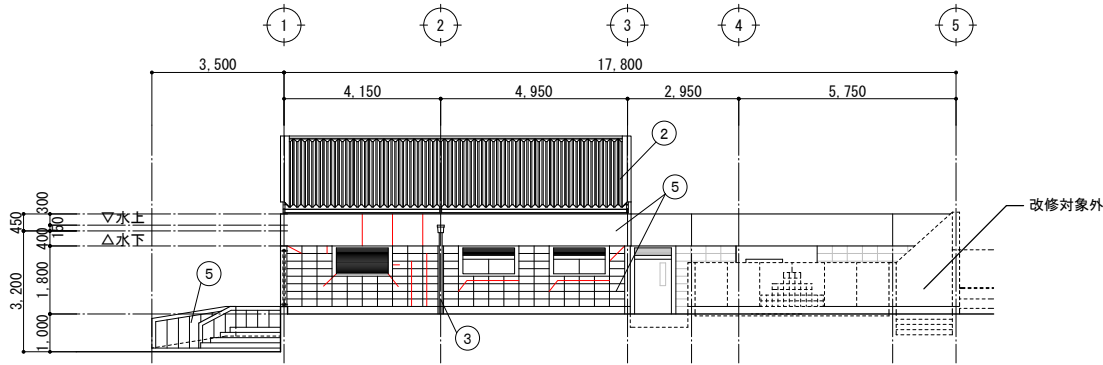
東側（通路側）立面図 1/100



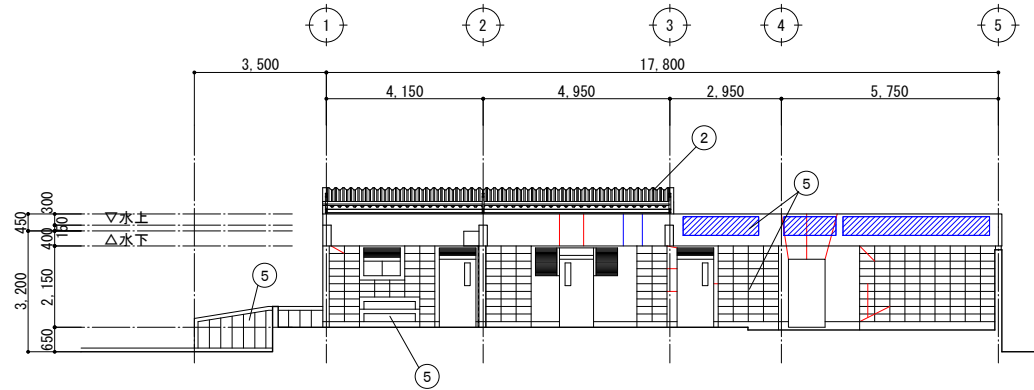
西側立面図 1/100



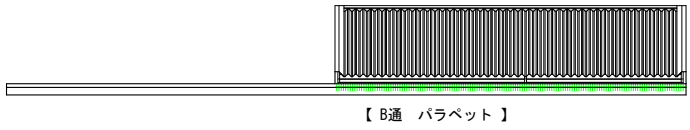
【C通 バラベット】



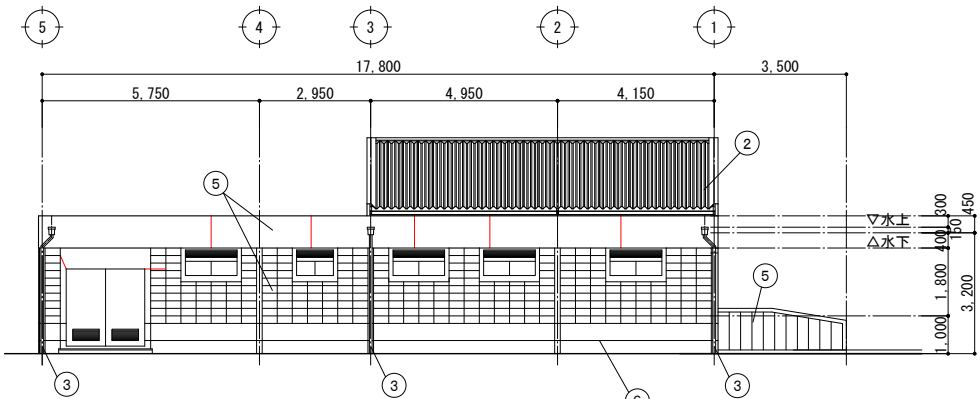
南側立面図（プール側） 1/100



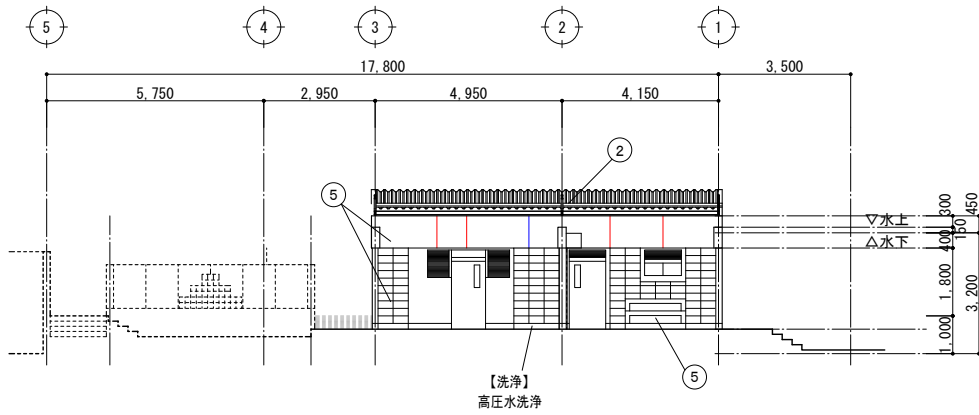
南側立面図（通路側） 1/100



【B通 バラベット】



北側立面図 1/100



北側立面図（通路側） 1/100

備考
打継目地（水平）、建具廻りシーリング、建具と水切り間シーリングは
改修対象棟の全ての部分を改修とする。

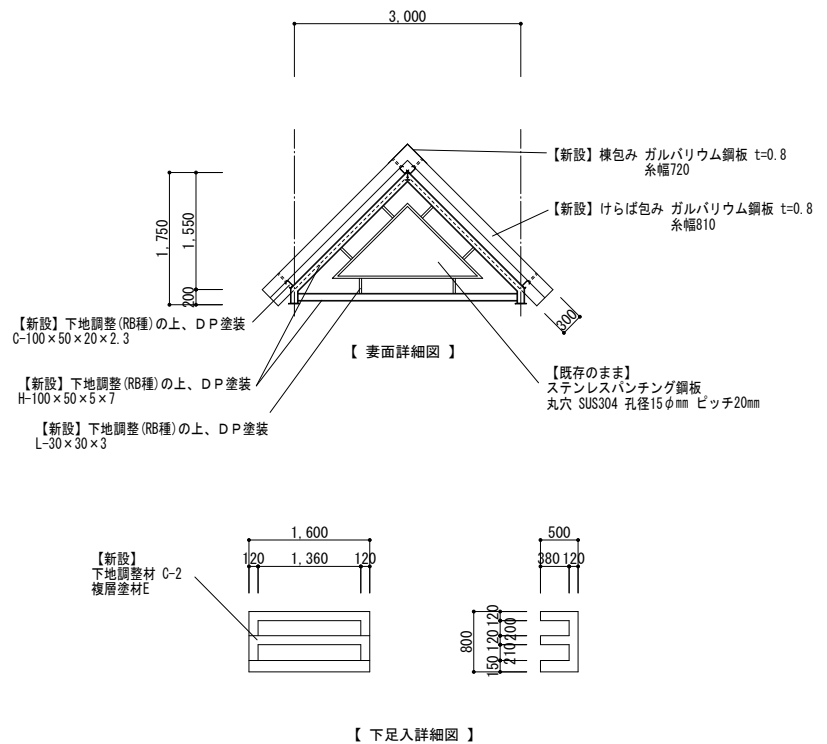
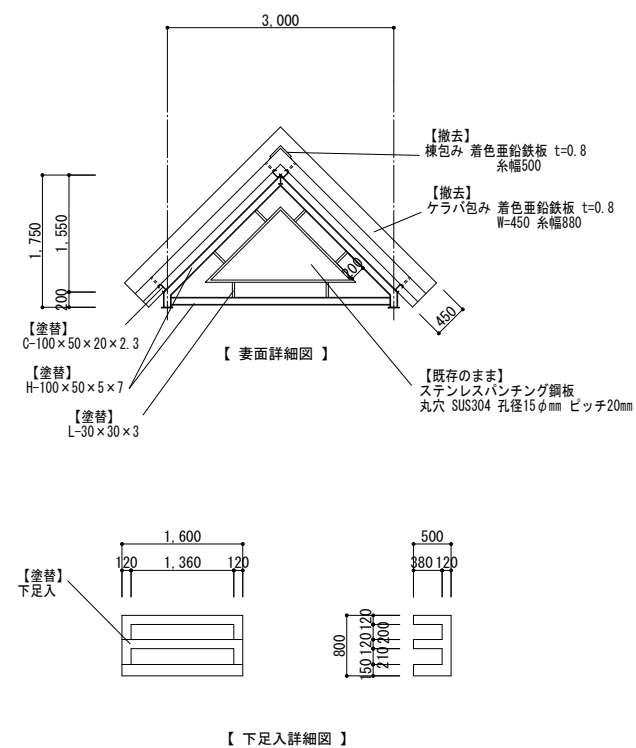
（番号）は改修仕上表の内外部改修仕上表の符号番号を示す。

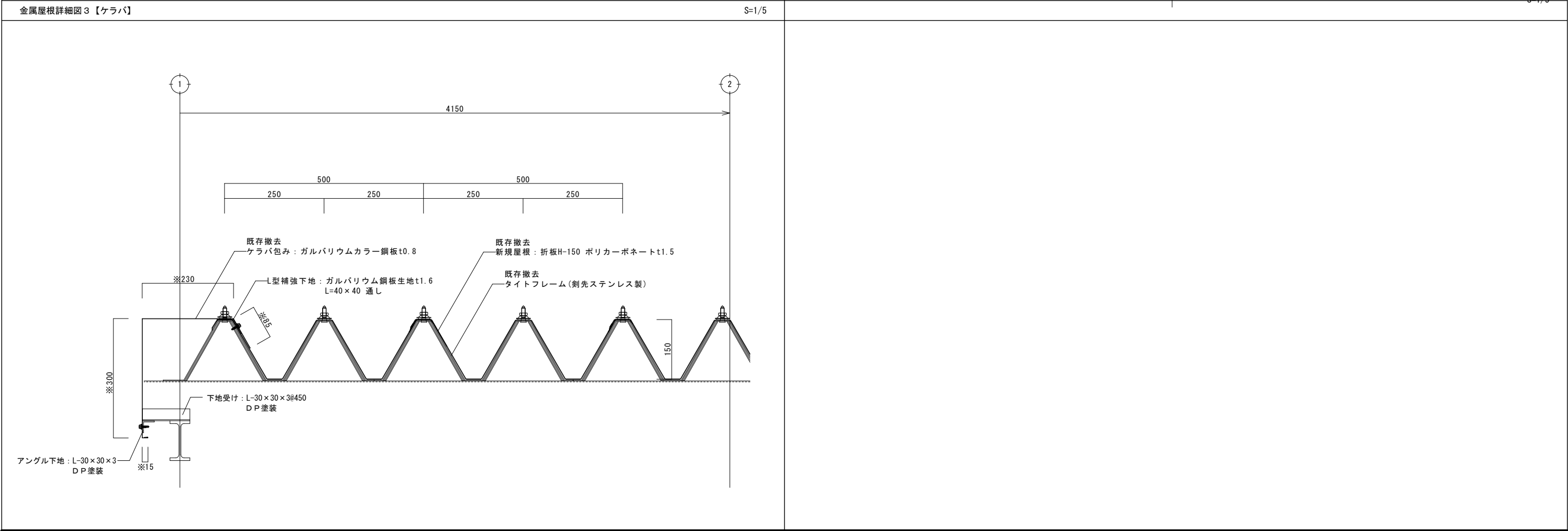
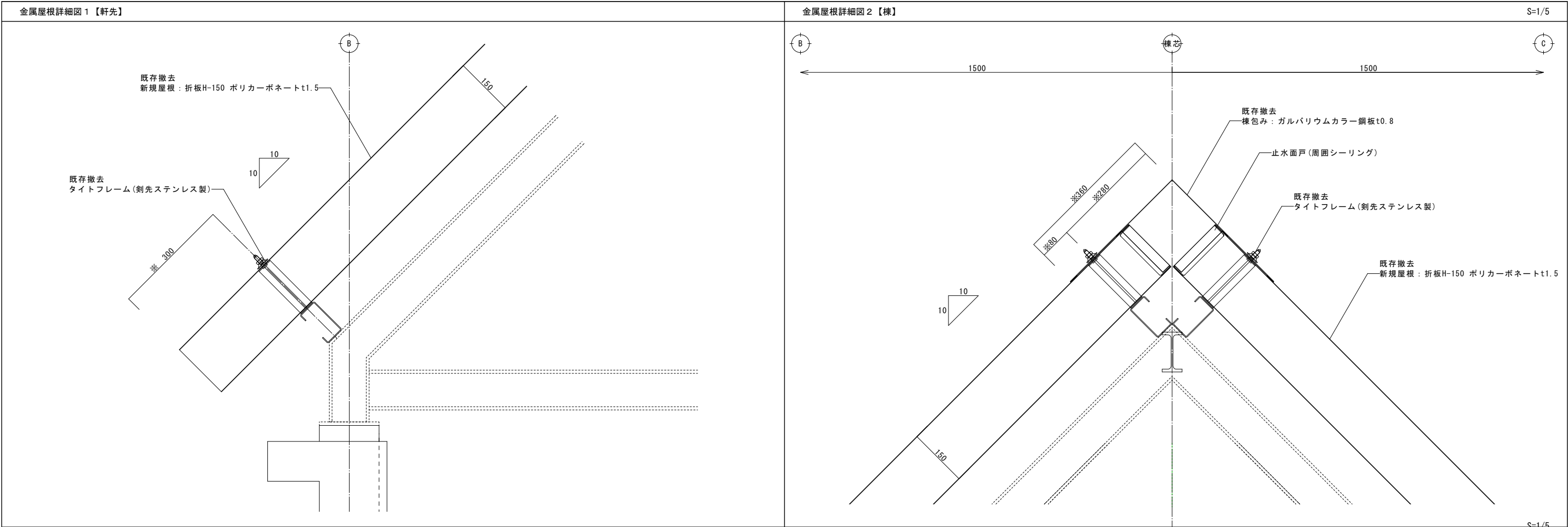
外壁劣化数量については調査可能な範囲のみを調査した上で面積按分し、
想定数量を算出している。
工事着工後、仮設足場を設置し詳細な壁面調査を行い、
躯体ひび割れ調査（目視・打診による確認、マーキング、計測、図面記入）
を実施し報告書を提出の上、発注者と協議を行い補修数量を確定し処置を行う
こと。

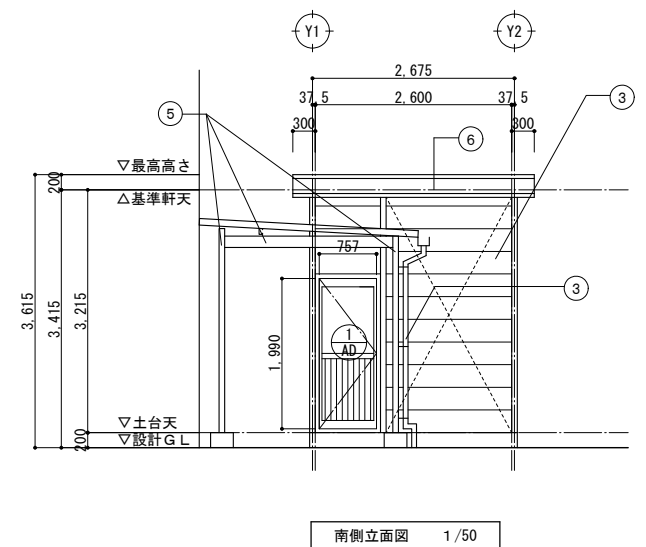
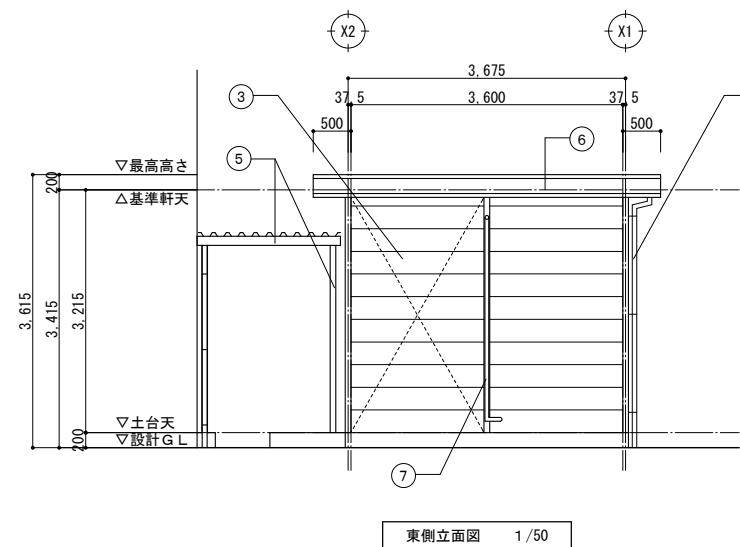
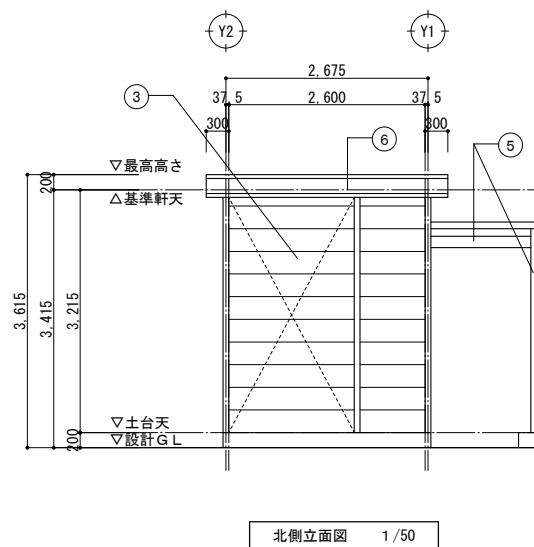
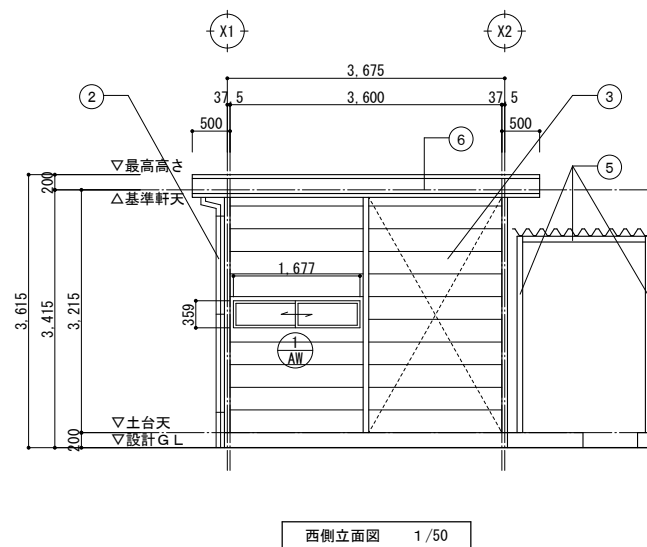
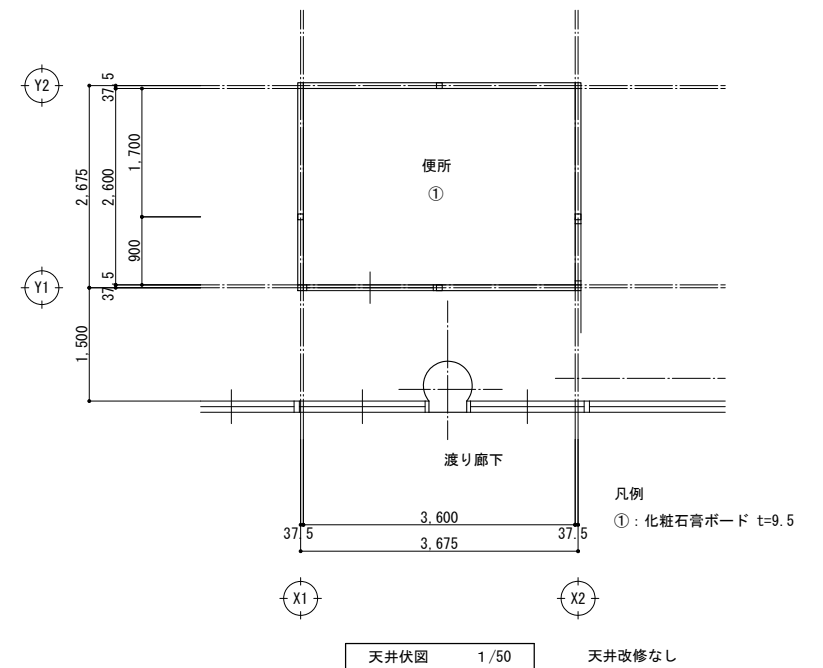
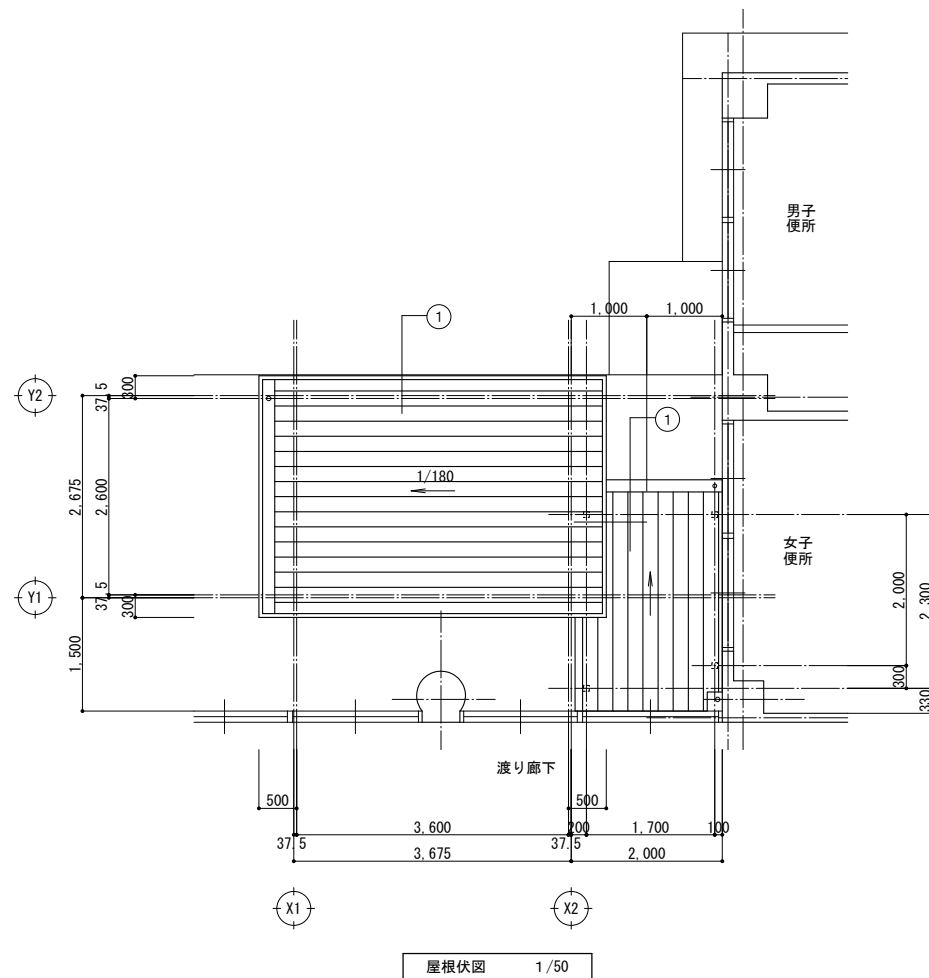
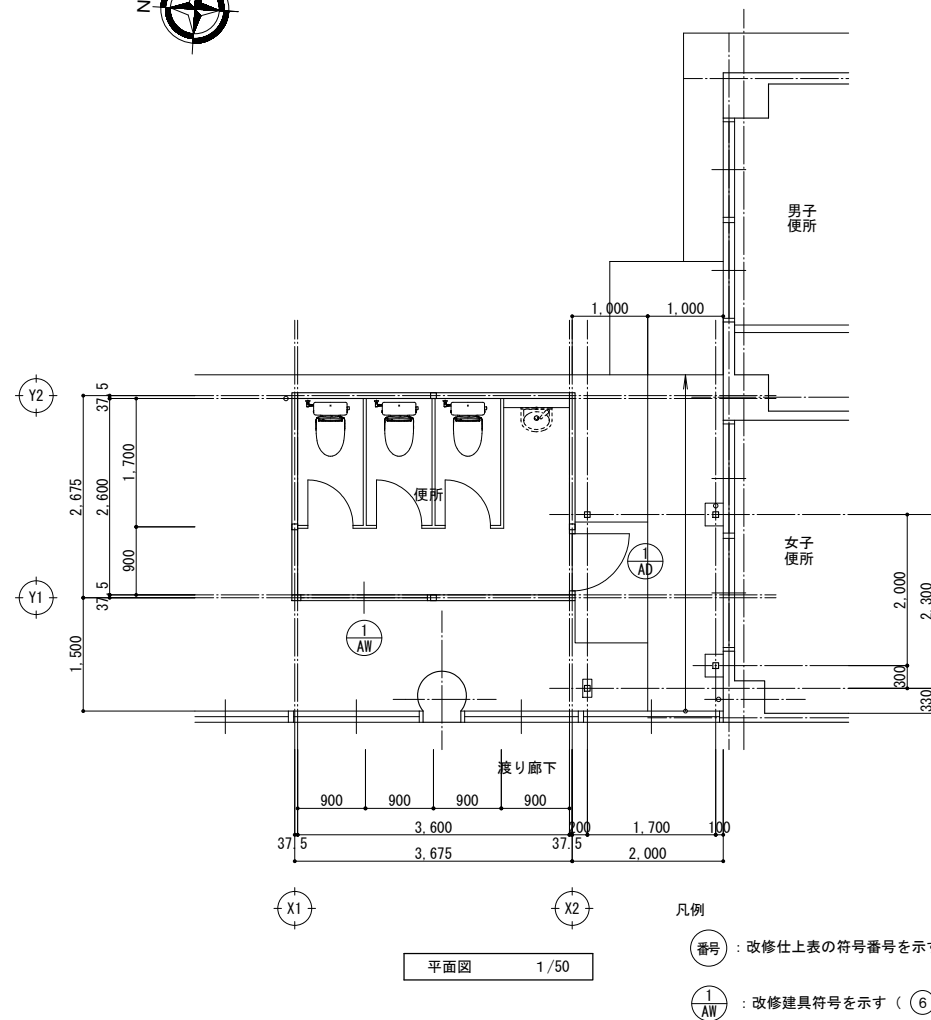
凡例

種 別	符 号		
ひび割れ	— E	幅0.2mm未満	シーリング工法
	— F	幅0.2mm以上	RC面 樹脂注入工法 CB面 シール工法
	--- G	幅1.0mmを超える	リカットシール材充填工法
	■ H	網状クラック	シーリング工法
燻 裂	■ k	細物	浸透性防錆工法

想定数量		プール 付属棟棟
ひび割れ	幅0.2mm未満	3 m
	幅0.2mm以上 RC面	3.3 m
	幅0.2mm以上 CB面	1.2 m
	幅1.0mmを超える	5 m
	網状クラック	8 m ²
燻 裂	細物	1.0 m

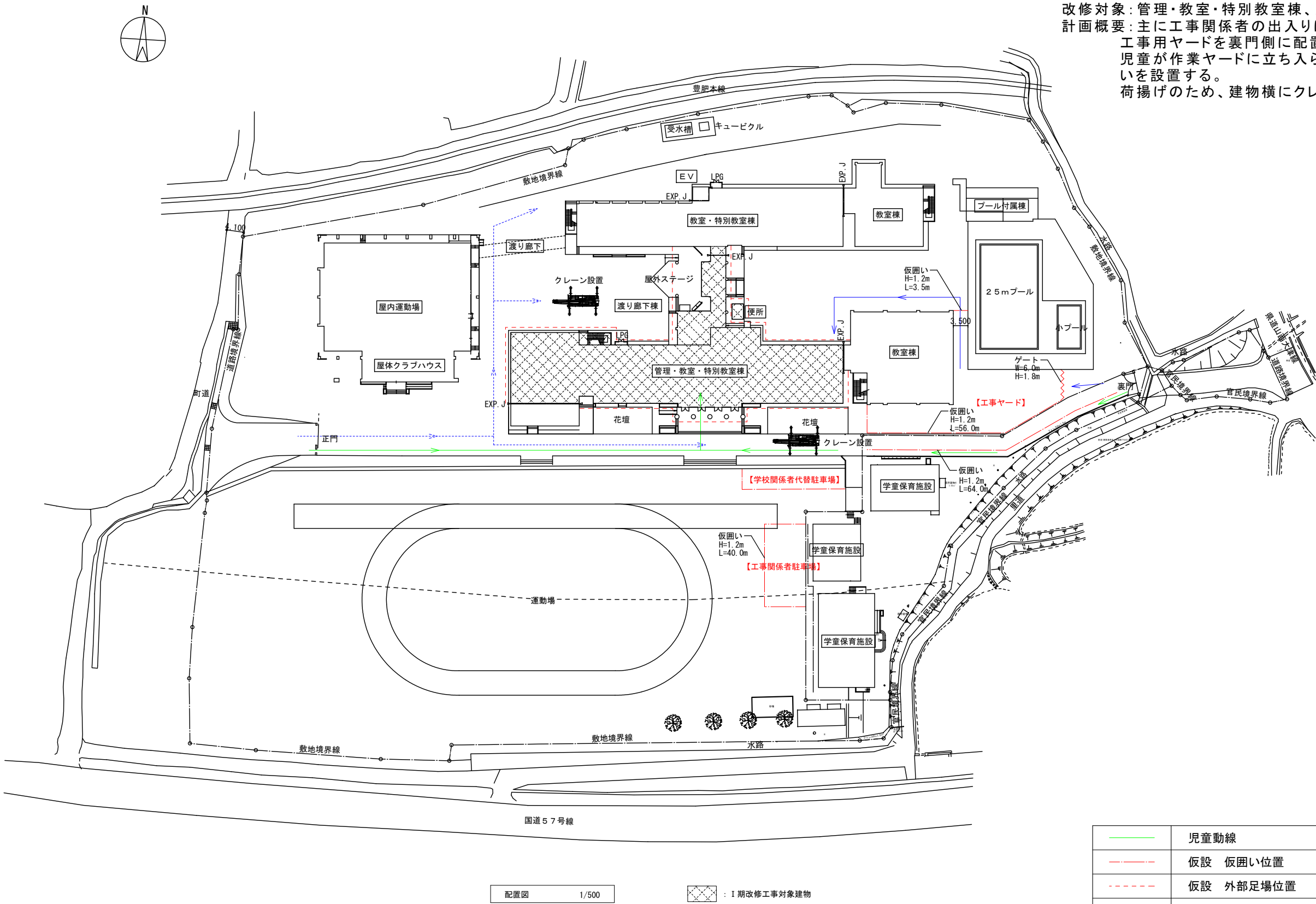






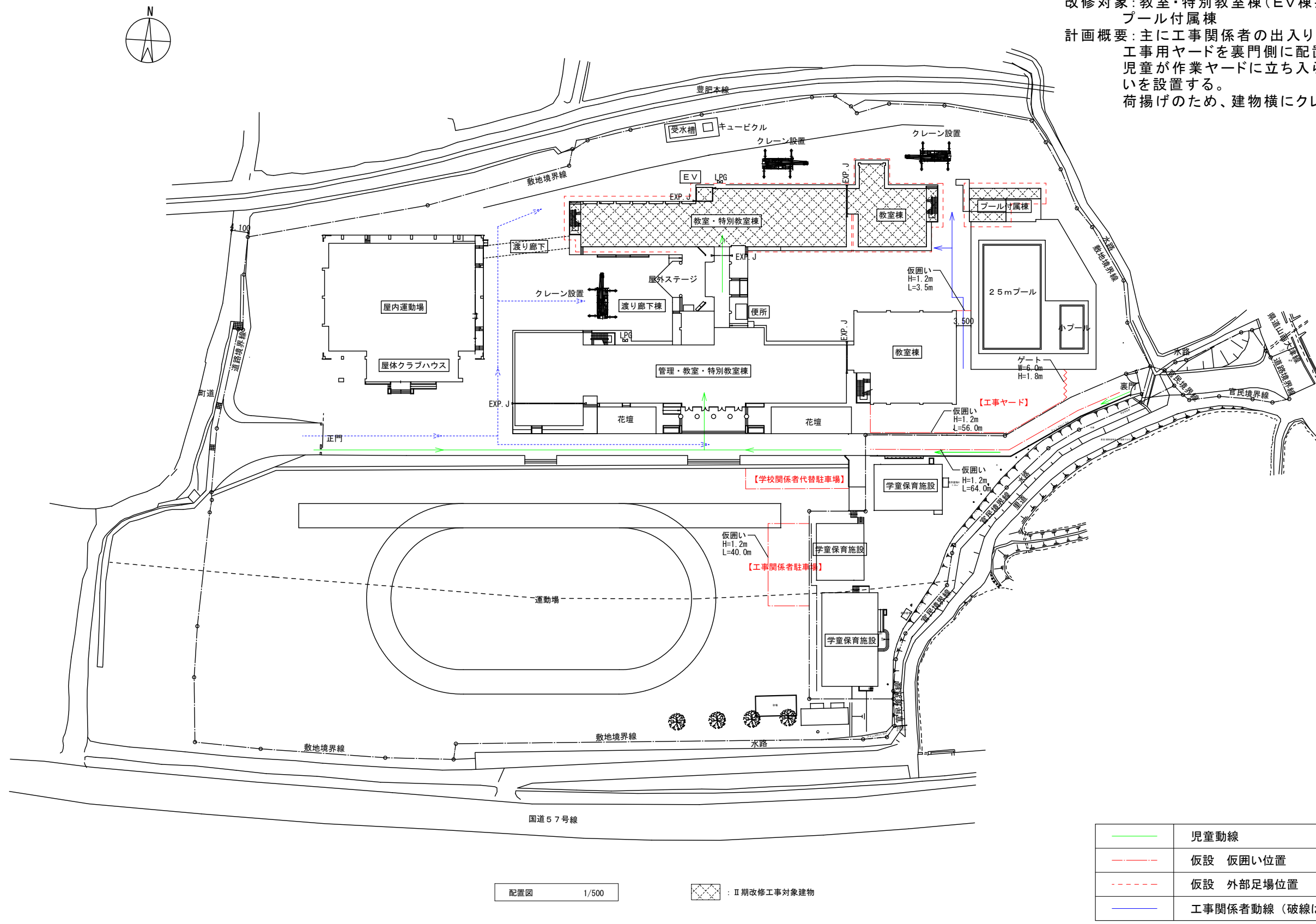
I 期工事仮設計画

予定工期：2026年7月～2027年3月
改修対象：管理・教室・特別教室棟、渡り廊下棟、便所
計画概要：主に工事関係者の出入りは東側道路とする。
工事用ヤードを裏門側に配置する。
児童が作業ヤードに立ち入らないように仮囲いを設置する。
荷揚げのため、建物横にクレーンを設置する。



Ⅱ 期工事仮設計画

予定工期：2027年4月～2028年2月
改修対象：教室・特別教室棟（EV棟共）、教室棟、
プール付属棟
計画概要：主に工事関係者の出入りは東側道路とする。
工事用ヤードを裏門側に配置する。
児童が作業ヤードに立ち入らないように仮囲いを設置する。
荷揚げのため、建物横にクレーンを設置する。



	児童動線
	仮設 仮囲い位置
	仮設 外部足場位置
	工事関係者動線（破線は荷揚げ・荷下げ時）